

へいせい ねんど だい かいよこはまししょうがいしゃせ さくすいしんきょうぎ かい
平成30年度 第2回横浜市障害者施策推進協議会

へいせい ねん がつ にち すい
平成30年11月21日 (水)

ごご じ
午後 1時～3時

よこはましくしよ かいかんけいきかんしつむしつ
横浜市役所 5階関係機関執務室

し だい
《次 第》

1 かい かい
開 会

2 けんこうふくしきよくちょう
健康福祉局長あいさつ

3 かいちょう せんしゅつ
会長の選出について

4 ぎだい
議題

ふくしじゅさんじよみんえいか ともな ほうじんこうぼ
福祉授産所民営化に伴う法人公募について

しりょう
(資料1)

5 報告事項

だい きよこはまししょうがいしゃ ぷらん しんちよくじょうきょう
第3期横浜市障害者プランの進捗状況について

しりょう
(資料2)

6 その他^た

ふくしじゅさんじよみんえいか ともな ほうじんこうぼ
福祉授産所民営化に伴う法人公募について

1 しゆし
趣旨

げんざい ほんし ちよくえい しゅうろうけいぞくしえんびーがたじぎょうしょ かしょ ちゆう みなみ こうほく とつかふくし
現在、本市には直営の就労継続支援B型事業所が4カ所（中・南・港北・戸塚福祉

じゅさんじよ
授産所）あります。

ふくしじゅさんじよせっち とうじ しょうわ40ねんだい しょうがいしゃ はたら ぼしょ すく よこはまし
福祉授産所設置された当時（昭和40年代）は障害者の働ける場所が少ないため、横浜市が

せんくてき しせつ せいび うんえい しょうがいしゃそうごうしえんほう せこう しゅうろうけいぞく
先駆的に施設を整備・運営してきましたが、障害者総合支援法の施行などにより「就労継続

しえん とう ほうてい たいけいか みんかん しゅうろうけいぞくしえんびーがたじぎょうしょ げんざいしない やく
支援」等の法定サービスが体系化され、民間の就労継続支援B型事業所は現在市内に約160

かしょうえい せっちとうじ じょうきょう おお か こうてきせつ にな やくわり うす
カ所運営されるようになり、設置当時と状況は大きく変わり、公的施設が担う役割は薄れて

きました。

こんご ぞうか みこ みんかん じぎょうしょ うんえい しつ こうじょう はか もと
今後、増加が見込まれる民間事業所の運営の質の向上を図ることが求められてい

ることから、本市は「公的施設の運営」から「民間事業所の指導・監督」に注力すること

とし、4カ所の福祉授産所を2回（第1次・第2次）に分けて民営化する予定です。

つきましては、第1次（平成32年4月）に民営化する中・港北福祉授産所の運営法人につ

いて公募を行います。

	だい じみんえいか 第1次民営化	だい じみんえいか 第2次民営化
みんえいか じき 民営化時期	へいせい ねん がつ 平成32年4月	へいせい ねん がつ 平成34年4月
たいしょうしせつ 対象施設	なかふくしじゅさんじよ こうほくふくしじゅさんじよ 中福祉授産所、港北福祉授産所	みなみふくしじゅさんじよ とつかふくしじゅさんじよ 南福祉授産所、戸塚福祉授産所

2 本協議会に諮る理由

運営法人の選定にあたっては、障害者基本法第36条第1項2号に定める「障害者に

関する施策の総合的かつ計画的な推進について必要な事項」に該当するため、同法第36条第

3項に基づき条例で設置された本協議会に諮ります。

3 運営法人の選定

(1) 選定委員会による審議

運営法人の選定においては、専門的かつ詳細な調査又は討議を行う必要があるため、

本協議会に下部組織（選定委員会）を設置し、専門的な審議をいただいた後、選定委員会に

おいて選出された運営法人候補を協議会において最終的に審議いただきます。

(2) 選定委員会開催期間

平成30年度（2回開催）

(3) 選定委員構成

学識経験者2名、障害者やその家族、弁護士、公認会計士

4 スケジュール

平成30年11月21日

平成30年度第2回横浜市障害者施策推進協議会

12月上旬

第1回選定委員会開催、公募開始、応募受付

平成31年1月7日

募集締切

がつげじゅん
1月下旬

だい かいせんていいいんかいかいさい
第2回選定委員会開催

がつ
3月

へいせい ねんどだい かいよこはまししょうがいしゃしさくすいしんきょうぎかい じぎょうしゃ
平成30年度第3回横浜市障害者施策推進協議会（事業者

せんてい
選定)

5 民営化対象施設（第1次民営化分）の概要

	なかふくしじゅさんじよ 中福祉授産所	こうほくふくしじゅさんじよ 港北福祉授産所
しょざいち 所在地	なかくやましたちよう かい 中区山下町253-1 2階	こうほくくみのわちよう かい 港北区箕輪町2-4-41 1階
かいせつび 開設日	しょうわ ねん がつついたち 昭和57年4月1日	しょうわ ねん がつついたち 昭和61年4月1日
じぎょうしょさーびすしゅべつ 事業所サービス種別	しゅうろうけいぞくしえんびーがた 就労継続支援B型	しゅうろうけいぞくしえんびーがた 就労継続支援B型
りようていいん 利用定員	めい 50名	めい 60名
へいせい ねん がつげんざい (平成30年11月現在)		
りようざすう 利用者数	めい 18名	めい 31名
へいせい ねん がつげんざい (平成30年11月現在)	ちてき めい (知的18名)	ちてき めい しんたい めい (知的29名、身体2名)
がっちくしせつ 合築施設	ちゅうおうしよくぎょうくんれんこう 中央職業訓練校 しちよくえい (市直営)	しえいじゅうたく 市営住宅 していかんり (指定管理)
しきちめんせき がっちくしせつふく 敷地面積 (合築施設含む)	1,152.46 ^{へいほうめーとる} ₂ m ²	3,225.41 ^{へいほうめーとる} ₂ m ²
けんちくめんせき がっちくしせつふく 建築面積 (合築施設含む)	656.04 ^{へいほうめーとる} ₂ m ²	3,225.00 ^{へいほうめーとる} ₂ m ²
のべゆかめんせき じゅさんじよぶぶん 延床面積 (授産所部分)	773.50 ^{へいほうめーとる} ₂ m ²	933.01 ^{へいほうめーとる} ₂ m ²

なかふくしじゅさんじよ
中福祉授産所



7F	
2F	
1F	

ふくしじゅさんじよがぶん
福祉授産所部分

こうほくふくしじゅさんじよ
港北福祉授産所



7F	
1F	

ふくしじゅさんじよがぶん
福祉授産所部分

だい きよこはまししやうがいしやがらんかいていばん ほうこく
第3期横浜市障害者プラン改訂版について（報告）

へいせい ねんど ねんど けいかくきかん だい きよこはまししやうがいしやがらん
平成27年度から 32年度までを計画期間とする「第3期横浜市障害者プラン」について、
さくねんどちゆうかんき ぜんき ねんかん ふ かえ およ ちゆうかんみなお おこな こうき ねんかん ほうこうせい
昨年度中間期として前期3年間の振り返り及び中間見直しを行い、後期3年間の方向性をま
とめた「改訂版」の平成30年度の進捗状況や新たな取組について報告します。

ほうこくじこう ぼつすい
1 報告事項（抜粋）

てーま 1 <で あ つながる ・ たす あ 合う ・ つながる ・ 助け合う>

- ちい ききやうせいしやかい じつげん む とりくみとう ページ
・ 地域共生社会の実現に向けた取組等 （2 頁）
- けいかくそうだんしえんりやうしやすう げんじやうち ページ
・ 計画相談支援利用者数の現状値 （6 頁）
- じやうほうはっしん るーる か とりくみ ページ
・ 情報発信のルール化の取組 （9 頁）

てーま 2 <す 住む、そして暮らす>

- こうどうしやうがい かた す けんとう とりくみ ページ
・ 行動障害のある方の住まい検討の取組 （14 頁）
- きやうどうせいかつえんじよ ぐるー ぶ ほ む りやうしやすう げんじやうち ページ
・ 共同生活援助（グループホーム）利用者数の現状値 （16 頁）
- こうりつしやうがいしやしえん しせつしやうふうがくえん さいせいびじやうきやう ページ
・ 公立障害者支援施設松風学園の再整備状況 （17 頁）
- ふくししせつにゆうしよしや ちいきせいかつ いこうおよ しせつにゆうしよ しえん りやうしやにんずう げんじやうち ページ
・ 福祉施設入所者の地域生活への移行及び施設入所支援利用者人数の現状値 （18 頁）
- せいしんしやうがい たいおう ちいきほうかつ けあしすてむ こうちく とりくみ ページ
・ 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築の取組 （19 頁）
- あら じゆうたくせーふてい わつと たいせいせいび ページ
・ 新たな住宅セーフティネットとしての体制整備 （21 頁）
- せいかつしえん せんたー きーび すひやうじゆんか む とりくみ ページ
・ 生活支援センターのサービス標準化に向けた取組 （23 頁）
- たきのうがたきよてん せいび うんえいじやうきやう ページ
・ 多機能型拠点の整備・運営状況 （24 頁）
- ちいきせいかつしえんきよてん せいびじやうきやう ページ
・ 地域生活支援拠点の整備状況 （24 頁）
- しやうがいしやじりつせいかつあしすたん とじぎやう しえんないやう けんとう ページ
・ 障害者自立生活アシスタント事業の支援内容の検討 （27 頁）

てーま 3 <まいにち あんしん すこ す 毎日 を 安心して 健やかに 過ごす>

- いりやうき かんれんけいじぎやう ちてきしやうがいしやせんもんがいらい とりくみ ページ
・ 医療機関連携事業（知的障害者専門外来）の取組 （32 頁）
- いりやうてきけ あじ しやとう しえん とりくみ ページ
・ 医療的ケア児・者等の支援のための取組 （35 頁）
- けんりやうご かん ふきゆう けいほつ ページ
・ 権利擁護に関する普及・啓発 （41 頁）

テーマ4 <生きる力を学ぶ・育む>

- ・地域療育センター運営事業の状況 (46頁)
- ・児童発達支援利用者数等の現状値 (48頁)
- ・放課後等デイサービス事業の現状値 (50頁)
- ・特別支援学校医療的ケア体制整備事業の取組 (57頁)

テーマ5 <働く・活動する・余暇を楽しむ>

- ・学生等を対象とした人材の確保事業の取組 (60頁)
- ・就労支援センターの取組 (65頁)
- ・障害者スポーツ文化センターの整備状況 (83頁)

2 市民説明会スケジュール

- ・第1回 平成30年11月15日 (木)
14時～16時
旭区民文化センター「サンハート」
- ・第2回 平成30年11月19日 (月)
10時30分～12時30分
横浜ラポール
- ・第3回 平成30年11月25日 (日)
10時～12時
あーすふらざ (地球市民かながわプラザ)

だい きよこはまししょうがいしゃぷらん
第3期横浜市障害者プラン
へいせい ねんど かくとりくみ
平成30年度の各取組について

へいせい ねん がつ
平成30年11月

よこはましけんこうふくしきょく せいしょうねんきょく きょういくいいんかいじむきょく
横浜市健康福祉局・こども青少年局・教育委員会事務局

◆ **テーマ1 出会う・つながる・助け合う** ◆

とりくみ 取組1-1 ふきゅう けいはつ 普及・啓発 … p.1 とりくみ 取組1-2 そうだんしえん 相談支援 … p.4

とりくみ 取組1-3 じょうほう ほしょう 情報の保障 … p.9 とりくみ 取組1-4 さいがいたいさく 災害対策 … p.11

◆ **テーマ2 住む、そして暮らす** ◆

とりくみ 取組2-1 す 住まい p.14 とりくみ 取組2-2 く 暮らし … p.20

◆ **テーマ3 毎日を安心して健やかに過ごす** ◆

とりくみ 取組3-1 けんこう いりょう 健康・医療 … p.29 とりくみ 取組3-2 ばりあふりー バリアフリー … p.38

とりくみ 取組3-3 けんりようご 権利擁護 … p.41

◆ **テーマ4 生きる力を学び・育む** ◆

とりくみ 取組4-1 りょういく 療育 … p.46 とりくみ 取組4-2 きょういく 教育 … p.52

とりくみ 取組4-3 じんさい かくほ いくせい 人材の確保・育成 … p.60

◆ **テーマ5 働く・活動する・余暇を楽しむ** ◆

とりくみ 取組5-1 しゅうろう 就労 … p.65 とりくみ 取組5-2 ふくしてきしゅうろう 福祉的就労 … p.70

とりくみ 取組5-3 にっちゅうかつどう 日中活動 … p.72 とりくみ 取組5-4 いどうしえん 移動支援 … p.75

とりくみ 取組5-5 ぶんか すぽーつ れくりえーしょん 文化・スポーツ・レクリエーション … p.79

とりくみ 取組 1 - 1 普及・啓発

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねん 度 平成29年度			へいせい ねん 度 平成32年度 目標に向けた 30年度の取組	へいせい ねん 度 平成32年度 目標
		もくひょう 目標	じつせき 実績	ひょうか 評価		
とうじしゃ 当事者や しょうがいふくし 障害福祉 かんれんしせつ 関連施設、 しみんだんたいどう 市民団体等に よる普及・ けいはつ 啓発 かつどう 活動への支援	せいふていーねつとぶるじえくとよこはま セイフティーネットプロジェクト横浜や しょうがいふくしかんれんしせつ しみんだんたいどう 障害福祉関連施設 市民団体等による しょうがいりかい けんしゅう こうえん ちいき 障害理解のための研修や講演、地域 かつどう しえん きょうどう さまざま 活動を支援・協働するなど、様々な ふきゅう けいはつ すいしん 普及・啓発を推進します。 ふ かえ <振り返り> しょうがいふくしかんれんしせつ じっし しょうがいり 障害福祉関連施設が実施する障害理 かい かん じぎょう けいひめん しえん 解に関する事業を経費面で支援しまし た。また、セイフティーネットプロジェクト よこはま でまえこうざ かいさい しょうがい 横浜による出前講座の開催など、障害 りかい む ふきゅう けいはつかつどう じっし 理解に向けた普及・啓発活動を実施しま した。	すいしん 推進	でまえ 出前 こうぎどう 講座等 じっし の実施	○	かくじぎょう しえん おこな 各事業の支援を行う とともに、セイフティー ネットプロジェクト横 浜等の障害理解に係 る普及啓発活動を通 じた障害理解の推進 に努めます。	すいしん 推進
しょうがいしゃほんにん 障害者本人 および家族によ る普及・啓発 活動の推進	しゃかいさんかすいしんせんたー ちゅうしん 社会参加推進センターが中心となり、 しょうがいしゃ ほんにん かぞくおよ かくだんたい 障害者本人、家族及び各団体と れんけい きょうどう しょうがいりかい そくしん む 連携・協働し、障害理解の促進に向け た普及・啓発活動を推進します。 ふ かえ <振り返り> しゃかいさんかすいしんせんたーとう ふきゅう 社会参加推進センター等により、普及 けいはつりーふれっと さくせいおよ けいはつこうぎ 啓発リーフレットの作成及び啓発講座 とう じっし 等を実施しました。	すいしん 推進	ふきゅう 普及 けいはつ 啓発 りーふれ ットの 作成及 び啓発 こうぎどう 講座等 の実施	○	よこはまししゃかいさんかすいしんせ 横浜社会参加推進セ ンター等と協働して 普及啓発を実施してい きます。	すいしん 推進
しっぺい しょうがい 疾病や障害 に関する情報 の発信	ほーむページ などの媒体を活用して、疾病 しょうがい かん じょうほう しえん かなか や障害に関する情報や支援に関わる かつどう しょうがい しみん とうじしゃ かんけいしゃ 活動を紹介します。市民や当事者・関係者 りかいそくしん つと の理解促進に努めます。 ふ かえ <振り返り> ねん 度 じょうほう こうしん しょうがい 年度ごとに情報を更新し、紹介しました。	すいしん 推進	じっし 実施	△	ひ たつづ ほーむページ 引き続き、ホームページ などの媒体を活用して、 しっぺい しょうがい かん 疾病や障害に関する じょうほう しえん かなか 情報や支援に関わる かつどう じょうほう こうしん 活動の情報を更新し ていきます。	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねんど 平成29年度			へいせい ねんど 平成32年度 目標に向けた 30年度の取組	へいせい 平成32 年度 目標
		もくひょう 目標	じつせき 実績	ひょうか 評価		
かくく ふきゅう 各区の普及・ けいはつかつどう 啓発活動の そくしん 促進	かくく じゅうみん たい しょうがいどう 各区の住民に対して、疾病や障害等に たい りかい ふか けんしゅう けいはつ 対する理解を深めるための研修や啓発 かつどう しえん おこな 活動の支援を行います。 ふ かえ <振り返り> かくく どのじ ちいきとくせい おう ふきゅう けいはつ 各区独自で地域特性に応じた普及・啓発 かつどう 活動をしました。	すいしん 推進	じつし 実施	○	しょうがいしゃしゅうかん ちゅうしん 障害者週間を中心 かくく ふきゅう けいはつかつ に各区で普及・啓発活 どう そくしん 動を促進していきます。	すいしん 推進
こうしゅ 4校種 ずがこうさく 図画工作・ びじゅつ しょう 美術・書道 さくひんてん 作品展 とくべつしえん 特別支援 きょういく ぶもん 教育部門 ～つたえたい ばくのおもい わたしのきもち ～の開催	こうしゅ しょう ちゅう こう とくべつしえん 4校種（小・中・高・特別支援）の ようじ どうせいと さくひん いちどう あつ 幼児児童生徒の作品を一堂に集め、 しみんこうかい さくひんてん かいさい 市民公開の作品展を開催することで、 しょうがい こ ぶん かつどう かん 障害のある子どもの文化活動に関する ふきゅう けいはつ はか 普及・啓発を図ります。 ふ かえ <振り返り> こうしゅ しょう ちゅう こう とくべつしえん しょう 4校種（小・中・高・特別支援）の幼 じ どうせいと さくひん いちどう あつ しみん 児児童生徒の作品を一堂に集め、市民 こうかい さくひんてん かいさい まいとし まんにん 公開の作品展を開催し、毎年1万人を こ しみん らいじょう 超える市民が来場しています。また、 へいせい ねんど えぬびーおーほうじん こうえん 平成28年度にはNPO法人の後援を う てんじ ばねる あたら 受け、展示するパネルを新しくするこ とができました。	すいしん 推進	さくひんてん 作品展 かいさい を開催	○	こうしゅ しょう ちゅう こう 4校種（小・中・高・ とくべつしえん しょうじどう 特別支援）の幼児児童 せいと さくひん いちどう あつ 生徒の作品を一堂に集 しみんこうかい さくひんてん め、市民公開の作品展 かいさい しょう を開催することで、障 がい こ ぶん かん 害のある子どもの文化 かつどう かん ふきゅう けい 活動に関する普及・啓 はつ はか 発を図ります。	すいしん 推進
ちいききょうせい 地域共生 しゃかい じつげん 社会」の実現 む に向けた とりくみどう 取組等の すいしん 推進 しんき 新規	ちいき かが ささ て う 地域のあらゆる方が、「支え手」と「受 て わ ちいき く け手」に分かれるのではなく、地域、暮ら い つく たか し、生きがいをともに創り、高めあうこ ちいききょうせいしゃかい じつげん とができる「地域共生社会」の実現に む とりくみどう すいしん 向けた取組等を推進していきます。また きゅうとけんし すいしんけんどうかい た あ 九都県市による推進検討会を立ち上 げ、しょうがい うむ 障害の有無にかかわらず、あらゆ ひと せんげん まち あんぜん あんしん る人の尊厳が守られ、安全で安心して く きょうせいしゃかい じつげん む とり 暮らせる共生社会の実現に向けた取 くみ きょうどう すいしん 組を共同して推進していきます。	—	—	—	へいせい ねん がつ さいけつ 平成28年10月に採決し しょうがいしゃ あんぜん あん た「障害者が安全で安 しん く きょうせいしゃ 心して暮らせる共生社 かい じつげん む きょうどう 会の実現に向けた共同 せんげん ちと ねん 宣言」に基づき、30年5 がつ きゅうとけんし しゅうのう きょう 月に九都県市の首脳が共 せいしゃかい じつげん よ 生社会の実現を呼びかけ めっせーじどうが さくせい るメッセージ動画を作成し ひ つづ きょうせいしゃ ました。引き続き、共生社 かい じつげん む とりくみ 会の実現に向けた取組を おこな 行っていきます。	しょうがいしゃ 障害者 しゅうかん 週間を りょう 利用した けいはつかつどう 啓発活動 じつし の実施

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねんど 平成29年度			へいせい ねんど 平成32年度 ちくひょう む 目標に向けた ねんど とりくみ 30年度の取組	へいせい 平成32 ねんど 年度 ちくひょう 目標
		ちくひょう 目標	じつせき 実績	ひょうか 評価		
<p>がくれいきじどう 学齢期児童 および ほごしゃ 保護者への しょうがいりかい 障害理解 けいはつ 啓発</p>	<p>し ない どうじしゃだんたいとう きょうりよく え 市内の当事者団体等の協力を得なが ら、しょうがいりかい すす きょうざいと う きょう 育委員会と連携しながら作成します。 また、それとともに、がくれいきじどう ほご しゃ しょうがいりかい しゃ いっしょ かか きかい 者が、障害児・者と一緒に関わる機会 の場について、実施方法を検討します。 <振り返り> し ない どうじしゃだんたいとう きょうりよく え 市内の当事者団体等の協力を得なが ら、きょういく いんかい じむきよく れんけい きょう 職員向けの障害理解を進める冊子を 作成・発行しました。</p>	すいしん 推進	しょうがいり かい すす 解を進 める教 材等の 作成	○	<p>きょういく いんかい じむきよく 教育委員会事務局と れんけい しょうがいりかい すす 連携し、障害理解を進 める教材等の作成に む けんとう おこな に向けた検討を行います。 す。</p>	すいしん 推進
<p>ふくがくせき 副学籍による こうりゅうきょういく 交流教育 および きょうどうがくしゅう 共同学習</p>	<p>とくべつしえんがっこう ざいせき じどうせいと 特別支援学校に在籍する児童生徒が、 きよじゅうち しょう ちゅうがっこう じどうせいと 居住地の小・中学校の児童生徒と いっしょ まな きかい かくだい はか こう 一緒に学ぶ機会の拡大を図るなど、交 りゅうきょういく きょうどうがくしゅう すす 流教育と共同学習を進めるとと もに、とくべつしえんがっこう じどうせいと たい 特別支援学校の児童生徒に対す るひつよう きょういくてきしえん きよじゅうち がっこう 必要な教育的支援を、居住地の学校 おこな においても行います。 しょう ちゅうがっこう じどうせいと しょうがいり 小・中学校の児童生徒には、障害児・ しゃ たい りかい ふく こころ しょうへき 者に対する理解を含め、心の障壁を つくらない「心のバリアフリー」を育 むことを目指します。 <振り返り> まいとし にん こ じどうせいと 毎年、200人を超える児童生徒が ふくがくせきこうりゅう りょう きよじゅうち しょう 副学籍交流を利用し、居住地の小・ ちゅうがっこう じゅぎょう こうがいかつどう 中学校での授業や校外活動におい ていっしょ まな きかい ちゅう と一緒に学ぶ機会を設けることができ ました。</p>	すいしん 推進	へいせい 平成 ねんど 29年度 じつし 実施 じどうすう 児童数 :223人	△	<p>きょうせいしゃかい じつげん む 共生社会の実現に向 け、とくべつしえんがっこう かよ 特別支援学校に通 うじどうせいと ちいき 児童生徒と、地域の がっこう かよ こ 学校に通う子どもたち とのこうりゅう 交流をより一層 すいしん 推進していきます。</p>	すいしん 推進

とりくみ
取組 1 - 2

そうだんしえん
相談支援

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねん ど 平成29年度			へいせい ねん ど 平成32年度 もくひょう む 目標に向けた ねん ど とりくみ 30年度の取組	へいせい 平成32 ねん ど 年度 もくひょう 目標
		もくひょう 目標	じつせき 実績	ひょうか 評価		
<p>そうだんしえんじぎょう 相談支援事業</p> <p>しゅうちおよ の周知及び</p> <p>ふきゅう けいはつ 普及・啓発</p>	<p>しょうがいしゃ かぞく みちか きかん あん 障害者やその家族が身近な機関に安 心して相談することができるよう、身近 な相談者を対象として、相談支援 事業の周知、啓発を行います。</p> <p>ふ かえ <振り返り></p> <p>ぜんく ほうじんがたちかつほ - む そうだんいん か 全区の法人型地活ホームに相談員を加 配し、「基幹相談支援センター」として 位置付け相談支援機能を強化しました。</p>	<p>すすん 推進</p>	<p>そうだん 相談 しえん 支援の きょうか 強化・ ふきゅう 普及</p>	<p>○</p>	<p>そうだんしえんじぎょう みちか 相談支援事業が身近な ものになるように、区 じりつしえんきょうぎかいとう 自立支援協議会等と れんけい しゅうち けいはつ 連携して、周知、啓発を けいぞく 継続します。</p>	<p>すすん 推進</p>
<p>そうだんしえん 相談支援</p> <p>じゅうじしゃ 従事者の</p> <p>じんざいいくせい 人材育成</p>	<p>よこはまし じりつしえんきょうぎかい い か し じりつし 横浜市自立支援協議会（以下「市自立支 援協議会」といいます。）で作成した「横 濱市相談支援従事者人材育成ビジョ ン」に基づき、人材育成を進めます。</p> <p>ふ かえ <振り返り></p> <p>し じりつしえんきょうぎかい よこはまし 市自立支援協議会において、「横浜市相 談支援従事者人材育成ビジョン」を平 成28年度に改訂し、平成29年度から本 ビジョンに基づいた人材育成に取り組 めるように検討を行っています。</p> <p>く じりつしえんきょうぎかい そうだんしえんぶ また、区自立支援協議会に相談支援部 会を設置し、相談員同士の横のつながり を促し、育ち合える環境の整備を推 進しています。</p>	<p>すすん 推進</p>	<p>かいていばん 改訂版 「横浜 市相談 支援従 事者人 材育成 ビジョ ン」に基 づき人 材育成 を実施</p>	<p>△</p>	<p>よこはまし そうだんしえんじゅう 「横浜市相談支援従 事者人材育成ビジョ ン」に基づき、市域で実施 する研修等と区域で 実施する相談支援部 やOJT等の取組を れんどう よこはましぜんたい 連動させ、横浜市全体で いつたいてき じんざいいくせい と 一体的な人材育成に取 り組みます。</p> <p>また、相談支援専門員 が増えるように、事業所 への勧奨を継続しま す。</p>	<p>すすん 推進</p>

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねんど 平成29年度			へいせい ねんど 平成32年度 もくひょう む 目標に向けた ねんど とりくみ 30年度の取組	へいせい 平成32 ねんど 年度 もくひょう 目標
		もくひょう 目標	じつせき 実績	ひょうか 評価		
とうじしゃ 当事者による そうだん じゅうじつ 相談の充実	<p>しゃかいさんかすいしんせんたー せつち びあそう 社会参加推進センターに設置するピア相 だんせんたー とうじしゃそうだん けんしょう 談センターでの当事者相談を検証し、 とうじしゃ そうだんしえん すいしん 当事者による相談支援を推進します。</p> <p><ふ かえ 振り返り></p> <p>びあ そうだんいんけんしゅう かつよう びあ そうだん ピア相談員研修を活用し、ピア相談 いん すきるあつぷ はか 員のスキルアップを図りました。また、 びあ そうだんせんたー ーこーでい ねーたー ピア相談センターコーディネーターが いちじ そうだんしえんきかん あつ さんか 一次相談支援機関の集まりに参加し、 はけんそうだんとう とりくみ しゅうち おこな 派遣相談等の取組の周知を行いまし たが、派遣依頼が無く、実績が上がって いません。</p>	じつせき 実績の けんしょう 検証	はけんそう 派遣相 だんとう 談等の とりくみ 取組の しゅうち 周知	△	<p>きかんそうだんしえんせんたー 基幹相談支援センター とう そうだんしえんきかん たい 等の相談支援機関に対 して、びあ そうだんせんたー ピア相談センター とりくみ しゅうち きょうか の取組の周知を強化 し、とうじしゃそうだん かつよう 当事者相談の活用につ なげていきます。</p>	く 18区の しゃかいふくし 社会福祉 ほうじんがたち 法人型地 かつほーむ 活ホームに おいてはけん 派遣 相談の活 よう 用
きそん 既存の そうだんまどぐち 相談窓口 (ちいきけあぶ 地域ケア らぎとう ラゲ等)による れんけい 連携	<p>ひごろ かなか なにげ かいわ ぶく 日頃の関わりの中で、何気ない会話に含ま れている相談を身近な相談者としてとら え、必要に応じて、一次及び二次相談支援 きかん 機関につなげます。</p> <p><ふ かえ 振り返り></p> <p>ちいき みちか そうだんきかん ちいきけあぶ 地域の身近な相談機関である、地域ケア らぎ しょうがい かん そうだん う ラゲにおいて、障害に関する相談を受 け、必要に応じて適切な機関へつなげました。</p> <p>へいせい ねんど 平成27年度 そうだんけんすう けん 相談件数：1,632件 へいせい ねんど 平成28年度 そうだんけんすう けん 相談件数：2,501件</p>	すいしん 推進	じつし 実施	○	<p>こうほうとう つう ちいきけあ 広報等を通じ、地域ケア ぶらざ しょうがいじ しゃ プラザでは障害児・者 かん そうだん う っ に関する相談も受け付 けていることなどを市民 しみん の皆様に周知し、総合 みなさま しゅうち そうごう 相談の取組を継続して いきます。</p>	すいしん 推進

【見込み】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
計画相談支援利用者数(年間)	21,500人	23,000人	24,500人	22,000人	23,000人	24,000人
	実績 4,777人	実績 5,662人	実績 6,909人	上半期実績 8,020人		

*1 計画相談支援利用者数には、サービス等利用計画案を指定特定相談支援事業所が作成する方と御自身等が作成する方の合計数を記載しています。

事業名	事業内容	平成29年度			平成32年度 目標に向けた 30年度の取組	平成32年度 目標
		目標	実績	評価		
市自立支援協議会と区自立支援協議会の連携・運動	各区で開催されている区自立支援協議会での取組や検討内容を、市自立支援協議会での施策展開にいかすため、連携・運動の仕組みを整理します。 <振り返り> 市自立支援協議会に区自立支援協議会で検討した地域課題の報告や施策の提案などを行うルールを定めることで、市自立支援協議会と区自立支援協議会が連携・運動する仕組みをつくりました。	推進	実施	△	区域と市域で取り組む課題の整理と対応方法に係るルールを設定し、効果的な地域づくりの取組を進めます。	推進
区域を超えた横断的な検討の推進	区域で解決できない課題の共有や、新たな社会資源の創設に向けた検討、市自立支援協議会への施策提案(情報提供)などを目的として、区域を超えた検討の場を設置します。 <振り返り> 市自立支援協議会への地域課題の報告等を挙げるルールを定めたことで、区自立支援協議会及びブロック連絡会における、市域の課題の共有や対応の検討が活発化しました。	推進	実施	△	ブロック連絡会のあり方を含め、協議会の機能強化を目指します。それにより、区域を超えた横断的な検討ができる仕組みづくりを更に推進していきます。	推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねんど 平成29年度			へいせい ねんど 平成32年度 もくひょうむ 目標に向けた ねんど とりくみ 30年度の取組	へいせい 平成32 年度 もくひょう 目標
		もくひょう 目標	じつせき 実績	ひょうか 評価		
なんびょうかんじゃとう 難病患者等 への必要な 情報提供 新規	なんびょうかんじゃとう ほんにん たい ひつよう じょう 難病患者等、本人に対して必要な情 ほうていきょう おこな とう なんびょう 報提供を行うこと等により、難病 かんじゃとう しょうがいふくしきーびすとう かつよう 患者等の障害福祉サービス等の活用 うなが けんとう が促されるよう検討します。	—	—	—	めーるまがじん かくく メールマガジンや、各区で じつじ なんびょういりよう 実施している難病医療 こうえんかいおよ こうりゅうかい 講演会及び交流会を つう ときせつ じょうほうてい 通し、適切な情報提 きょう おこな 供を行います。	すすん 推進
はつたつしょうがいしゃ 発達障害者 支援センター 運営事業	はつたつしょうがいしゃしえんせんたー しょくいん かくく 発達障害者支援センターの職員が各区 でむ く しょくいん いっしょ そろだん に出向き、区の職員と一緒に相談を う とくていそろだんび もう 受ける特定相談日を設けます。 ふ かえ <振り返り> はつたつしょうがいしゃ みぢか ちいき そろだん う 発達障害者が身近な地域で相談を受 かくくふくしほけんせんたー けられるよう、各区福祉保健センターに とくていそろだんび もう 特定相談日を設けました。	とくてい 特定 そろだんび 相談日 じつじく 実施区： 18区 (平成 27年度)	ぜんく 全区 じつじ 実施	○	ひ つづ みじか ちいき 引き続き、身近な地域に おける相談支援体制の きょうか めぞ 強化を目指すとともに、 はつたつしょうがいしゃしえん せんた 発達障害者支援センタ ーきろう じゅうじつ はか 一機能の充実を図って いきます。	すすん 推進

福 はつたつしょうがいしゃしえんじぎょうとう みこ
発達障害者支援事業等【見込み】

	へいせい ねんど 平成27年度	へいせい ねんど 平成28年度	へいせい ねんど 平成29年度	へいせい ねんど 平成30年度	へいせい ねんど 平成31年度	へいせい ねんど 平成32年度
はつたつしょうがいしゃしえん 発達障害者支援 ちいききょうぎかい 地域協議会の かいさいけんすう 開催件数 新規	—	—	—	4 けん 件 かみはんきじつせき 上半期実績 0 けん 件	4 けん 件	4 けん 件
はつたつしょうがいしゃしえん 発達障害者支援 せんたー センターによる そろだんけんすう 相談件数 新規	—	—	—	6,000 けん 件 かみはんきじつせき 上半期実績 2,643 けん 件	6,000 けん 件	6,000 けん 件
はつたつしょうがいしゃしえん 発達障害者支援 せんたーおよ センター及び はつたつしょうがいしゃ ちいきしえん 発達障害者地域支援 まねじゃー かんけいきかん マネジャーの関係機関 じよげんけんすう への助言件数 新規	—	—	—	200 けん 件 かみはんきじつせき 上半期実績 202 けん 件	200 けん 件	200 けん 件

	へいせい ねん ど 平成27年度	へいせい ねん ど 平成28年度	へいせい ねん ど 平成29年度	へいせい ねん ど 平成30年度	へいせい ねん ど 平成31年度	へいせい ねん ど 平成32年度
はったつしょうがいしゃしえん 発達障害者支援 せんたーおよびはったつ センター及び発達 しょうがいしゃちいきしえんま 障害者地域支援マ ねじゃー がいぶ き ネジャーの外部機 かん ちいきじゅうみん 関や地域住民へ けんしゅう けいはつ の研修、啓発 しんき 新規	—	—	—	60件 けん	65件 けん	70件 けん
				かみはんまじつせき 上半期実績 34件 けん		

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねん ど 平成29年度			へいせい ねん ど 平成32年度 もくひょう む 目標に向けた ねん ど とりぐみ 30年度の取組	へいせい 平成32 ねん ど 年度 もくひょう 目標
		もくひょう 目標	じつせき 実績	ひょうか 評価		
こうじのうきのう 高次脳機能 しょうがい かか 障害に関わ かんけいきかん る関係機関 れんけいそくしん の連携促進 こうもく (▷の項目)	こうじのうきのうしょうがい たい しえん に ー ず 高次脳機能障害に対する支援ニーズに たいおう こうじのうきのうしょうがいしえん せ 対応するため、高次脳機能障害支援セ んたー ちいき かんけいきかん れんけい ンターと地域の関係機関との連携を そくしん 促進します。	—	—	—	こうじのうきのうしょうがい かか 高次脳機能障 害に関わ しえんきかん いけんこうかんかい る支援機関で意見交換会 じっし そうだんしえんたいせい を実施し、相談支援体制 きょうか はか の強化を図りました。	—

とりくみ じょうほう ほししょう
取組 1 - 3 情報の保障

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねん ど 平成29年度			へいせい ねん ど 平成32年度 目標に向けた 30年度の取組	へいせい ねん ど 平成32 年度 目標
		もくひょう 目標	じつせき 実績	ひょうか 評価		
こみゆにけー コミュニケーション ボード・カードの 活用促進 (▷の項目)	もじ ことば ことば ことば 文字や言葉によるコミュニケーションが にがて ひと ぼーど かーど えが 苦手な人が、ボードやカードに描かれた え きごう ゆび いし つた 絵や記号を指さすことで、意思を伝えや すくするツールの活用を継続して行い ます。	—	—	—	かつようすいしん かいいてい 活用推進のほか、改訂 をおこな ませよう ぼーど を行ったお店用ボード の配布及び災害用ボ ードの見直し・増刷を行 います。	—

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねん ど 平成29年度			へいせい ねん ど 平成32年度 目標に向けた 30年度の取組	へいせい ねん ど 平成32 年度 目標
		もくひょう 目標	じつせき 実績	ひょうか 評価		
ごうりてきはいりよ 合理的配慮を ふ 踏まえた じょうほうはっしん 情報発信の るーるか ルール化	しかくしょうがいしゃ ちょうかくしょうがいしゃおよ ち 視覚障害者、聴覚障害者及び知 てきしょうがいしゃとう じょうほうほししょう 的障害者等への情報提供につい て、行政情報発信のルール化、ガイ どらいんとう さくせい けんとう ドライン等の作成を検討します。 <振り返り> ・「障害者差別解消の推進に関する とりくみしん しょうがい りゆう さへつ 取組論」や「障害を理由とする差別 かいしょう すいしん かん しょうくいたいおうようりょう 解消の推進に関する職員対応要領」 を策定し、障害のある人の意向を確認 し、場面に応じて考え、対応していく ことを本市の対応の基本としました。 ・聴覚障害のある人への情報保障 の取組として、タブレット端末を活用 した手話通訳サービスの提供等によ り、区役所窓口における手話通訳対 応の充実を図りました。 ・視覚障害のある人への情報保障を もくてき きぼう かた たい ほんし 目的に、希望する方に対して本市から はっしゅつ つうち つうちめい といあわ 発信する通知の「通知名」、「問合せ 先」等について、点字化する取組を開 始しました。	すいしん 推進	じっし 実施	○	ちょうかくしょうがい ひと ・聴覚障害のある人 への情報保障の取組 として、タブレット端 末を活用した手話通 訳サービスの提供等 を実施しています。 ・聴覚障害等により 筆談を必要とする方 への支援策として、 筆談ボードを18区各 課窓口の「市民から見 えやすい場所」に設置し ています。 ・視覚障害のある人へ の情報保障を目的に、 希望する方に対して本 市から発信する通知の 「通知名」、「問合せ先」 等について、点字化する 取組を実施しています。	すいしん 推進

いし そつう しえんじぎょうとう みこ
 (福) 意思疎通支援事業等【見込み】

	へいせい ねんどう 平成27年度		へいせい ねんどう 平成28年度		へいせい ねんどう 平成29年度		へいせい ねんどう 平成30年度		へいせい ねんどう 平成31年度		へいせい ねんどう 平成32年度	
しゅわつうやくしゃ はけん 手話通訳者の派遣 りようしゃすう (利用者数)	8,900	にん 人	9,500	にん 人	9,900	にん 人	10,000	にん 人	10,500	にん 人	11,000	にん 人
	実績 7,897	にん 人	実績 8,343	にん 人	実績 8,250	にん 人	かみはんき 上半期実績 4,528	にん 人				
ようやくひつましゃ はけん 要約筆記者の派遣 りようしゃすう (利用者数)	1,750	にん 人	1,800	にん 人	1,900	にん 人	1,900	にん 人	1,900	にん 人	1,900	にん 人
	実績 1,494	にん 人	実績 1,591	にん 人	実績 1,577	にん 人	かみはんき 上半期実績 896	にん 人				
しゅわほうしんようせい 手話奉仕員養成 けんしゅうじぎょう 研修事業 ようせいにんずう (養成人数)	80	にん 人	80	にん 人	80	にん 人	172	にん 人	172	にん 人	172	にん 人
	実績 44	にん 人	実績 144	にん 人	実績 160	にん 人	かみはんき 上半期実績 -※	にん 人				
しゅわつうやくしゃ ひつましゃ 手話通訳者・筆記者 ようせいけんしゅうじぎょう 養成研修事業 ようせいにんずう (養成人数)	40	にん 人	40	にん 人	40	にん 人	90	にん 人	90	にん 人	90	にん 人
	実績 50	にん 人	実績 61	にん 人	実績 81	にん 人	かみはんき 上半期実績 -※	にん 人				
もう しゃむ 盲ろう者向け つうやく かいじょいんようせい 通訳・介助員養成 けんしゅうじぎょう 研修事業 ようせいにんずう (養成人数)	25	にん 人	25	にん 人	25	にん 人	30	にん 人	30	にん 人	30	にん 人
	実績 4	にん 人	実績 21	にん 人	実績 12	にん 人	かみはんき 上半期実績 -※	にん 人				

※ 上半期のみを実績として集計することが困難な事業です。

とりくみ
取組 1 - 4 さいがいたいさく
災害対策

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねん 度 平成29年度			へいせい ねん 度 平成32年度 ちくひょう む 目標に向けた ねん 度 とりくみ 30年度の取組	へいせい ねん 度 平成32 年度 ちくひょう 目標
		ちくひょう 目標	じつせき 実績	ひょうか 評価		
さいがいつ 災害時 ようえんごしゃ 要援護者 しえんじぎょう 支援事業	さいがいつ じりきひなん ごんなん ようえんごしゃ 災害時に自力避難が困難な要援護者 あんびかくにん ひなんしえんとう かつどう えん の安否確認や避難支援等の活動が円 かつ おこな じょうほうきょうゆうほう 滑に行われるよう、「情報共有方 しき じつしどう つう さいがい そな 式」の実施等を通じて、災害に備えた ひごろ ちいき じしゆてき ささ あ 日頃からの地域での自主的な支え合い とりくみ しえん の取組を支援します。 ふ かえ <振り返り> さいがいつ ようえんごしゃしえん とりくみ じつし 災害時要援護者支援の取組を実施し じちかい ちょうないかい わりあい ている自治会・町内会の割合 へいせい ねん 度まつ ぱーせんと 平成28年度末：82.2 %	さいがいつ 災害時 ようえんご 要援護 者支援 の取組 を実施 て 自治会・ 町内会 の割合： 80 ぱーせんと %	さいがいつ 災害時 ようえんご 要援護 者支援 の取組 を実施 て 自治会・ 町内会 の割合： 85.1 ぱーせんと %	○	さいがいつ ようえんごしゃしえん 災害時要援護者支援の とりくみ じつし 取組を実施している ちく かくだい 地区を拡大します。	すいしん 推進
しょうがいしゃ 障害者・支 えんしゃ 援者による きゃらばんたい キャラバン隊 はけんしえん 派遣支援 じぎょう 事業	かくく じつし ちいきほうさいきよてんくんれん 各区で実施される地域防災拠点訓練 せいふていーねつとぶろじえくとよこはま に、セーフティーネットプロジェクト横浜が さんか しえん しょうがいとくせい 参加しやすいように支援し、障害特性 せつめい さんかしゃ たい を説明します。そして参加者に対し、 しょうがいしゃ ぼらんていあしえん 障害者へのボランティア支援や しょうがいじ しゃ こみゆにけーしょん 障害児・者とのコミュニケーションにつ りかい ほか いて、理解を図ります。 ふ かえ <振り返り> せいふていーねつとぶろじえくとよこはま セーフティーネットプロジェクト横浜の きょうりよく え ちいきほうさいきよてんくんれん 協力を得て、地域防災拠点訓練に しょうがいりかい かが でまえこうざ じつ において障害理解に係る出前講座を し でまえこうざ かつよう む 実施しました。また、出前講座の活用に向 かくくやくしよ かつどう しゅうち け、各区役所に活動を周知しました。	すいしん 推進	じつし 実施	△	せいふていーねつとぶろ セーフティーネットプロ じえくとよこはま じつし ジェクト横浜が実施し しょうがいりかい かが ている障害理解に係る でまえこうざとう ちいきほうさい 出前講座等を地域防災 きよてんくんれんとう かつよう 拠点訓練等で活用いた だけるよう、各区の地域 ほうさいきよてんらんえいいんかい 防災拠点運営委員会の かいぎとう しゅうち 会議等で周知すると ちいきほうさいきよてん もに、地域防災拠点 くんれん さんか し 訓練に参加しやすい仕 く けんとう 組みを検討します。	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねんど 平成29年度			へいせい ねんど 平成32年度 ちくひょうむ 目標に向けた ねんど とりくみ 30年度の取組	へいせい 平成32 ねんど 年度 ちくひょう 目標
		ちくひょう 目標	じつせき 実績	ひょうか 評価		
しょうがいしゅべつ 障害種別 さいがいじ 災害時 たいおうまにゆあ 対応マニュアル の作成	さいがいはっせいちよくご ぶつこう き いた きかん 災害発生直後から復興期に至る期間 において、障害種別ごとの対応マニ アルを作成します。 <振り返り> しょうがいしゅべつ たいおうまにゆ 障害種別ごとの特性等が記載された マニュアルの内容の 検討	たいおうま 対応マ ニュアル の内容 検討	たいおうま 対応マ ニュアル の内容 検討	△	まにゆある さくせい む マニュアル作成 に向け た検討を進めます。	たいおう 対応 まにゆある マニュアル の作成
ちいきぼうさいきよてん 地域防災拠点 における 障害者体験	かくちく ねん かいかいさい ちいきぼうさいきよてん 各地区、年1回開催される地域防災拠点 訓練のメニューとして、障害者体験を 実施できるよう支援します。 <振り返り> せいふていーねっとぶろじえくとよこはま セイフティーネットプロジェクト横浜 が実施している障害理解に係る出前講 座等を地域防災拠点訓練等で活用い ただけるよう、各区地域防災拠点運営 委員会等に周知しました。	すいしん 推進	じっし 実施	△	せいふていーねっとぶろ セイフティーネットプロ ジェクト横浜が実施し ている障害理解に係る 出前講座等を地域防災 拠点訓練等で活用いた だけるよう、各区の地域 防災拠点運営委員会 の会議等で周知します。	すいしん 推進
くきょくしょうがいしゃ 区局障害者 さいがいたいさくかいぎ 災害対策会議	さいがいはっせいじ くぶくしほけんせんた 災害発生時における区福祉保健センタ ー、健康福祉局のそれぞれの役割及び 連携方法について、検討します。 しやくをこえたれんけい はんそうほうほう 市域を越えた連携・搬送方法について も検討します。 <振り返り> かんけいぐきょく たくべつひなんぼしよ かが 関係区局において、特別避難場所に係 る課題検討を行いました。	くきょく 区局 しょうがいしゃ 障害者 さいがいたい 災害対 策会議 の実施	けんとう 検討	△	ゆうこう れんけいしゅほう たい 有効な連携手法や対 応を検討していきます。	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねん ど 平成29年度			へいせい ねん ど 平成32年度 もくひょう む 目標に向けた ねん ど とりくみ 30年度の取組	へいせい 平成32 年度 もくひょう 目標
		もくひょう 目標	じつせき 実績	ひょうか 評価		
しょうがいしゃさいがい 障害者災害 たいさくかいぎ 対策会議	しょうがいしゃ しえんしゃ じぎょうしゃ ちいきおよび 行政等が災害時における共助につ いて、検討する場を設けます。また、 その検討の中で自助の役割も明確に します。 しきない そご れんけいおうえんたいせい こうちく 市域内の相互連携応援体制の構築を 検討します。 ふ かえ <振り返り> かいぎ じっしほうほう けんどう ないぶちようせい 会議の実施方法の検討および内部調整 を行いました。	しょうがいしゃ 障害者 さいがい 災害 たいさく 対策 かいぎ 会議の じっし 実施	けんどう 検討	△	かいぎとう ぼ つう じ 会議等の場を通じて、自 助共助の取組を推進 していきます。	すいしん 推進
しょうがいしゅべつ 障害種別 おうきゅうびちくぶつし 応急備蓄物資 れんけいじぎょう 連携事業	す と ま よう そう ぐ しょうがいとくせい おう ストマ用装具など障害特性に応じた おうきゅうびちくぶつし ほうかん かのう 応急備蓄物資について、保管が可能 な施設をそれぞれ公募するなど、保管 む けんどう おこな に向けた検討を行います。 ふ かえ <振り返り> す と ま よう そう ぐ ほうかん ぼ しょ ほうかん ストマ用装具の保管場所として、保管 ようろっか ぜんく かくく しょ せっち 用ロッカーを全区(各区1か所)に設置 しました。	すいしん 推進	す と ま ストマ ようそうぐ 用装具 の ほうかんよう 保管用 ろっか ロッカ ーを ぜんく 全区 (各区 1か所) に設置	○	けいぞく じっし 継続して実施してい ます。	すいしん 推進

とりくみ 取組 2-1 す 住まい

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねん 度 平成29年度			へいせい ねん 度 平成32年度 もくひょう む 目標に向けた ねん 度 とりくみ 30年度の取組	へいせい 平成32 年度 もくひょう 目標
		もくひょう 目標	じつせき 実績	ひょうか 評価		
こうどうしょうがい 行動障害の かた す ある方の住ま い検討	<p>必要とされる支援などを整理し、支援体制のある生活の仕組みづくりについて、検討を進めます。</p> <p><振り返り></p> <p>・発達障害者支援センターに新たに地域支援マネジャー2名を配置し、障害福祉サービス事業所等に対する行動障害・発達障害に係るコンサルテーションを実施しました。</p> <p>・障害福祉サービス事業所等の職員を対象に、行動障害に係る支援力向上を図るための研修を市内法人が共同して「オール横浜市」として実施しました。</p> <p>・行動障害に対応するグループホームについて検討しました。</p>	すいしん 推進	ちいきし 地域支 援マネ ジャーの ぞういん 増員 (計： 4人)	○	<p>・行動障害に対する支援力向上を図るための研修を引き続き「オール横浜市」として実施しました。</p> <p>・地域支援マネジャーのコンサルテーションの実施件数の拡大を図るとともに、取組に対する効果を検証していきます。</p> <p>・引き続き、行動障害に対応するグループホームの改修等に対する助成について検討していきます。</p>	すいしん 推進
さぼーとほーむ サポートホーム じぎょう 事業 ㉞ はつたつしょうがい (発達障害 しゃ たい 者に対する せいかつしえん すい 生活支援の推 しん 進)	<p>発達障害のある入居者に対し、生活支援を行うことで、地域での一人暮らしに向けた準備を支援する「サポートホーム」について、効果を検証しながら進めます。</p> <p><振り返り></p> <p>サポートホーム事業により、発達障害のある人の生活支援を実施しました。</p>	すいしん 推進	じつし 実施	○	<p>引き続き、高まる支援ニーズへの対応を検討していきます。</p>	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねんど 平成29年度			へいせい ねんど 平成32年度 もくひょう む 目標に向けた ねんど とくみ 30年度の取組	へいせい 平成32 年度 もくひょう 目標
		もくひょう 目標	じつせき 実績	ひょうか 評価		
ようごろうじんほーむ 養護老人ホーム せいびじぎょう 整備事業 しかくしょうがいしゃ (視覚障害者 の入所)	かんきょうじょう りゆうおよ けいぎいてきりゆう 環境上の理由及び経済的理由によ り、居宅において養護を受けることが こんなん こうれいしゃ にゆうしょ みんなせつみんない 困難な高齢者が入所する民設民営 の養護老人ホーム(平成27年度末開 所予定)を港南区野庭町の旧野庭 小学校跡地に整備します。その一部 居室において、視覚障害者を受け入 れます。 <振り返り> ・平成28年2月1日に養護老人ホー ム「野庭風の丘」が開所しました。 ・平成29年5月1日時点で5人の視覚 障害者が入所しています。(視覚 障害者定員6人)	しかく 視覚 しょうがいしゃ 障害者 にゆうしょ の入所 じつし 実施	じつし 実施	〇	しかくしょうがいしゃていん めい 視覚障害者定員6名 について、継続的 な にゆうしょうけいれ 入所受入をしていき ます。	すいしん 推進
しんたいしょうがいしゃ 身体障害者 こうれいしゃ 高齢者の じゅうたくかいぞう 住宅改造 およ ちようが 及び模様替え	しえいじゅうたく にゆうきよ しょうがいしゃとう 市営住宅に入居している障害者等 の要望に対し、トイレや浴室への手す りの取付などの住宅改造を実施しま す。 <振り返り> 平成27年度実績：住宅改造59件 (障害者対応24件、高齢者対応35 件)、模様替承認154件 平成28年度実績：住宅改造37件 (障害者対応27件、高齢者対応10 件)、模様替承認140件	すいしん 推進	へいせい ねんど 平成29年度 じゅうたくかいぞう 住宅改造： 37件 (障害者 対応：14件、 高齢者 対応：23件)、 模様替承認 :139件	〇	げんこう しく たい 現行の仕組みでの対 応を維持していきま す。	すいしん 推進

福 【目標】 グループホームの設置

		平成27年度	平成28年度	平成29年度
共同生活援助 (グループホーム) 利用者数	新規設置/年	200人分 実績195人分	200人分 実績192人分	200人分 実績205人分
	利用人数/年	3,700人分 実績3,762人分	3,900人分 実績3,959人分	4,100人分 実績4,164人分
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
	新規設置/年	200人分 上半期実績12人分	200人分	200人分
	利用人数/年	4,364人分 上半期実績4,177人分	4,564人分	4,764人分

事業名	事業内容	平成29年度			平成32年度 目標に向けた 30年度の取組	平成32年度 目標
		目標	実績	評価		
障害者支援施設の再整備	耐震基準を満たしていない、または老朽化している障害者支援施設について、ユニット化・個室化を進めつつ建て替えを行います。 <振り返り> ・障害者支援施設「恵和青年寮」「偕恵」等の再整備については、平成28年度で工事が完了しました。	工事完了 2か所	工事完了 2か所	○	(平成28年度で事業が完了しました)	完了

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねん ど 平成29年度			へいせい ねん ど 平成32年度 ちくひょう む 目標に向けた ねん ど とりくみ 30年度の取組	へいせい 平成32 ねん ど 年度 ちくひょう 目標
		ちくひょう 目標	じつせき 実績	ひょうか 評価		
しょうがいじしせつ 障害児施設の せいび さいせいび 整備・再整備 (あ)	ししよかん しよめ じゅうしやうしんしんしやうがいじ 市所管3か所目の重症心身障害児 しせつ せいび ろうきゆうか すす 施設を整備するとともに、老朽化が進 んでいる障害児入所施設の再整備・ ユニット化を進めます。 <振り返り> へいせい ねん ど ふくし がたしやうがいじ にゆうしよ ・平成27年度に福祉型障害児入所 しせつ めい きゆうしらねがくえん じどう 施設「ぶどうの実(旧白根学園児童 寮)」の再整備を完了しました。 じゅうしやうしんしんしやうがいじしや しせつ ・重症心身障害児者施設について よこはま いるやうふくし せん た - こうなん へい 「横浜医療福祉センター港南」を平 せい ねん がつ かいしよ よこはま いるやういくりやう 成28年6月に開所、「横浜療育医療 せん た - へいせい ねん ど さいせいび かん センター」を平成28年度に再整備完 りやう 了しました。 へいせい ねん ど きゆう ・平成29年度には「ぽらいと・えき(旧 よこはまし きがくえん さいせいび かん 横浜市なしの木学園)」の再整備を完 りやう 了しました。	こうじ 工事 かんりやう 完了 しよ 4か所	こうじ 工事 かんりやう 完了 しよ 4か所	○	しせつ じやうきやうとう ふ 施設状況等を踏ま え、ちやうせい けんとう 調整・検討して いきます。	しせつ じやうきやうとう 施設状況等 により けんとう 検討
こうりつしやうがいしや 公立障害者 しえんしせつ よこ 支援施設(横 はまししやうふうがく 浜市松風学 えん さいせいび 園)の再整備 けんとう の検討	しやうがいしや しえんしせつ よこはまししやうふう 障害者支援施設である横浜市松風 がくえん にな やくわり ちと きのう 学園の担うべき役割や求められる機能 について、けんしやう さいせいび 検証しながら、再整備を けんとう 検討します。 <振り返り> にゆうきよしや きよじゆうかんきやうかいぜん こ 入居者の居住環境改善のため個 しつかとう せつけい すす どうえん 室化等の設計を進めるとともに、同園 しまち いちぶ かつやう にゆうしよしせつ せい 敷地の一部を活用して入所施設を整 び 基本構想に ちやくしゆ 備するため、基本構想に着手すること けつてい を決定しました。	すいしん 推進	けんとう 検討	○	こんご しやうふうがくえんおよ 今後の松風学園及び しんしせつみんかんにゆうしよしせつ 新施設民間入所施設の やくわり きのう けんとう 役割・機能を検討してい ます。	こしつかとう 個室化等の りやうかんきやう 利用環境 せつび や設備の かいぜんおよ 改善及び しんにゆうしよ 新入所 しせつ 施設の こうじじっし 工事実施

福 【目標】 福祉施設入所者の地域生活への移行

現状	すうち 数値	けいかくち 計画値	すうち 数値	けいかくち 計画値	すうち 数値
平成25年度末時点での施設入所者数	1,544人	平成29年度末時点での施設入所者数	1,515人 【平成28年度】 実績 1,494人	平成32年度末時点での施設入所者数	1,465人 【平成30年度】 上半期実績 1,461人
平成25年度末時点での定員数	1,125人	平成29年度末時点での定員数	1,125人 【平成28年度】 実績 1,104人	平成32年度末時点での定員数	1,104人 【平成30年度】 上半期実績 1,094人

福児 【目標】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
施設入所支援 (利用人数/月)	1,530人 実績 1,510人	1,523人 実績 1,494人	1,515人 実績 1,487人	1,485人 上半期実績 1,461人	1,475人	1,465人
福祉型障害児 入所支援(利用児童数/月)	148人分 実績 150人分	168人分 実績 154人分	168人分 実績 164人分	190人分 上半期実績 164人分	190人分	190人分
医療型障害児 入所支援(利用児童数/月)	78人分 実績 76人分	88人分 実績 85人分	88人分 実績 87人分	87人分 上半期実績 92人分	87人分	87人分
宿泊型自立 訓練 (利用人数/月)	2,516人日分 実績 2,430人日分	2,516人日分 実績 2,443人日分	2,516人日分 実績 2,447人日分	2,516人日分 上半期実績 2,540人日分	2,516人日分	2,516人日分
療養介護	96人分 実績 89人分	96人分 実績 92人分	96人分 実績 90人分	96人分 上半期実績 88人分	96人分	96人分
	189人分 実績 197人分	295人分 実績 225人分	295人分 実績 233人分	281人分 上半期実績 218人分	281人分	281人分

※ 施設入所支援は、旧身体障害者更生施設を除く。

【目標】18歳以上の障害児施設入所者の障害者支援施設及び地域への移行

	へいせい ねんど 平成27年度	へいせい ねんど 平成28年度	へいせい ねんど 平成29年度	へいせい ねんど 平成30年度	へいせい ねんど 平成31年度	へいせい ねんど 平成32年度
さいいじょう にゅう 18歳以上の入 所者の移行人 数	28 人	28 人	29 人	7 人	7 人	6 人
実績	17 人	24 人	7 人	かみはんまじつせき 上半期実績 1 人		
いこうよていたいしょう 移行予定対象 人数	57 人	29 人	0 人	13 人	6 人	0 人
実績	51 人	27 人	20 人	かみはんまじつせき 上半期実績 19 人		

【目標】精神障害者地域移行・地域定着支援事業（市事業：退院サポート事業）

	へいせい ねんど 平成27年度	へいせい ねんど 平成28年度	へいせい ねんど 平成29年度	へいせい ねんど 平成30年度	へいせい ねんど 平成31年度	へいせい ねんど 平成32年度
こべつしえん 個別支援 対象者数 (人/年)	70 人	70 人	70 人	89 人	93 人	97 人
実績	79 人	83 人	87 人	かみはんまじつせき 上半期実績 88 人		
じっしじぎょうしょうすう 実施事業所数 新規	— 箇所	— 箇所	— 箇所	15 箇所	18 箇所	18 箇所
実績	9 箇所	11 箇所	12 箇所	かみはんまじつせき 上半期実績 15 箇所		

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねんど 平成29年度			へいせい ねんど 平成32年度 目標に向けた 30年度の取組	へいせい ねんど 平成32 年度 目標
		もくひょう 目標	じつせき 実績	ひょうか 評価	もくひょう 目標	もくひょう 目標
せいしんしょうがい 精神障害に も対応した地 域包括ケア システムの構築 新規	せいしんびょうしょう 精神病床における長期入院患者の地 域生活への移行を進めるに当たり、保健 いきせいかつ いこう すす あ ほけん と医療と福祉の連携及び協議の場を通 じ、重層的な連携による支援体制を構 築していきます。また、長期入院患者の 退院の促進を図るため、地域移行・地域 定着支援事業を推進していきます。	—	—	—	きょうぎ ば せつち む ど 協議の場の設置に向けて、取 組み手法や地域における課 題・強み等の抽出等を 試行するため、病院職 員、区職員、生活支援セ ンター職員の連携による 長期入院患者の退院 支援に向けた取組を始めま した。	すいしん 推進

福 【目標】

	平成28年度 現状値	平成29年度 現状値 (暫定)	平成32年度 目標数値
精神病床における1年以上長期入院患者数(65歳以上)※ ₁	1,173 人	1,161 人	1,079 人
精神病床における1年以上長期入院患者数(65歳未満)※ ₁	1,118 人	1,095 人	1,036 人
精神病床における早期退院率(入院後3か月時点)※ ₂	58.7 %	68.7 %	69 %
精神病床における早期退院率(入院後6か月時点)※ ₂	82.2 %	84.0 %	84 %
精神病床における早期退院率(入院後1年時点)※ ₂	91.8 %	92.2 %	92 %

※₁...平成32年6月末時点

※₂...平成31年6月末時点から

福 【目標】 地域相談支援(年間の人分は延べ数)

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
ちいきいごう 地域移行 しえん 支援	つき (/月)	5 人分	7 人分	8 人分	8 人分	8 人分	8 人分
		実績 2 人分	実績 2 人分	実績 2 人分	実績 2 人分		
	ねん (/年)	60 人分	80 人分	100 人分	100 人分	100 人分	100 人分
		実績 18 人分	実績 19 人分	実績 27 人分	実績 9 人分		
ちいきていちゃく 地域定着 しえん 支援	つき (/月)	10 人分	15 人分	20 人分	20 人分	20 人分	20 人分
		実績 2 人分	実績 2 人分	実績 4 人分	実績 5 人分		
	ねん (/年)	120 人分	180 人分	240 人分	240 人分	240 人分	240 人分
		実績 23 人分	実績 20 人分	実績 45 人分	実績 27 人分		

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねん ど 平成29年度			へいせい ねん ど 平成32年度	へいせい 平成32 年度
		もくひょう 目標	じつせき 実績	ひょうか 評価	目標に向けた 30年度の取組	年度 目標
<p>みんかんじゅうたく 民間住宅 あんしん にゅうきよじぎょう 入居事業</p>	<p>やちんとう しはらいのうりよく れん 家賃等の支払能力はあるものの、連 たいほしようにん かくほ 帯保証人が確保できないことなどを理 ゆゑに 民間 賃貸住宅 への入居に 困窮している障害者等に対して、 協力不動産店による物件の紹介と 民間保証会社を利用した家賃保証に より入居の機会を増やします。 <振り返り> けんちくきよく けんこうふくしきよく れんけい はか 建築局、健康福祉局で連携を図りな がら、入居者、オーナー、不動産店の 利用促進につながるよう、60歳以上の 単身者の方を対象に安否確認サービ スモデル事業を開始し、各宅地建物取 引業団体の会議で制度を周知しまし た(7団体)。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>じつし 実施</p>	<p>△</p>	<p>にゅうきよじぎょう あんしん入居事業につ いては建築局、健康福祉 局で意見交換を行いな がら、引き続き制度の検 討を行っていきます。 くわ こんご へいせい 加えて、今後は平成30 ねん がつ せつりつ よこ 年10月に設立した「横 はま しきよじゅうしえんきよぎかい 浜市居住支援協議会」の なか しょうがいしゃ 中で、障害者をはじめと する、住宅確保要配慮者 にたいしての、入居支援・ きよじゅうしえん たいせいせいび 居住支援の体制整備を けんとう 検討していきます。 また、あんびかくにん 安否確認サービス モデル事業については、 きかんしゅうりょう へいせい モデル期間終了の平成 30ねん がつまつ じつせき 30年11月末までの実績 をふく 踏まえ、居住支援協 ぎかい 議会でのメニューとして いこう 移行するなどの選択肢も ふく 含めて検討を行って きます。</p>	<p>すいしん 推進</p>
<p>みんかんじゅうたく 民間住宅 にゅうきよ 入居の促進</p>	<p>くる - ぶ ほ - むどう みんかんちんたいじゅうたく てん グループホーム等から民間賃貸住宅への転 居や、その後の単身生活が安心して送れる ための仕組みについて検討し、実施します。 <振り返り> せいしんしょうがいしゃ す けんとうぶかい 「精神障害者の住みの検討部会」を ぜん 全2回開催しました。 じゅうたくかくほようはいりよしゃ たいしょう あ やとう 住宅確保要配慮者を対象に空き家等 かつよう あら じゅうたくせーふていねっと を活用した新たな住宅セーフティネット せいど けんとう 制度を検討しています。</p>	<p>みんかん 民間 じゅうたく 住宅 にゅうきよ 入居の 仕組み けんとう 検討・ じつし 実施</p>	<p>けんとう 検討</p>	<p>△</p>	<p>せいしんしょうがいしゃ たいおう 精神障害者にも対応 したちいきほうかつけあしす 地域の包括ケアシ てむ こうちく む テムの構築に向けて きよぎ 協議を進めます。</p>	<p>すいしん 推進</p>

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねん ど 平成29年度			へいせい ねん ど 平成32年度 目標に向けた 30年度の取組	へいせい 平成32 年度 目標
		もくひょう 目標	じつせき 実績	ひょうか 評価		
こうれいか じゅうど 高齢化・重度 化対応のグル ープホームの けんしょう けんとう 検証・検討 (▷の項目)	げんざいじっし じゅうどかたいおう くる - ぶ 現在実施している重度化対応グループ ホームやモデル事業の高齢化対応のグ ープホームの検証を行い、今後進 んでいくことが見込まれる障害者の 高齢化・重度化を見据えて、一日を通し て安心できる住まいの確保を目指して、 持続的に実現可能な住まいの形を構築 します。	—	—	—	ひつよう じんいんたいせい せつ 必要な人員体制や設 備基準等について引 き続き検討します。	—

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねん ど 平成29年度			へいせい ねん ど 平成32年度 目標に向けた 30年度の取組	へいせい 平成32 年度 目標
		もくひょう 目標	じつせき 実績	ひょうか 評価		
こうれいか じゅうどか 高齢化・重度化 対応 ばりあふりー 改修事業	くる - ぶ ほう - む りよう しょうがいしゃ グループホームを利用する障害者が 高齢になり、それに伴う身体機能の低 下等により、従来のホームの設備で 生活することが困難となる場合でも、 居住しているホームで安心して生活 し続けることができるよう、バリアフリ ー等改修に係る経費を補助します。 <振り返り> この3か年で3ホームから申請があり、 トイレや浴室の改修、階段昇降機の 設置を行いました。	すすしん 推進	じっし 実施	○	こんご じぎょう けいぞく 今後とも事業を継続 し、制度の周知に努め ます。	すすしん 推進

とりくみ 暮らし
取組 2-2

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねん ど 平成29年度			へいせい ねん ど 平成32年度 もくひょう む 目標に向けた ねん ど とりくみ 30年度の取組	へいせい 平成32 年度 もくひょう 目標
		もくひょう 目標	じつせき 実績	ひょうか 評価		
ちかつほ - む 地活ホームの うんえい 運営	ちかつほ - む ちいき きよてん 地活ホームは、地域における拠点として せつち しょうがいふく 設置してきました。これからも、障 害福 し にかか しゃかいしげん ちゆうしん 祉に関わる社会資源の中心として、よ りりよう ぎよてん しゃかい り利用しやすい拠点となるよう、社会 ふくし ほうじんがた きのおきよかがた ちかつほ - む 福祉法人型・機能強化型地活ホームの りようほう ちいき やくわり 両方について、地域における役割や い ちづ めいかく あらた 位置付けを明確にするため、改 めて けんとう きのお じゅうじつ はか 検討し、機能の充 実を図ります。 ふ かえ <振り返り> しゃかいふくし ほうじんがた ちかつほ - む 社会福祉法人型地活ホームについて、 ちいき に - ず たい くやくしよ れんけい 地域のニーズに対し、区役所と連携し て、じゅうなん じぎょうてんかい おこな 柔軟な事業展開が行 えるよう、 せいど いちぶみなお 制度を一部見直しました。 やくわり い ちづ かんけいぶ また、役割や位置付けについて、関係部 しょ かだい きようゆう じぎょう 署と課題を共有するとともに、事業 しょとう けんとう おこな 所等と検討を行いました。	すいしん 推進	じつし 実施	○	かんけいぶしょとう かだい 関係部署等と課題の きようゆうか やくわり い ちづ 共有化、役割や位置付 けの明確化、機能の めいかくか きのお 充実化に向けた検討 じゅうじつが む けんとう を行っていきます。 おこな	すいしん 推進
せいかつしえん 生活支援 せんたー センターの うんえい 運営	せつちとうしよ い ぼしよきのお 設置当初の居場所機能をただでなく、既存 き - びす せいり さいこうちく うえ そうき のサービスを整理・再構築した上で、早期 たいおう せいかつしえんせんたー - こ かた 対応や生活支援センターに来られない方 など、せいしんしょうがいしゃ そうだんきのお じゅうてん など、精神 障害者の相談機能に重点 お しえん じゅうじつ はか を置いた支援の充 実を図ります。 ふ かえ <振り返り> そうだんきのお じゅうてん お しえん じゅうじつ 相談機能に重点を置いた支援の充 実を もくてき でんわそうだんおよ しょくじさ - びすと 目的に、電話相談及び食事サービス等の きそんき - びす せいり 既存サービスを整理しました。	すいしん 推進	じつし 実施	○	き - びす ひょうじゆんか サービスの標準化に む へい 向けて4区(A型2区、 びーがた く えーがた く B型2区) でモデル事 ぎょう じつし か だいけん 業を実施し、「課題検 とう いんかい けんしやう 討委員会」の検 証を おこな 行っていきます。	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねんど 平成29年度			へいせい ねんど 平成32年度 目標に向けた 30年度の取組	へいせい 平成32 年度 目標
		もくひょう 目標	じつせき 実績	ひょうか 評価		
たきのうがた 多機能型 きよてん 拠点の せいび うんえい 整備・運営 ㊤	じゅうしょうしんしんしょうがいじ しゃ つね い 重症心身障害児・者など、常に医 りょうてきけ あ ひつよう ひと かぞく ち 療的ケアが必要な人やその家族の地 いき く らし しえん そうだんし 域での暮らしを支援するため、相談支 えん せいかつかいご ほうもんかんご さーび すおよ 援、生活介護、訪問看護サービス及び たん きにゆうしよ いったいてき ていきよう 短期入所などを一体的に提供でき る多機能型拠点の整備を市内方面別に すす 進めます。 <振り返り> へいせい ねん がつ せやく かんめ 平成29年4月に瀬谷区に3館目の たきのうがたきよてん かいしよ ぜん しょ 多機能型拠点を開所し、全3か所 さかえく つづきく せやく たきのうがたきよてん (栄区、都筑区、瀬谷区)の多機能型拠点 うんえいしえん おこな の運営支援を行っています。 しな い かんめ せいび ちけつてい む けんとう 市内4館目の整備地決定に向けて検討 おこな を行っています。	かいしよ 開所2 か所 るいけい (累計 4か所)	かいしよ 開所1 か所 るいけい (累計 3か所)	△	うんえいじぎょうしや 運営事業者とともに かん うんえいじよう かだい 3館の運営上の課題 はあくおよ きようゆう の把握及び共有を おこな 行いながら、具体的な かいけつ む けんとう 解決に向けた検討を おこな 行います。 かんめいごう 4館目以降について、 そうきゆう せいび ち せんてい 早急に整備地を選定 し、整備を進めていき ます。	かいしよ 開所 3か所 るいけい (累計6 か所) せいび (整備 完了)

福

	へいせい ねんど 平成27年度	へいせい ねんど 平成28年度	へいせい ねんど 平成29年度	へいせい ねんど 平成30年度	へいせい ねんど 平成31年度	へいせい ねんど 平成32年度
ちいきせいかつしえん 地域生活支援	けんとう 検討	けんとう 検討	1か所	2か所		
きよてん せいび 拠点の整備	しんめい けんとう 実績 検討	しんめい けんとう 実績 検討	しんめい けんとう 実績 検討	かみはんきしつせ 上半期実績 2か所	18か所	18か所

福【見込み】

	へいせい ねんど 平成27年度		へいせい ねんど 平成28年度		へいせい ねんど 平成29年度		へいせい ねんど 平成30年度		へいせい ねんど 平成31年度		へいせい ねんど 平成32年度	
きょたくかいご 居宅介護		140,521 じかん 時間		149,710 じかん 時間		159,499 じかん 時間		124,349 じかん 時間				
	実績	128,138 じかん 時間	実績	124,038 じかん 時間	実績	123,771 じかん 時間	実績	122,414 じかん 時間		124,504 じかん 時間		124,659 じかん 時間
		6,896 にんぶん 人分		7,336 にんぶん 人分		7,804 にんぶん 人分		7,294 にんぶん 人分				
	実績	6,643 にんぶん 人分	実績	6,787 にんぶん 人分	実績	6,976 にんぶん 人分	実績	7,106 にんぶん 人分		7,561 にんぶん 人分		7,838 にんぶん 人分
じゅうどほうちん 重度訪問 かいご 介護		42,593 じかん 時間		45,378 じかん 時間		48,345 じかん 時間		69,254 じかん 時間				
	実績	47,540 じかん 時間	実績	54,193 じかん 時間	実績	61,587 じかん 時間	実績	64,828 じかん 時間		78,288 じかん 時間		88,501 じかん 時間
		239 にんぶん 人分		254 にんぶん 人分		270 にんぶん 人分		409 にんぶん 人分				
	実績	271 にんぶん 人分	実績	314 にんぶん 人分	実績	353 にんぶん 人分	実績	383 にんぶん 人分		467 にんぶん 人分		534 にんぶん 人分
どうこうえんご 同行援護		14,649 じかん 時間		15,607 じかん 時間		16,627 じかん 時間		16,398 じかん 時間				
	実績	14,343 じかん 時間	実績	14,896 じかん 時間	実績	15,409 じかん 時間	実績	14,292 じかん 時間		17,205 じかん 時間		18,052 じかん 時間
		713 にんぶん 人分		758 にんぶん 人分		807 にんぶん 人分		798 にんぶん 人分				
	実績	694 にんぶん 人分	実績	726 にんぶん 人分	実績	752 にんぶん 人分	実績	748 にんぶん 人分		837 にんぶん 人分		878 にんぶん 人分
こうどうえんご 行動援護		2,833 じかん 時間		3,018 じかん 時間		3,215 じかん 時間		12,432 じかん 時間				
	実績	5,281 じかん 時間	実績	6,517 じかん 時間	実績	7,357 じかん 時間	実績	7,913 じかん 時間		17,171 じかん 時間		23,716 じかん 時間
		106 にんぶん 人分		113 にんぶん 人分		120 にんぶん 人分		669 にんぶん 人分				
	実績	233 にんぶん 人分	実績	303 にんぶん 人分	実績	368 にんぶん 人分	実績	405 にんぶん 人分		994 にんぶん 人分		1,476 にんぶん 人分

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
短期入所 (福祉型)	1,007人分	1,074人分	1,146人分	1,100人分	1,150人分	1,200人分
	実績 934人分	実績 968人分	実績 1,041人分	実績 1,099人分		
	6,251人日	6,480人日	6,718人日	6,000人日	6,150人日	6,300人日
	実績 5,440人日	実績 5,552人日	実績 5,691人日	実績 5,663人日		
短期入所 (医療型)	360人分	498人分	689人分	400人分	440人分	480人分
	実績 266人分	実績 300人分	実績 336人分	実績 365人分		
	1,937人日	2,619人日	3,541人日	2,000人日	2,200人日	2,400人日
	実績 1,345人日	実績 1,526人日	実績 1,764人日	実績 1,917人日		
日中一時 支援	411人分	411人分	411人分	471人分	479人分	487人分
	実績 457人分	実績 464人分	実績 493人分	実績 553人分		
	729回	729回	729回	783回	796回	809回
	実績 707回	実績 749回	実績 817回	実績 926回		
日常生活 用具給付・ 貸与(7年)	65,000件	65,000件	65,000件	81,000件	81,000件	81,000件
	実績 81,008件	実績 86,220件	実績 87,030件	実績 一※件		

この表における単位の考え方は以下のとおりです。

- ・「人分」「回」…月間の利用人数・回数
- ・「人日」…「月間の利用人数」×「一人一か月あたりの平均利用日数」
- ・「時間」…月間のサービス提供時間

※ 上半期のみを実績として集計することが困難な事業です。

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねんど 平成29年度			へいせい ねんど 平成32年度 目標に向けた 30年度の取組	へいせい 平成32 年度 目標
		もくひょう 目標	じつせき 実績	ひょうか 評価		
めでいかる メディカル しょーとすてい ショートステイ しすてむ システム ㊦	いりょうてきけあ ひつよう じゅうしょうしんしん 医療的ケアが必要な重症心身 しょうがいじ しゃ ざいたく かいご かぞく 障害児・者を、在宅で介護する家族の ふたんけいげん ざいたくせいかつ あんてい もくてき 負担軽減と在宅生活の安定を目的と して、いちじてき ざいたくせいかつ こんなん 一時的に在宅生活が困難となつ た場合などに、びょういん うい た場合などに、病院での受け入れを 実施します。 <振り返り> じぎょうかいし へいせい ねんど 事業開始の平成24年度から平成28 ねんど りようとうろくしゃすう にん りよう 年度までの利用登録者数212人、利用 の にんずう にん りようの にっすう 延べ人数366人、利用延べ日数は 2,805日で、そのうち、かぞく しっぺい 家族の疾病に よる利用は120人でした。	すいしん 推進	じつし 実施	○	ひ つづ じぎょう じつし 引き続き事業を実施し ていくとともに、きょう 協力医療機関との会議 けんしゅう おこな えんかつ 研修を行い円滑な じぎょうらんえい はか 事業運営を図っていき ます。	すいしん 推進
せいしんしょうがいしゃ 精神障害者 かぞくしえん の家族支援 じぎょう 事業 ㊦	せいしんしょうがいしゃ かぞく てきせつ かんけい 精神障害者とその家族が適切な関係 をたもつため、きんきゅうたいざいばしょ じゅんび を保つため、緊急滞在場所を準備す るとともに、かぞく せいしんしつかん 家族が精神疾患について りかい ふか きかい ていきょう 理解を深める機会を提供します。 <振り返り> へいせい ねんど じげんとうろく かいし じ 平成29年度から事前登録を開始し、事 業がよりりよう 業がより利用しやすくなりました。	すいしん 推進	じつし 実施	○	じぎょう りようじょうきょう かく 事業の利用状況を確認 しながら、ひ つづ 引き続き らんえいほうほうとう けんとう 運営方法等を検討して いきます。	すいしん 推進
しょうがいしゃじりつ 障害者自立 せいかつ 生活 あしすたんと アシスタント ㊦	ちいき たんしんとう せいかつ しょうがいしゃ たい 地域で単身等で生活する障害者に対 して、じりつせいかつあしすたんと 自立生活アシスタントが、その しょうがいとくせい ふ ぐたいてき せいかつば 障害特性を踏まえて、具体的な生活場 面でのしゃかいてきおうりよく たか じょげん 社会適応力を高める助言を ちゅうしん しえん おこな 中心とした支援を行います。 <振り返り> みぢか ちいき しえん う 身近な地域で支援が受けられるよう、各区 でじぎょう てんかい たいせい せいび すす 事業を展開できる体制の整備を進 め、へいせい ねんど ぜんく しえんたいせい 平成28年度から全区での支援体制を せいび 整備しています。	じぎょう 事業 しよすう 事業所数 40カ所 (全区 ぜんく 実施) じつし 実施 (現状： げんじょう 36カ所)	じぎょうしよすう 事業所数 40カ所 (全区 ぜんく 実施)	○	あんしん ちいきせいかつ 安心して地域生活を けいぞく 継続できるよう、しえん 支援 ないよう 内容などについて けんとう 検討していきます。	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねんど 平成29年度			へいせい ねんど 平成32年度 目標に向けた 30年度の取組	へいせい 平成32 年度 目標
		もくひょう 目標	じつせき 実績	ひょうか 評価		
こうけんてき 後見的 しえんせいど 支援制度 ㊦	しょうがいしゃほんにん しやうがいふくしきーびす 障害者本人に障害福祉サービスに かか しえん ひつよう 係る支援が必要とされていない時か ら関係性を持つことにより、「親なき あと あんしん ちいきせいかつ おく 後も安心して地域生活が送れる仕組 み <small>（こうちく おこな）</small> の構築」を行います。 <振り返り> へいせい ねんど へいせい ねんど じつしき 平成27年度、平成28年度に、実施区 をそれぞれ2区ずつ増やし、全区実 施となりました。 へいせい ねんど こうなんく あおぼく 平成27年度：港南区、青葉区 へいせい ねんど なかく せやく 平成28年度：中区、瀬谷区	ぜんく 全区 じつし 実施 げんじよう （現状 ：14区）	ぜんく 全区 じつし 実施	○	おや あと あんしん 親なき後も安心して 暮らせるよう、引き続 き後見的支援制度を すすしん 推進していきます。	すすしん 推進
しょうひしゃきやういく 消費者教育 じぎょう 事業 ㊦	しょうがいしゃ かぞくおよ しえんしゃ しやうひん 障害者や家族及び支援者が、商品・ サービス <small>（さーびす りようおよ けいやく かか とら）</small> の利用及び契約に関わるト ラブル等を学ぶことにより、安心した日 常生活を送れるよう、意識啓発を 図ります。 <振り返り> けいざいきやく きやういく いんかいじむきやく けんこうふく 経済局、教育委員会事務局、健康福 祉局の3局が連携し、特別支 援学校の生徒を対象とした出前講座を 2校で実施しました。	すすしん 推進	じつし 実施	○	しょうひしゃじやうせい はあく 消費者情勢を把握し ながら、3局が連携 して、児童生徒及び 教員等を対象とし た講座や研修を実施 します。	すすしん 推進

福

	へいせい ねんど 平成27年度	へいせい ねんど 平成28年度	へいせい ねんど 平成29年度	へいせい ねんど 平成30年度	へいせい ねんど 平成31年度	へいせい ねんど 平成32年度
じりつせいかつえんじよ 自立生活援助 しんき 新規	—	—	—	360 にんぶん 人分 かみはんまじつせき 上半実績 0 にんぶん 人分	720 にんぶん 人分	1,000 にんぶん 人分

とりくみ 健康・医療
取組3-1

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねんど 平成29年度			へいせい ねんど 平成32年度 目標に向けた 30年度の取組	へいせい ねんど 平成32 年度 目標
		もくひょう 目標	じつせき 実績	ひょうか 評価		
じゅうどしんけい 重度神経 なんびょうかんじゃ 難病患者 ざいたくしえん 在宅支援 しすてむの ごうちく 構築	はつびょう から すうねん きゅうそく しんごう しんけい 発病から数年で急速に進行する神経 なんびょうかんじゃ たい ざいたくしえんしすてむ 難病患者に対する在宅支援システムを、 せんもんいりょうきかん ざいたくりはびりてーしょんどう 専門医療機関・在宅リハビリテーション等 ほけん いりょうかんけいしゃ しょうがいふくしきさーびす の保健・医療関係者と障害福祉サービ じぎょうとう れんけい こうちく 事業等との連携により、構築します。 <ふ かえ 振り返り> しんだんちよくご きんいしゆくせいそくさくこうかしょう 診断直後の筋萎縮性側索硬化症 えーえるえす かた せいかつしょうがいしえん もく (ALS) の方の生活障害支援を目 てき そうきかいにゆう しごう とりくみ 的に、早期介入を試行しました。取組 あたりに ざいたくりはびりてーしょんじ に当たり、在宅リハビリテーション事 ぎょう しょうかい しな いりょうき 業の紹介を、市内11か所の医療機 かん しんだんきかん じつし どうじくふくし 関(診断機関)へ実施し、同時に区福祉 ほけんせんたー そうきかいにゆう ひつよう 保健センターへも、早期介入の必要 せい つた しんだんちよくご りようしゃ 性を伝えました。診断直後の利用者 しえん おこな なか じしん き の支援を行う中で、自身では気づきに せいかつしょうがい しえん おこな せいかつ くい生活障害への支援が行え、生活 どうさ ふたん けいげん こうか 動作の負担を軽減することに効果が出 ています。診断時の医療機関あるいは なんびょうしんせいじ ほけんし ざいたくりは 難病申請時の保健師による在宅リハ びりてーしょんじぎょう なが ビリテーション事業への流れができ はじ 始めています。	すいしん 推進	じつし 実施	○	げんざいおこな しんだん 現在行っている診断 ちよくご えーえるえす かた 直後のALSの方の しえん けいぞく しえん 支援を継続し、支援の なが あんていか 流れを安定化させま す。また、筋ジストロ ふいーしょう かた たい フィー症の方に対す しえん ちようき る支援は長期にわた しえんしゃ こうたい せい り、支援者の交代や生 かつかんきょう へんかどうしえん 活環境の変化等支援 こんなん に困難をきたすこと もお おお あら きん も多いため、新たに筋 じすとろふいーしょう ジストロフィー症の しえん げんじょう し 支援の現状を知つ ざいたくりはびりてー て、在宅リハビリテ しょんじぎょう かつよう ーション事業の活用を すす 進めます。	すいしん 推進
なんびょうかんじゃ 難病患者 ざいたくりょうよう 在宅療養 けいかくさくてい 計画策定・ ひょうかじぎょう 評価事業	ざいたくなんびょうかんじゃ たい ほけん いりょう 在宅難病患者に対し、保健・医療・ ふくし かくさーびす てきせつ ていきょう 福祉の各サービスを適切に提供す ため、かんけいしゃ ごとどう さーびすないよう ために、関係者が合同でサービス内容 けんどう を検討します。 <ふ かえ 振り返り> へいせい ねんど じつし 平成27年度は、実施はありません。 へいせい ねんど あさひく けんじつし 平成28年度は、旭区で1件実施しました。	すいしん 推進	へいせい 平成29 ねんど 年度は あさひく 旭区・ こうほくく 港北区で じつし 実施	△	ちいき じつじょう くに どう 地域の実情や国の動 こう ふ てきせつ し 向を踏まえ、適切に事 ぎょう すいしん 業を推進していきま す。	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねんど 平成29年度			へいせい ねんど 平成32年度	へいせい 平成32
		もくひょう 目標	じつせき 実績	ひょうか 評価	もくひょう 目標	ねんど 年度 もくひょう 目標
なんびょうかんじゃ 難病患者 いちじにゆういん 一時入院 じぎょう 事業	いりよういぞんど たか なんびょうかんじゃ かいじょしゃ 医療依存度の高い難病患者が介助者 の事情により、在宅で介助を受けるこ とが困難になった場合、一時的に入院 できるようにします。 <振り返り> へいせい ねんどまつげんざい びょういん びょう 平成29年度末現在、7病院、5病 床にて受入を実施しています。 へいせい ねんどのべりようにつすう にち 平成27年度延利用日数：920日 へいせい ねんどのべりようにつすう にち 平成28年度延利用日数：840日	すいしん 推進	へいせい 平成29 ねんど 年度 のべりよう 延利用 につすう 日数： 742日	○	ざいたくじゅうしょうかんじゃがいしゅつ 在宅重症患者外出 しえんじぎょう りよう あ 支援事業の利用と合わ せた周知を行い、実 態とニーズを把握して 必要に応じて拡大に向 けた議論をします。	すいしん 推進
けんこうのーと 健康ノート	しょうがいじ しゃ じぶん す ちいき いりよう 障害児・者が自分の住む地域の医療 機関で受診する際に活用できる「健康 のーと」について、あり方を検討します。 <振り返り> ざいこ はいふじょうきょう ちょうさ おこな 在庫・配布状況の調査を行ったほ か、障害関係団体へのヒアリングを 実施しました。	あり方 の検討	けんとう 検討	△	ひ つづ かつようじょうきょう 引き続き、活用状況 等を基にあり方を検 討します。	けんとう 検討
いりようじゅうじしゃ 医療従事者 けんしゅうじぎょう 研修事業 ㊦	しつぱい しょうがい しょうにおよ じゅうしょう 疾病や障害のある小児及び重症 心身障害児・者の支援に必要な知識・ 技術の向上を図り、障害特性を 理解した医療従事者を育成するため の研修を実施します。 <振り返り> いりようきかん ふくししせつとう きんむ かんご 医療機関や福祉施設等に勤務する看護 師を対象に「小児訪問看護・重症 心身障害児者研修」を実施しました。	すいしん 推進	じっし 実施	○	けんしゅうにつすう けんしゅうしゅ 研修日数や研修手 法等を関係団体と検 討し、研修を実施し ます。	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねんど 平成29年度			へいせい ねんど 平成32年度 もくひょう む 目標に向けた ねんど とりくみ 30年度の取組	へいせい 平成32 年度 もくひょう 目標
		もくひょう 目標	じつせき 実績	ひょうか 評価		
しょうがいふくししせつ 障害福祉施設 等で働く 看護師の支援 ㊦	しょうがいふくししせつとう はたら かんごし ていちゃく 障害福祉施設等で働く看護師の定着 む しえん おこな かくほ に向けた支援を行うとともに、確保の ほうさく けんとう 方策について検討します。 ふ かえ <振り返り> しゃかいふくしほうじんがたちかつほ - むとう し かい 社会福祉法人型地活ホーム等に歯科医 師を派遣し、食事場面において、 しょうがいふくし げんぼ そく じよげんしどう 障害福祉の現場に即した助言指導や けんしゅう じっし 研修を実施しています。また、 しゃかいふくしほうじんがたちかつほ - む たきのうがた 社会福祉法人型地活ホームや多機能型 きよてん はたら かんごし たいしやう かい 拠点で働く看護師を対象とした会 ぎ かいさい かだい きやうゆう ネットわー 議を開催し、課題の共有やネットワー クづくりを行っています。	すいしん 推進	じっし 実施	○	しょうがいふくししせつとう 障害福祉施設等で はたら かんごし ていちゃく 働く看護師の定着 む しえん おこな に向けた支援を行う ととともに、確保の方策 かくほ ほうさく について検討します。	すいしん 推進
じゅうど 重度 しょうがいしゃとう 障害者等 にゅういんじ 入院時 こみゆにけし コミュニケーション 支援事業 ㊦	にゅういんさきいりやうきかん いし かんごしどう 入院先医療機関の医師・看護師等と いし そつう が じゅうぶん はか の意思疎通が十分に図れない しょうがいじ しゃ たいしやう にゅういんさき こみ 障害児・者を対象に、入院先にコミ ゆにけーしょん しえんいん はけん ュニケーション支援員を派遣します。 ふ かえ <振り返り> へいせい ねんど じつせき 平成27年度実績 はけんけんすう けん そう はけんじかん じ 派遣件数：47件，総派遣時間：995時 かん 間 へいせい ねんど じつせき 平成28年度実績 はけんけんすう けん そう はけんじかん 派遣件数：67件，総派遣時間：1,081 じかん 時間	すいしん 推進	へいせい 平成29 年度 はけん 派遣 けんすう 件数： 91件 そう はけん 総派遣 じかん 時間： 2,003 じかん 時間	○	へいせい ねんど よてい 平成30年度予定の じゅうど ほうちんかいご じぎょう 重度訪問介護事業 み なお こうりよ の見直しを考慮しつ つ、本事業について ほんじぎょう も整理を行いなが せいり おこな ら、引き続き制度の ひ つづ せいど 周知を行います。	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねんど 平成29年度			へいせい ねんど 平成32年度 目標に向けた 30年度の取組	へいせい 平成32 年度 目標
		もくひょう 目標	じつせき 実績	ひょうか 評価		
はいえんきゅうきん 肺炎球菌 ワクチン 接種助成 事業 ㊸	はいえん かん ぼあい きけんせい たか 肺炎にり患した場合に危険性が高い ないぶしょうがい しんたいしょうがいしゃてちょうしょじしゃ 内部障害の身体障害者手帳所持者 たい ひ つづ かはいえんきゅうきんわく に対し、引き続き23個肺炎球菌ワク ちんせつしゅひよう いちぶ じよせい チン接種費用の一部を助成します。 ふ かえ <振り返り> せいじんようはいえんきゅうきんわく ちん じぎょう かい 成人用肺炎球菌ワクチン事業の開 し ぶ ねんれい じょうげん せつてい あわ 始を踏まえ、年齢の上限を設定し、併 せて対象となる身体障害者手帳 ないぶ きのうしょうがい しよゆうしゃ どうきゅう (内部機能障害)所有者の等級に よる制限を撤廃しました。	すいしん 推進	じつし 実施	○	せいじんようはいえんきゅうきんわく 成人用肺炎球菌ワク ちんせつしゅひよう どうごう チン接種事業の動向 あわ せいり おこな と併せて整理を行い ひ つづ せいど ながら、引き続き制度 しゅうち おこな の周知を行います。	すいしん 推進
いりようきかん 医療機関 連携事業 ㊸	しょうがいじ しゃ みぢか ちいき てきせつ いりよう 障害児・者が身近な地域で適切な医療 う かんきょう すいしん が受けられる環境づくりを推進する しょうがいとくせいとう り かい てきせつ ため、障害特性等を理解し適切な いりよう ていきょう いりようきかん ぶ 医療を提供できる医療機関を増やし ます。 ふ かえ <振り返り> ちてきしょうがいしゃたいおうせんもんがいらい びょう 知的障害者対応専門外来を、4病 いん かいせつ しないいりようてい 院で開設しました。また、市内医療提 きょうしせつ いりようじゅうじしゃ たいしやう 供施設の医療従事者を対象とした いりようあんぜんけんしゅうかい しょう 「医療安全研修会」において、障 がいしゃ しえん かか こうえん おこな 害者支援に係る講演を行いました。	すいしん 推進	びょういん 4病院 かいせつ で開設	○	ちてきしょうがいしゃたいおうせんもん 知的障害者対応専門 がいらいせつちりようきかん 外来設置医療機関を びょういん ぶ けい 1病院増やし、計5 びょういん じつし 病院で実施します。 がつか つるみにしい (11月から鶴見西井 びょういん かいせつよてい 病院にて開設予定) せつちりようきかん <設置医療機関> よこはまあいほらびょういん ・横浜相原病院 しうんかいよこはまびょういん ・紫雲会横浜病院 こうほくびょういん ・港北病院 よこはまかめりあほすびたる ・横浜カメラアホスピタル つるみにしいびょういん ・鶴見西井病院	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねんど 平成29年度			へいせい ねんど 平成32年度 目標に向けた 30年度の取組	へいせい 平成32 年度 目標
		もくひょう 目標	じつせき 実績	ひょうか 評価		
めでいかる メディカル しょーと ショート すていしすてむ ステイシステム 【再掲】㊸	いりようてき け あ ひつよう じゅうしょうしんしんしょう 医療的ケアが必要な重症心身障 がいじ しゃ ざいたく かいご かぞく ふたん 害児・者を、在宅で介護する家族の負担 けいげん ざいたく せいかつ あんてい もくてき 軽減と在宅生活の安定を目的とし て、一時的に在宅生活が困難となつた いちじてき ざいたく せいかつ こんなん て、一時的に在宅生活が困難となつた ばあい びょういん うけい じっし 場合などに病院での受入れを実施し ます。 ふ かえ <振り返り> じぎょうかいし へいせい ねんど へいせい 事業開始の平成24年度から平成28 ねんど りようとうろくしゃすう にん りよう 年度までの利用登録者数212人、利用 の にんずう にん りようの にっすう 延べ人数366人、利用延べ日数は 2,805日で、そのうち、家族の疾病に よる利用は120人でした。	すいしん 推進	じっし 実施	○	ひ つづ じぎょう じっし 引き続き事業を実施し ていくとともに、協 りよくいりようきかん かいぎ 力医療機関との会議 けんしゅう おこな えんかつ や研修を行い円滑な じぎょううんえい はか 事業運営を図っていきます。	すいしん 推進
ざいたくりょうようじ 在宅療養児 ちいせいかつ の地域生活を ささ 支える ねっとわーく ネットワーク れんらくかい 連絡会	しょうがいじ しゃ いりよう にゅういん ざいたく 障害児・者の医療（入院・在宅） にかか いりようかんけいしゃ ちゅうしん に関わる医療関係者を中心に、 ふくし きょういくかんけいしゃ たいしやう 福祉・教育関係者を対象として、 ざいたくしえん ひつよう じょうほうこうかん じんてき 在宅支援に必要な情報交換や人的 こうりゅう つう しょうがいりかい そくしん 交流を通じて、障害理解を促進し ます。 ふ かえ <振り返り> いりようかんけいしゃ ちゅうしん しょうがい 医療関係者が中心となり、障 害 じ しゃ せいかつ ささ うえ かだいおよ 児・者の生活を支える上での課題及 び取組等の情報交換などを実施し、 しえん そくしん つと 支援の促進に努めました。 たしよくしゅれんけい べんきやうかい じつせき 多職種連携の勉強会の実績 へいせい ねんど かい さんかしゃ にん 平成27年度：2回、参加者647人 へいせい ねんど かい さんかしゃ にん 平成28年度：2回、参加者337人 へいせい ねんど かい さんかしゃ にん 平成29年度：2回、参加者335人	すいしん 推進	じっし 実施	○	ひ つづ じぎょう じっし 引き続き事業を実施し、 しょうがいじ しゃ ざいたくしえん 障害児・者の在宅支援 ひつよう じょうほうこうかんとう に必要な情報交換等 をつう しょうがいりかい を通じて、障害理解を そくしん 促進しています。	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねんど 平成29年度			へいせい ねんど 平成32年度 ちくひょう む 目標に向けた ねんど とりくみ 30年度の取組	へいせい 平成32 ねんど 年度 ちくひょう 目標
		ちくひょう 目標	じつせき 実績	ひょうか 評価		
いりょうきかん 医療機関 ねっとわーく ネットワーク とう とうちく 等の構築	しょうがいじ しゃ ざいたくせいかつ さき 障害児・者の在宅生活を支えるた めの医療機関の支援体制とネット わーく けんとう こうちく はか ワークを検討し、構築を図ります。 <振り返り> じゅうしんしょうがいじ しゃ ひつよう 重心障害児・者が必要としている いりょうとう はあく しえんたいせい ね っ と 医療等を把握するためのアンケ ー とちょうさ へいせい ねんど じっし ト調査を平成28年度に実施しまし た。(860人回答) この結果を活用し、こども青少 年 局、健康福祉局、医療局の関係 3 局で構成する庁内会議を設置 し、医療的ケアを要する障害児・者 の生活を支えるための支援体制の 構築を検討しています。	じつたいは 実態把 握及び いりょうね 医療ネ ットワ ーク検 討	けんとう 検討	○	こども青少 年 局・ 健康福祉局・医療局 の関係3 局で構成す る庁内会 議設置で きるよう、関係局と連 携して取 組めます。	すす 推進
しかほけんいりょう 歯科保健医療 すす 推進事業 しんしんしょうがいじ (心身障害児・ 者歯科診療)	しか しんりょう きかい めぐ 歯科診療の機会に恵まれない しんしんしょうがいじ しゃ たい し かりょう 心身障害児・者に対する歯科治療 の確保を、引き続き、図ります。 <振り返り> よこはまし しか ほけんいりょう せん たーしんしん 横浜市歯科保健医療センター心身 しょうがいじ しゃ し かりょうけんすう 障害児・者歯科診療件数 平成27年度 9,773件 平成28年度 9,797件 よこはまし しんしんしょうがいじ しゃ し かりょう 横浜市心身障害児者歯科診療 じぎょうきょうりよく いりょう きかん 事業協力医療機関 210か所 (平成28年度末)	すす 推進	へいせい 平成29 ねんど 年度 しか しんりょう 歯科診療 けんすう 件数： 10,054件、 平成29 ねんど 年度 きょうりよくいりょう 協力医療 きかん 機関： 209か所	○	いっぱんてき いりょうきかん 一般的な医療機関と こうじ しか いりょうきかん 高次歯科医療機関 の役割分担等を検討 します。	すす 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねんど 平成29年度			へいせい ねんど 平成32年度 目標に向けた 30年度の取組	へいせい ねんど 平成32 年度 目標
		もくひよう 目標	じつせき 実績	ひようか 評価		
いりようてきけあ 医療的ケア 児・者等の支 援のための関 係機関の協議 の場の設置 新規	いりようてきけあ じやとう てきせつ しえん 医療的ケア児・者等が適切な支援を 受けられるよう、平成30年度末まで に、保健・医療・障害福祉・保育・ 教育等の関係機関が連携を図るた めの協議の場を設置します。	—	—	—	ねんどまつ きようぎ 30年度末までに協議の 場が設置できるよう、関係 局と連携して取り組み ます。	すすいん 推進

【見込み】

	へいせい ねんど 平成30年度	へいせい ねんど 平成31年度	へいせい ねんど 平成32年度
いりようてきけあ じやとう たい かんれんぶんや しえん 医療的ケア児・者等に対する関連分野の支援を 調整するコーディネーターの配置 新規	じゆんぴ 準備 かみほんまじつせき 上期実績 じゆんぴ 準備	1 人	1 人

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねんど 平成29年度			へいせい ねんど 平成32年度 目標に向けた 30年度の取組	へいせい ねんど 平成32 年度 目標
		もくひよう 目標	じつせき 実績	ひようか 評価		
さんか 参加しやすい 健康づくり 事業の検討 (▷の項目)	ほんし めぎ けんこうじゆみようにほんいち む 本市が目指す健康寿命日本一に向け て、健康スタンプラリーのように障害 者も楽しみながら健康づくりに取り組 めるよう、障害者団体とも協力しな がら、障害特性等にも配慮した健康 づくり・介護予防事業を検討します。	—	—	—	ひ つづ きようぎだんたい すぼ 引き続き競技団体やスポ ーツ推進委員等を対象 とした障害特性を理解 するための研修を実施 し、地域の環境整備取 り組んでいきます。	—
けんこう 健康づくり 環境の整備 (▷の項目)	しょうがいとくせい りかい よこはまらぼーる 障害特性を理解した横浜ラポールの スタッフ等の人的資源や専用設備を有 する関連施設を生かし、障害者に必要 な体力づくりやリハビリテーションが 地域で行えるよう、地域の人材育成も 含めた環境の整備を進めます。	—	—	—	ひ つづ きようぎだんたい すぼ 引き続き競技団体やスポ ーツ推進委員等を対象 とした障害特性を理解 するための研修を実施 し、地域の環境整備取 り組んでいきます。	—

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねんど 平成29年度			へいせい ねんど 平成32年度 目標に向けた 30年度の取組	へいせい 平成32 年度 ちくひょう 目標
		ちくひょう 目標	じつせき 実績	ひょうか 評価		
せいしんかきゅうきゅう 精神科救急 いりょうたいさくじぎょう 医療対策事業	<p>せいしんしつかん きゅうげき はつしょう せいしんしょう 精神疾患の急激な発症や精神症 じょう あつか ざつきゅう てきせつ せいしん 状の悪化などで、早急に適切な精神 か いりょう ひつよう ばあい せいしんほ 科医療を必要とする場合に、精神保 けんふくしほう もと しんさつ びょういん しょう 健福祉法に基づく診察や病院の紹 かい おこな ひつよう いりょうしせつ 介を行うとともに、必要な医療施設 かくほ どう きゅうきゅうかんじや を確保すること等により、救急患者 えんかつ いりょうおよ ほご はか の円滑な医療及び保護を図ります。</p> <p><ふかえ 振り返り></p> <p>きめ しょう ゆうがた じかん 切れ目が生じやすかった夕方の時間 しなひょういん りんぼんせい きょうか において市内病院の輪番制を強化 ゆうがた やかん たいおう びょういん し、夕方から夜間に対応できる病院 はいち せいしんかきゅうきゅう を配置しました。また、精神科救急 にゅういんりょう しゅとく びょういん せいしんか 入院料を取得した病院の精神科 たい 救急に対する 3次 救急 移送先 病院の 割合)</p> <p>さんじきゅうきゅうつうほうとうけんすう 【三次救急通報等件数】 へいせい ねんど けん 平成27年度：718件 へいせい ねんど けん 平成28年度：834件 へいせい ねんど けん 平成29年度：881件</p> <p>さんじきゅうきゅうにゅういんけんすう 【三次救急入院件数】 へいせい ねんど けん 平成27年度：329件 へいせい ねんど けん 平成28年度：410件 へいせい ねんど けん 平成29年度：443件</p>	83.5 ばーせんと %	84.8 ばーせんと %		<p>きんきゅう いりょう ひつよう 緊急な医療を必要 かんじや じんそく とする患者が、迅速か てきせつ いりょう う つ適切な医療を受け られるようにするため、 ちいき かいりつけ いりょう 地域のかかりつけ医療 きかん きょうりよく え 機関の協力を得て そうき だんがい ちいきいりょう 早期の段階で地域医療 きかん 機関につないでいくこ とで、市内で精神科救 きゅう かん 急をできるかぎり完 けつ 結していきます。 さら ちいき びょう 更に、地域において病 いんおよ せいしんほけんしつていい 院及び精神保健指定医 きょうりよく そくしん うけ の協力を促進し、受 い たいせい じゅうじつ はか 入れ態勢の充実を図 ることで、救急患者 たい じんそく いりょう に対して迅速に医療を ていきょう 提供します。</p>	85.0 ばーせんと % (市内 病院に 対する 3次 救急 移送先 病院の 割合)

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねんど 平成29年度			へいせい ねんど 平成32年度 もくひょう む 目標に向けた ねんど とりくみ 30年度の取組	へいせい 平成32 ねんど 年度 もくひょう 目標
		もくひょう 目標	じつせき 実績	ひょうか 評価		
せいしんしっかん 精神疾患を がっぺい しんたい 合併する身体 きゅうきゅうかんじゃ 救急患者 の救急 いりようたいせい 医療体制 せいびじぎょう 整備事業	せいしんしっかん がっぺい しんたいきゅうきゅうかん 精神疾患を合併する身体救急患 じゃ てきせつ いりようきかん えんかつ はんそう 者を適切な医療機関へ円滑に搬送で きるよう、救急医療体制を構築し ます。 <振り返り> せいしんしっかん とくていしやうじやう しん 精神疾患のうち特定症状をもつ身 たいきゅうきゅうかんじゃ たいおう びやういんぐん 体救急患者に対応する病院群に ついて、へいせい ねんどまつげんざい びやういん 平成28年度末現在で2病院 が体制に参画しています。	すいしん 推進	とくてい 特定 しやうじやう 症状 たいおう 対応 びやういんすう 病院数： びやういん 2病院	○	げんこうたいせい けんしやう 現行体制の検証を おこな うほか、とくていしやう 行うほか、特定症 じやうたいおうびやういん さんかく 状対応病院の参画 かんしやう を勧奨していき、 せいしんしっかん がっぺい 精神疾患を合併する しんたいきゅうきゅういりようたいせい 身体救急医療体制 じゅうじつ の充実を図ります。	すいしん 推進

とりにくみ ばりあふりー
取組 3-2 バリアフリー

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねん ど 平成29年度			へいせい ねん ど 平成32年度 もくひょう む 目標に向けた ねん ど とりにくみ 30年度の取組	へいせい 平成32 年度 もくひょう 目標
		もくひょう 目標	じつせき 実績	ひょうか 評価		
しみん 市民や じぎょうしゃ 事業者へ む 向けた ふきゅう けいはつ 普及・啓発 (▷の項目)	こうれいしゃ しょうがいしゃとう ふく すべ ひと 高齢者、障害者等を含む全ての人が そうご こうりゆう ささ あ 相互に交流し、支え合うとともに、 あんぜん えんかつ たてもの せつび りよう 安全かつ円滑に建物や設備を利用す るためには、しょうがい ただ りかい 障害への正しい理解が ひつよう ひろ しみん じぎょうしゃ む 必要なため、広く市民や事業者へ向 けた普及・啓発を進めます。	—	—	—	とりにくみ ふきゅう けいはつ 取組 1-1 の普及・啓発 ない たいおう 内で対応していきま す。	—

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねん ど 平成29年度			へいせい ねん ど 平成32年度 もくひょう む 目標に向けた ねん ど とりにくみ 30年度の取組	へいせい 平成32 年度 もくひょう 目標
		もくひょう 目標	じつせき 実績	ひょうか 評価		
ふくし 福祉のまちづくり じょうれいすいしんじぎょう 条例推進事業	よこはま かか すべ ひと たが 「横浜に関わる全ての人がお互いを そんちよう たす あ ひと やさ 尊重し、助け合う、人の優しさにあ ふれたまちづくり」を実現するため、 はーど しせつ せつび せいび そふと おも ハード(施設・設備の整備)とソフト(思 いやりの心の育成)を一体的に取り こころ いくせい いったいてき と 組み、福祉のまちづくりを推進します。 ふくし 福祉のまちづくり ふ かえ 〈振り返り〉 こ む りーふれっと はいふ 子ども向けリーフレットの配布や、 しよくいんとう たいしやう けんしゅう かいさい 職員等を対象とした研修の開催 などにより、福祉のまちづくりを推進 しました。 へいせい ねん がつ ふくし 平成24年12月に福祉のまちづくり じょうれい かいせい じょうれい もと じぜん 条例を改正し、条例に基づく事前 きょうぎ せつけいそうだんとう たいおう 協議や設計相談等に対応しました。	すいしん 推進	じつし 実施	○	けいはつりーふれっと はい 啓発リーフレットの配 ぶ しよくいんとう たいしやう 布や、職員等を対象 とした研修の開催な けんしゅう かいさい どにより、福祉のまち づくりを推進します。 ふくし 福祉のまちづくり じょう れい ちと じぜんきやうぎ 例に基づく事前協議 せつけいそうだんとう てきせつ や設計相談等に適切 たいおう に対応します。	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねんど 平成29年度			へいせい ねんど 平成32年度 目標に向けた 30年度の取組	へいせい 平成32 年度 目標
		もくひょう 目標	じつせき 実績	ひょうか 評価		
こうきょうこうつうきかん 公共交通機関 のバリアフリー化	だれいどうかんきようせいびいっ 誰もが移動しやすい環境整備の一 環として、鉄道駅舎へのエレベータ ー等の設置及びノンステップバスの 導入促進を図ります。 <振り返り> えきしゃえりべーたーせつち 駅舎エレベーター設置について、平 成28年度末時点で、市内157駅中 149駅が段差解消済みで、進捗率 は、94.9%です。ノンステップバ ス導入について、平成24年度より、 市内民営バス事業者の導入に際 する補助を再開し、平成27年度は50 台、平成28年度は24台を補助対象 としました。	てつどうえきしゃ 鉄道駅舎 へのエレベ ーター等 の設置： 96% (対象 は1日の 利用者 3,000人 以上の 駅) ノンステッ プバス導 入率： 72.5% と す い し ん 推 進	○	へいせい ねんど 平成32年度 目標に向けた 30年度の取組	へいせい 平成32 年度 目標	
ゆにばーさる ユニバーサル デザインタクシー 導入促進事業 (あ)	たくりーじぎょうしゃたいくるま タクシー事業者に対し、車いすに乗 ったまま乗車できるユニバーサルデ ザインタクシー購入費用の一部を助 成し、導入促進を図ります。 <振り返り> —	—	—	ひつづゆにばーさる 引き続き、ユニバーサル デザインタクシーの導 入促進を図るため、本 事業を継続していきま す。	へいせい 平成24 年度からの 累計 助成台数 490台	
ばりあふりー バリアフリーの すいしん 推進 ばりあふりー バリアフリー 基本構想の けんとうさくてい 検討・策定	えきちゅうしんちくたいしやう 駅を中心とした地区などを対象と して、バリアフリー法に基づき、まち のバリアフリー化の方針・計画である 「バリアフリー基本構想」の策定を、 引き続き、進めます。 <振り返り> へいせい ねんどまつ 平成28年度末までに、各区1地区、全 18地区26駅を含む地区でバリアフ リー基本構想の策定を完了しました。	かくく 各区の しゅようえき 主要駅 への さくてい 策定(18 地区) かんりやう 完了	へいせい 平成29 年度 ばりあふ りー基本 構想の さくてい 策定： 18地区	こんご 今後は、新規に策定 する地区を区ごとに 3地区程度選定し、同 時並行で検討し、区 で一つの基本構想を 策定します。あわせ て、策定済み地区の 見直しを行います。	みさくていちく 未策定地区 の新規 策定等を すいしん 推進	

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねん ど 平成29年度			へいせい ねん ど 平成32年度 ちくひよう む 目標に向けた ねん ど とりぐみ 30年度の取組	へいせい 平成32 ねん ど 年度 ちくひよう 目標
		ちくひよう 目標	じつせき 実績	ひようか 評価		
ばりあふりー バリアフリーの すいしん 推進 ばりあふりー (バリアフリー ほこうくわん 歩行空間の せいび 整備)	えきしゅうへん ばりあふりーか すいしん 駅周辺のバリアフリー化を推進す るため、バリアフリー基本構想に基づ き、道路のバリアフリー化を、引き続 き、進めます。 ふ かえ <振り返り> ばりあふりーか せいびえんちよう りんけい バリアフリー化整備延長の累計 へいせい ねん ど きろめーとる 平成27年度 : 33.5 k m へいせい ねん ど きろめーとる 平成28年度 : 37.6 k m	ばりあふ りーか せい びえんちよう 整備延長 るいけい 累計 36 きろめーとる k m	へいせい 平成29 ねん ど 年度 : るいけい 累計 39.8 きろめーとる k m	○	ひ つづ えきしゅうへん 引き続き、駅周辺の ばりあふりーか すいしん バリアフリー化を推進 するため、バリアフリー 基本構想に基づき、道 路のバリアフリー化整 備延長 42.0 k m を目標に進めます。	ばりあふり ーか せいび ー化整備 えんちよう 延長 るいけい 累計 42 k m
よこはまし 横浜市 こうきょうさいん 公共サイン がいでらいん ガイドラインの かいてい 改訂	こうきょうきかん せっち ほこうしゃよう 公共機関により設置される歩行者用 案内・誘導サインの規格や表示内容 等を統一を図るためのガイドライン を改訂します。 ふ かえ <振り返り> とうきょうにーせるとーせるとーおりんびつく ばらりんび 東京2020オリンピック・パラリンピ ックの動向を踏まえた情報収集を 進めました。	がいてい 改訂ガイ ドライン の運用 すいしん 推進	けんとう 検討	△	ほこうしゃ 歩行者にわかりやす いサイン整備が行 われるよう、引き続き ガイドラインの改訂 に向けた検討を進め ていきます。	がいてい 改訂 がいでらいん ガイドライン の運用 すいしん 推進
がっこうしせつ 学校施設の ばりあふりー バリアフリー	えれべーたー せいび がっこうしせつ エレベーターの整備など、学校施設の バリアフリー化を進め、障害児が学 びやすい環境を整備します。 ふ かえ <振り返り> くるま りようとう じどう せいと ざいせき 車いす利用等の児童・生徒が在籍し ているがエレベーターが未整備である 学校に、エレベーターを整備していま す。 へいせい ねん ど せいびこうすう 平成28年度 整備校数 : しょう ちゅう ぎむきょういっかくこう こうちゅう 小・中・義務教育学校487校 中 163校	すいしん 推進	へいせい 平成29 ねん ど 年度 しょう 小・ ちゅう ぎむ 中・義務 きょういっかく 教育学 校 : 487 校 中 173校	○	くるまい すりようとう じ 車椅子利用等の児 童・生徒が在籍して いる学校へのエレベ ーターの整備や段差 解消など、学校施設 のバリアフリー化を 進め、障害児が学び やすい環境を整備 します。	すいしん 推進

とりくみ けんりようご
取組3-3 権利擁護

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねんど 平成29年度			へいせい ねんど 平成32年度 ちくひよう む 目標に向けた ねんど とりくみ 30年度の取組	へいせい 平成32 ねんど 年度 ちくひよう 目標
		ちくひよう 目標	じつせき 実績	ひようか 評価		
しょうがいしゃぎゃくたい 障害者虐待 たいさくじぎょう 対策事業 ふきゅう けいはつ (普及・啓発)	しみんむ りーふれっとさくせいどう 市民向けのリーフレット作成等によ り広報を行います。 また、これまでの虐待事例を検証し た上で、障害福祉サービスの事業者等を 対象とした研修を実施します。 <振り返り> ・市民向けの啓発チラシを作成しまし た。(平成29年3月) ・事業者等を対象とした研修を美 施しました。 ・平成29年度以降に実施する事業者 等を対象とした、内容を拡充した 虐待防止研修(国が実施する研修 を踏まえたもの)に向けて、必要な調 整等を行いました。	すいしん 推進	じつし 実施	○	ひ つづ しみんむ 引き続き、市民向け に虐待防止に関する 広報を実施します。特 に、平成29年に作成 した啓発チラシの活 用等により、障害当 事者向けの啓発活動 を実施します。 ・国が実施する研修 だけではなく、市内事 業者等を講師とし、 より実態に即した虐 待防止研修を 事業者等向けに実施 します。	すいしん 推進
しょうがいしゃさべつ 障害者差別 かいしょうほう 解消法 しこう む 施行に向けた たいおう 対応	ほんし こんご とりくみ しょうがいどう 本市の今後の取組について、障害当 事者、学識経験者等で構成する会議 において検討します。また、会議の 検討結果をもとに、具体的な取組を 推進します。 <振り返り> ・「横浜市障害者差別解消検討部会」 において、障害者差別解消法の施行に 伴って本市が行うべきことを検討 いただき、平成27年11月にまとめと しての提言を受けました。 ・検討部会の提言を受け、平成28年2 月に本市の取組の考え方や取組の 内容を示した取組指針を策定しました。	へいせい 平成27 ねんど 年度 けんどう 検討の うえ とりくみ 取組を すいしん 推進	とりくみ 取組 指針を さくてい 策定	○	ひ つづ とりくみしん 引き続き、取組指針 に沿って障害者差 別解消の取組を推 進します。	—

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねんど 平成29年度			へいせい ねんど 平成32年度 もくひょう む 目標に向けた ねんど とりぐみ 30年度の取組	へいせい 平成32 ねんど 年度 もくひょう 目標
		もくひょう 目標	じつせき 実績	ひょうか 評価		
ししよくいんたいおう 市職員対応 ようりょう さくていおよ 要領の策定及 しゅうち び周知	ほんししよくいん てきせつ たいおう おこな 本市職員が適切な対応を行って くための指針として、差別的取扱い としん さべつてきとりあつか となり得る事例や、合理的な配慮の え じれい ごうりてき はいりよ 好事例等を含む対応要領を策定し、 ごうじれいとう ふく たいおうようりょう さくてい 市職員への周知及び浸透を図りま ししよくいん しゅうちおよ しんとう はか す。 ふ かえ <振り返り> ししよくいんたいおうようりょう さくてい かくく ・市職員対応要領を策定し、各区 きよくむ しゅうち 局向けに周知しました。 ぜんしよくいん たいしよう けんしゅう いーら ・全職員を対象とした研修(eラ ー にんぐ けいぞくてき じっし ーニング)を継続的に実施しています。 かくくきよくとう しょうがいしゃ さべつかい ・各区局等においても障害者差別解 しょう てーま けんしゅう じっし 消をテーマとした研修を実施して います。	すいしん 推進	じっし 実施	○	ぜんしよくいん たいしよう ・全職員を対象とし しよくいんたいおうようりょう て、職員対応要領の しゅうち もくてき けんしゅう 周知を目的とした研修 けいぞくてき じっし を継続的に実施するた め かくくきよく じっし けん 各区局が実施する研 修等への障害当事者 しょうち しょうがいとうじしゃ 講師派遣の仕度や出前 こうしはけん しく でまえ 講座等を実施しています。 こうざとう じっし また、全職員向け・昇 にんよていしゃむ いーらーに 任予定者向けにeラーニ んぐ じっし ングを実施します。 しょうがいりかい ごうりてきはいりよ ・障害理解や合理的配慮 くたいれいとう しめ ちよう の具体例等を示した庁 ないむ つうしん さくせい 内向け通信を作成し らん こうかい LANで公開しています。	すいしん 推進
しみん 市民への ふきゅう けいはつ 普及・啓発	しょうがい りゆう さべつ かいしよう あ 障害を理由とする差別の解消に当 たっては、市民の方々に関心と理解を しみん かたがた かんしん りかい 深めていただくことが何よりも大切 ふか なに たいせつ であることから、市民向けの広報及び しみんむ こうほうおよ 啓発活動を効果的に実施します。 けいはつかつどう こうかてき じっし <振り返り> こうほう き じけいさい ・広報よこはまへの記事掲載による しゅうち けいはつ おこな 周知・啓発を行いました。 おも ちてきしょうがい ひと たいしよう ・主に知的障害のある人を対象とし けいはつしりよう さくせい はいふ た啓発資料(すぐろく)を作成・配布 しました。 しょうがい ひと しょうがい ひと ・「障害のある人と障害のない人の こうりゅう とお けいはつかつどう じっし 交流を通じた啓発活動」を実施して います。	すいしん 推進	じっし 実施	○	おも ちてきしょうがい ひと ・主に知的障害のある人を たいしよう けいはつしりよう 対象とした啓発資料(す ごろく)を配布します。 しょうがい ひと しょうがい ・「障害のある人と障害 ひと こうりゅう とお のない人の交流を通し けいはつかつどう おもろ た啓発活動」O!MORO らいふぶろじえくと じっし LIFEPROJECTを実施 しみんしゅたい けいぞく し、市民主体による継続 てき かつどう めざ 的な活動を目指します。 しょうがいしゃさべつかいしりょうほう ・障害者差別解消法 およ びあそつだん かん 及びピア相談に関する ばんふれつと さくせい パンフレットを作成し いべんとどう はいふ イベント等を開催すること により、市民・事業者・ じみん じぎょうしゃ 行政機関等への法の しゅうち 周知を行っています。	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねんど 平成29年度			へいせい ねんど 平成32年度	へいせい 平成32
		もくひよう 目標	じつせき 実績	ひょうか 評価	目標に向けた 30年度の取組	ねんど 年度 もくひよう 目標
<p>そうだんたいせいとう 相談体制等の せいび 整備</p>	<p>しょうがいしゃさべつ かん そうだん ぶんそう 障害者差別に関する相談、紛争の ぼうしとう たいせい せいび 防止等のための体制を整備するととも に、その周知を図ります。また、相談 およ ぶんそう ぼうし とう ちいき 及び紛争の防止等を地域において すいしん ちいききょうぎかい そしき 推進するための地域協議会を組織し ます。</p> <p><振り返り> こうほう よこはま とう そうだんたいおう かん ・広報よこはま等で、相談対応に関す る周知を行いました。</p> <p>よこはまししょうがいしゃさべつかいしょうしえんち ・「横浜市障害者差別解消支援地 いっききょうぎかい せつち そうだんじれい きょう 域協議会」を設置し、相談事例の共 ゆう はか そうだんたいおう かん 有を図るとともに、相談対応に関す るけんとう おこな る検討を行っています。</p> <p>そうだんたいおう かいけつ はか ・相談対応によっても解決が図られ なかつた差別事案のあっせんを行う よこはまししょうがいしゃさべつ そうだん かん 「横浜市障害者差別の相談に関す るちょうせいいんかい せつち る調整委員会」を設置しました。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>じつし 実施</p>	○	<p>しょうがいしゃさべつかいしょうしえん ・障害者差別解消支援 ちいききょうぎかい かいさい じょう 地域協議会を開催し、情 ほうこうかん かいだい きょうぎとう 報交換や課題の協議等 おこな を行うとともに、協議 かい ぎろん ふ さべつ 会での議論を踏まえ、差別 う ひと こえ を受けた人が声をあげや すくなるよう、社会参加 すいしんせんたー けいはつかつどう 推進センターへ啓発活動 や相談対応、対応窓口の そうだんたいおう たいおうまどくち 案内等を行う業務を あんないとう おこな きょうむ 案内等を行う業務を いたく じつし 委託により実施します。</p> <p>えんかつ そうだんあんない ・円滑な相談案内ができ るよう、事例を庁内で きょうゆう 共有しています。</p> <p>しょうがいしゃさべつ そうだん ・障害者差別の相談に かん ちょうせいいんかい かい 関する調整委員会を開 さい そうだんたいおう 催し、相談対応によつて かいけつ はか 解決が図られなかつた じあん ほんにんとう 事案について、本人等から もうしで ちと の申出に基づき、あっせ あん ていじ おこな かい ん案の提示を行い、解 けつ はか 決を図っています。</p>	<p>すいしん 推進</p>
<p>ほうしこうご じつし 法施行後の実施 じょうきょう けんしやう 状況の検証</p>	<p>ほんし とりくみ じつしじょうきょう かくにん 本市の取組の実施状況を確認する ととも、課題の確認及びその後の取 くみ ほうこうせい かん けんとう ていきてき 組の方向性に関する検討を定期的に おこな しく こうちく 行う仕組みを構築します。</p> <p><振り返り> よこはまししょうがいしゃさべつかいしょうしえんちいき 横浜市障害者差別解消支援地域 きょうぎかい しょうがいしゃさべつかいしょうちやうないすい 協議会、障害者差別解消庁内推 しんかいぎ とりくみ じつしじょうきょう 進会議において取組の実施状況を ほうこく きょうゆう 報告し、共有しています。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>じつし 実施</p>	○	<p>よこはまししょうがいしゃさべつかい 横浜市障害者差別解 しょうしえんちいききょうぎかい かい 消支援地域協議会、 しょうがいしゃさべつかいしょうちやう 障害者差別解消庁 ないすいしんかいぎ とり 内推進会議において取 くみ じつしじょうきょう ほうこく 組の実施状況を報告 きょうゆう し、共有しています。</p>	<p>すいしん 推進</p>

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねんど 平成29年度			へいせい ねんど 平成32年度 目標に向けた 30年度の取組	へいせい 平成32 年度 もくひよう 目標
		もくひよう 目標	じつせき 実績	ひようか 評価		
よこはまし 横浜市 しみんこうけん 市民後見人 ようせい かつどう 養成・活動 しえんじぎょう 支援事業	ちいき けんりようご しみんさんかく 地域における権利擁護を市民参画で すすめるため、よこはませいかつ 進めるため、横浜生活あんしんセンタ ーが全区で市民後見人の養成を実施 し、区役所、市・区社会福祉協議会、 せんもんしよくだんたいどう れんけい かつどうしえん 専門職団体等が連携した活動支援 の体制を構築します。 <振り返り> へいせい ねんど だい き しみんこうけん 平成27年度に第2期市民後見人養成 かてい しゅうりょう ぜんく しみんこうけん 課程が修了し、全区で市民後見人パ ンク登録者を候補者として申立てが 可能となりました。また、平成28年度に は、バンク登録者が少ない鶴見、西、 こうなん かなざわ さかえ いずみ せやく たいしやう 港南、金沢、栄、泉、瀬谷区を対象 に第3期養成を実施し、29年度末時点 で、バンク登録者が62人、受任総数は 42件となっています。	すいしん 推進	じつし 実施	○	より多くのバンク登 録者が市民後見人と して必要な方の支援 ができるよう、関係機 関と連携して受任を 進めます。 また、平成30年度は第 4期養成課程を実施 します。	すいしん 推進
ほうじんこうけん 法人後見 しえんじぎょう 支援事業	よこはませいかつ せんたー 横浜生活あんしんセンターが、これま での法人後見受任実績を踏まえて、 市内の社会福祉法人等への法人後見 実施に向けた支援を行います。 <振り返り> へいせい ねんど ほうじんこうけん しえんじぎょう ・平成26年度より法人後見支援事業 を実施し、法人後見を実施している団 体や、受任を目指す団体の連絡会等を 開催しました。 へいせい ねんど ねんど しょうがいしゃしえん ・平成26年度、27年度に障害者支援 施設、当事者家族等向けにアンケートを 実施。その結果を踏まえ、障害のある 方の家族や支援者向けの成年後見制 度のパンフレットを、28年度に作成し ました。	すいしん 推進	じつし 実施	○	市内の障害関係の社 会福祉法人などの施設 職員を対象に成年 後見制度の理解を深 め、必要な方への制度 の利用促進を目的に 研修を実施します。 また、法人後見の実施 団体間の連携を深め、 情報共有を図るため に連絡会を開催しま す。	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねん ど 平成29年度			へいせい ねん ど 平成32年度 目標に向けた 30年度の取組	へいせい ねん ど 平成32 年度 目標
		もくひょう 目標	じつせき 実績	ひょうか 評価		
せいねんこうけんせいど 成年後見制度 の利用促進に 向けた関係 団体との検討	けんしゅう じれい つう べんごし しほう 研修や事例などを通じて、弁護士、司法 しよしおよ ぎょうせいしよしどう しょうがいしゃ せい 書士及び行政書士等と、障害者の成 ねんこうけんせいど りようそくしん む けんとう 年後見制度の利用促進に向けた検討を おこな 行します。 ふ かえ <振り返り> せいねんこうけんせいど りようそくしん む べんご 成年後見制度の利用促進に向けた、弁護 しかい けんとうかい おこな 士会との検討会を行いました。	すいしん 推進	じつし 実施	○	ひ つづ かくく かんけい 引き続き、各区の関係 だんたい じりつしえんきょう 団体や自立支援協 ぎかい べんごしどうせんもん 議会が弁護士等専門 しよく きょうりよく せいねん 職と協力し、成年 こうけんせいど せつめいかい 後見制度の説明会を じつし 実施します。	すいしん 推進

	へいせい ねん ど 平成27年度	へいせい ねん ど 平成28年度	へいせい ねん ど 平成29年度	へいせい ねん ど 平成30年度	へいせい ねん ど 平成31年度	へいせい ねん ど 平成32年度
もうした およ ほつ 申立て及び報	72件	79件	87件	153件		
しゅうじよせいけんすう 酬助成件数	実績 90件	実績 118件	実績 148件	上半期実績 89件	182件	212件

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねん ど 平成29年度			へいせい ねん ど 平成32年度 目標に向けた 30年度の取組	へいせい ねん ど 平成32 年度 目標
		もくひょう 目標	じつせき 実績	ひょうか 評価		
けんりようごじぎょう 権利擁護事業	けんり まち そうだん けいやく ちと 権利を守るための相談や契約に基づく きんせんかんりさーびす にちじょうせいかつ し 金銭管理サービスなどの日常生活の支 えん く せんたー けいやく ちと 援を、区あんしんセンターが、契約に基づ いて実施します。 ふ かえ <振り返り> く せんたー けんりようごじぎょうけい 区あんしんセンターの権利擁護事業契 やくすう へいせい ねん ど けん ねん ど 約数は平成26年度が620件、27年度が 728件、28年度が904件と年々増加傾 こう 向となっています。	すいしん 推進	へいせい 平成 ねん ど 29年度： けん 1,028件	○	ひ つづ しみん しえんしゃ 引き続き市民や支援者 せいど しゅうち けいはつどう に制度の周知・啓発等 じつし ひつよう ひと を実施し、必要な人が そうき けんりようごじぎょう 早期に権利擁護事業 とり を利用できるように取 くみ すす 組を進めます。	すいしん 推進

とりくみ
取組 4-1
りょういく
療育

もくひょう
⑧【目標】

	へいせい ねんど 平成27年度	へいせい ねんど 平成28年度	へいせい ねんど 平成29年度	へいせい ねんど 平成30年度	へいせい ねんど 平成31年度	へいせい ねんど 平成32年度
しょうがいじそつだん 障害児相談	4,000 人	4,500 人	5,000 人	5,700 人	6,400 人	7,000 人
	のり 実績 1,771 人	のり 実績 2,630 人	のり 実績 2,887 人	かかん 上期実績 2,210 人		

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねんど 平成29年度			へいせい ねんど 平成32年度 もくひょう む 目標に向けた ねんど とりくみ 30年度の取組	へいせい 平成32 ねんど 年度 もくひょう 目標
		もくひょう 目標	じつせき 実績	ひょうか 評価		
ちいきりょういく 地域療育 せんたーうんえい センター運営 じぎょう 事業	しょうがい 障害がある、またはその 疑いのある じどう ちいき 児童の地域における療育体制の充実 などを目的として運営を行います。 また、くぶくし ほけん せんたー 区福祉保健センターの療育相談 すたっふ ぱん へのスタッフ派遣、関係機関への巡回 ほうもん 訪問による技術支援、しょうがいじそつだん 障害児相談支 えんとう おこな 援等を行います。 ふ かえ <振り返り> しょうしん 初診の申込件数が多い西部及び東 ぶ ちいきりょういく せんたー 部地域療育センターの相談場所を かくじゅう 拡充し、支援の円滑化を図ることで、 へいせい ねんど まつ 平成28年度末で初診待機期間は3.2 がつ 月となりました。	しょうしん 初診 たいき 待機 まかん 期間 がつ 3.0月 げんじょう (現状 がつ 3.5月)	へいせい 平成 ねんど 29年度 がつ 3.5月	△	ひ つづ 引き続き、事業を実施する とともに、しょうしん まえ 初診前の早期 こべつめんだん 個別面談などの工夫によ り、しょうしん たいきまかん 初診待機期間の短縮 (と)に取組んでいます。	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねん ど 平成29年度			へいせい ねん ど 平成32年度 目標に向けた 30年度の取組	へいせい ねん ど 平成32 年度 目標
		もくひよう 目標	じつせき 実績	ひようか 評価		
ちいきくんれんかい 地域訓練会 運営費助成 事業	しょうがいじ ほごしゃとう じしゆてき そしき 障害児の保護者等が自主的に組織し、 ちいき きのかいふくくんれん ほいく おこな 地域で機能回復訓練や保育を行う、 ちいきくんれんかい うんえいひ じよせい 地域訓練会の運営費を助成します。 ふ かえ <振り返り> ちいきくんれんかい さんか じ どう げんしょうけいこう 地域訓練会の参加児童は減少傾向 にありますが、当事者力や地域力を たか かつどう さんか そくしん さんか 高める活動であり、参加促進や参加し やすい工夫が必要です。 じよせいじつせき 【助成実績】 へいせい ねん ど だんたい 平成27年度：57団体 へいせい ねん ど だんたい 平成28年度：56団体 へいせい ねん ど だんたい 平成29年度：56団体	すいしん 推進 (現状 69団体)	すいしん 推進	○	ちいきくんれんかい さんか 地域訓練会への参加 いぎ わ かりやすく しゅう 意義を分かりやすく周 ち 知すること等により、参 か そくしん はか 加促進を図れるよう、 よこはまししゃかいふくしきょうぎかい 横浜市社会福祉協議会 くやくしよとう けんとう とり や区役所等と検討し取 組んでいます。	すいしん 推進

⑧ 【目標】

	へいせい ねん ど 平成27年度	へいせい ねん ど 平成28年度	へいせい ねん ど 平成29年度	へいせい ねん ど 平成30年度	へいせい ねん ど 平成31年度	へいせい ねん ど 平成32年度
ほいくしよとう 保育所等 ほうちんしえん 訪問支援	1,500 人	1,500 人	1,750 人	1,775 人	1,850 人	1,950 人
	実績 1,497 人	実績 1,653 人	実績 1,713 人	上半期実績 1,160 人		
じゅんかいほうちん 巡回訪問	11,000 人日	11,000 人日	14,000 人日	14,500 人日	15,000 人日	17,000 人日
	実績 10,169 人日	実績 10,371 人日	実績 13,861 人日	上半期実績 7,365 人日		

もくひょう
【目標】

	へいせい ねん ど 平成27年度	へいせい ねん ど 平成28年度	へいせい ねん ど 平成29年度	へいせい ねん ど 平成30年度	へいせい ねん ど 平成31年度	へいせい ねん ど 平成32年度		
じ どうはつ たつ 児童発達 し えん 支援 ※	49 かしよ	52 かしよ	55 かしよ	100 かしよ	110 かしよ	120 かしよ		
	実績 53 かしよ	実績 77 かしよ	実績 101 かしよ	上半期実績 109 かしよ				
	—	—	—	2,800 じん			3,100 じん	3,400 じん
	133,000 じん にち	141,000 じん にち	149,000 じん にち	229,000 じん にち				
	実績 159,562 じん にち	実績 176,280 じん にち	実績 199,766 じん にち	上半期実績 106,677 じん にち				
うち、 おも 主に じゅうしやうしん 重症心 しんしやうがいじ 身障害児 し えん を支援 する じぎやうしよ 事業所 しんき 新規	—	—	—	2 かしよ	3 かしよ	4 かしよ		
	—	—	—	3 かしよ				
	—	—	—	10 じん			15 じん	20 じん
	—	—	—	8 じん				
	—	—	—	600 じん にち				
—	—	—	151 じん にち					
いりやうがた 医療型 じ どうはつ たつ 児童発達 し えん えん 支援 ※	9 かしよ	9 かしよ	9 かしよ	9 かしよ	9 かしよ	9 かしよ		
	実績 9 かしよ	実績 9 かしよ	実績 9 かしよ	上半期実績 9 かしよ				
	—	—	—	190 じん			190 じん	190 じん
	19,000 じん にち	19,000 じん にち	19,000 じん にち	19,000 じん にち				
	実績 20,953 じん にち	実績 18,849 じん にち	実績 18,604 じん にち	上半期実績 8,317 じん にち				

ちいきりやういくせんたーじっしぶんぶく
※ いずれも地域療育センター実施分を含む

⑧【目標】

	へいせい ねんど 平成27年度	へいせい ねんど 平成28年度	へいせい ねんど 平成29年度	へいせい ねんど 平成30年度	へいせい ねんど 平成31年度	へいせい ねんど 平成32年度
きょたく 居宅 ほうもんがた 訪問型 じどうはつたつ 児童発達 しえん 支援 しんき 新規	—	—	—	0 箇所 <small>かめはんまじつせい</small> 上期実績	1 箇所	1 箇所
	—	—	—	0 人 <small>かめはんまじつせい</small> 上期実績	10 人	10 人
	—	—	—	0 人日分 <small>かめはんまじつせい</small> 上期実績	100 人日分	100 人日分

⑧【目標】

	へいせい ねんど 平成27年度	へいせい ねんど 平成28年度	へいせい ねんど 平成29年度	へいせい ねんど 平成30年度	へいせい ねんど 平成31年度	へいせい ねんど 平成32年度
こども・子育て 支援等(保 育所、放課後 児童健全育 成事業所 等)における 障害児の 受入れ体制 の整備 しんき 新規	—	—	—	関係機関と連携し、子ども・子育て支援 等(保育所、放課後児童健全育成事業 所等)へ、保育所等訪問支援、巡回訪 問及び研修等を拡充することによ り、利用を希望する障害児の受入れ体 制の整備を引き続き推進していきま す。 <small>かめはんまじつせい</small> 上期実績 すいしん 推進		

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねんど 平成29年度			へいせい ねんど 平成32年度	へいせい ねんど 平成32年度
		もくひょう 目標	じつせき 実績	ひょうか 評価	目標に向けた 30年度の取組	年度 目標
ほうかごとう 放課後等に おける居場所 の充実 (▷の項目)	<p>がくれいき しょうがいじ たいしょう ほうかご なつ 学歯街の障害児を対象に、放課後や夏 やすみなどに、のびのびと過ごしながら療 いくくんれん よかしえん う いぼしよ 育訓練や余暇支援を受けられる居場所の かくほ すす 確保を進めます。</p> <p>また、引き続き放課後キッズクラブ等、 ほうかごじどういくせいじぎょう うけい すい 放課後児童育成事業における受入れも推 しん 進します。</p> <p>さらに、放課後等デイサービス事業所に たい けんしゅう じっし どう しょうがいじしえん 対し研修を実施する等、障害児支援の しつ こうじょう む とりくみ じゅうじつ 質の向上に向けた取組を充実します。</p>	—	—	—	<p>ほうかごじどういくせいじぎょう 放課後児童育成事業では、 しょうがいじうけい かか しょうくいん 障害児受入れに係る職員 かはいほじよ しょうくいんむ しょう 加配補や職員向けの障 がいりかい たか けん 害理解を高めるための研 しゅう 修などを行っています。</p> <p>ほうかごとうでい さーびす 放課後等デイサービスにつ いては新規開設を希望する じぎょうしよむ せつめいかい 事業所向けの説明会を4 がつ がつ かいさい 月、10月に開催しました。 また、事業所に対して実地 じぎょうしよ たい じつち 指導 集団指導等を実施す しどう しゅうだんしどうとう じっし るなどサービスの質の向上 きーびす しつ こうじょう に向けた取組を行いました。</p>	—

もくひょう
④【目標】

	へいせい ねんど 平成27年度	へいせい ねんど 平成28年度	へいせい ねんど 平成29年度	へいせい ねんど 平成30年度	へいせい ねんど 平成31年度	へいせい ねんど 平成32年度
ほうかごとう 放課後等 でいさーびす デイサービス じぎょう 事業	130 箇所	165 箇所	200 箇所	300 箇所		
	実績 162 箇所	実績 217 箇所	実績 262 箇所	実績 284 箇所	350 箇所	400 箇所
	—	—	—	6,000 人	7,000 人	8,000 人
	—	—	—	実績 6,285 人	—	—
	229,000 人日	298,000 人日	368,000 人日	720,000 人日	840,000 人日	960,000 人日
実績 350,782 人日	実績 521,130 人日	実績 652,983 人日	実績 379,402 人日	—	—	
うち、主に じゅうしょうしん 重症心 しんしょうがいじ 身障害児 をえん 支援す る事業所 しんき 新規	—	—	—	10 箇所	11 箇所	12 箇所
	—	—	—	実績 13 箇所	—	—
—	—	—	—	150 人	165 人	180 人
	—	—	—	実績 207 人	—	—
—	—	—	—	14,400 人日	15,840 人日	17,280 人日
	—	—	—	実績 10,885 人日	—	—

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねんど 平成29年度			へいせい ねんど 平成32年度 もくひょう 目標に向けた ねんど とりくみ 30年度の取組	へいせい ねんど 平成32 年度 もくひょう 目標
		もくひょう 目標	じつせき 実績	ひょうか 評価		
がくれいこうき 学齢後期 しょうがいじ 障害児 しえんじぎょう 支援事業	いし そーしゃるわーかーとう すたっふ 医師、ソーシャルワーカー等のスタッフ はいち がくれいこうき しゅ はったつ を配置し、学齢後期の主として発達 しょうがい じどう たいしょう し 障害のある児童を対象として、思 しゅんき にかだい かいけつ 春期におけるそれぞれの課題の解決 む しんりょう そうだんおよ かんけいきかん に向けた診療、相談及び関係機関と ちようせいとう おこな の調整等を行います。 ふ かえ <振り返り> そうだんたいおうのべけんすう そうかけいこう 相談対応延件数は増加傾向にあり、 しよめ じぎょうじっし けんとう 4か所目の事業実施を検討しました。 へいせい ねんど 平成27年度： しんきりようしゃ にん 新規利用者:1,217人 そうだんたいおうのべけんすう けん 相談対応延件数:16,454件 へいせい ねんど 平成28年度： しんきりようしゃ にん 新規利用者:1,022人 そうだんたいおうのべけんすう けん 相談対応延件数:17,548件	4か所 (現状 3か所)	3か所	△	そうだんたいおうのべけんすう そう 相談対応延件数の増 か けいこう ふ かん 加傾向を踏まえた関 けい き かん れんけいちようせい 係機関との連携調整 おこな を行うとともに、4 しよめ じぎょうじっし か所目の事業実施を けんとう 検討しています。	4か所

とりくみ きょういく
取組 4-2 教育

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねんど 平成29年度			へいせい ねんど 平成32年度 目標に向けた 30年度の取組	へいせい ねんど 平成32 年度 目標
		もくひよう 目標	じつせき 実績	ひようか 評価		
よこはまがた 横浜型 センター的 機能の充実	ちいきりょういくせんたー とくべつしえんがっこう 地域療育センターや特別支援学校、 つうきゅうしどうきょうしつとう たんとしや せんもん 通級指導教室等の担当者が専門 性を利用して支援を行う学校支援 たいせい よこはまがたせんたーてききのう じゅう 体制（横浜型センター的機能）の充 じつ はか 実を図ります。そして、小・中学校 そうだん じどうせいと ほごしや からの相談や児童生徒、保護者からの そうだん たいおう とくべつ しえん ひつ 相談に対応するなど、特別な支援が必 よう じどうせいと てきかく しえん 要な児童生徒を的確に支援します。 <振り返り> へいせい ねんど せんたーてききのう ぱ 平成28年度には、センター的機能のバ ん ふ れ っ と さくせい しりつがっこう ンフレットを作成し、市立学校に しゅうち けいはつ はか 周知・啓発を図りました。	すいしん 推進	じつし 実施	○	しょうちゅうがっこう こーで 小中学校のコーデ いねーたー そしきか イナーターを組織化 する中で、その専門性 の向上を図ります。 また、特別支援学校の がっこう しえんたんとしや れん 学校支援担当者の連 らくかい ていきてき じつし 絡会を定期的に実施 し、幅広い相談や支援 たいおう に対応します。	すいしん 推進
とくべつしえんきょういく 特別支援教育 における 幼保小の 連携	しょうがっこう ようちえん ほいくしやとう きょうりよく 小学校が、幼稚園・保育所等と協 けんきゅうじっせん おこな とくべつしえん して、研究実践を行い、特別支援 きょういく ようほしやう れんけい じやうほう 教育における幼保小の連携と情報 きょうゆうか かん けんきゅう おこな の共有化に関する研究を行います。 <振り返り> へいせい ねんど ねん ほうめん 平成26・27年度の2か年で、4方面に けんきゅうじっせん おこな ねん おいて研究実践を行いました。28年 ど けんきゅうせい か さっし 度には、その研究成果を冊子にまと すべ しりつがっこう はっしん きょうゆう め、全ての市立学校に発信し共有し ました。	すいしん 推進	じつし 実施	○	ひ つづ くに どうこう 引き続き、国の動向を みす 見据えていくとともに へいせい ねんど に、平成28・29年度の はったつしょうがいけんとう いんかい 発達障害検討委員会 ぎろん ないよう ふ での議論の内容も踏 まえ、関係局と連携 すす しながら進めていき ます。	すいしん 推進
しゅうがくせつめいかい 就学説明会	とくべつしえんきょういく きぼう ようじ しゅうがく 特別支援教育を希望する幼児の就学 かん せつめいかい かいさい に関する説明会を開催します。 <振り返り> へいせい ねんど がつ がつ 平成28年度は5月から6月にかけて かいじつし 28回実施しました。	すいしん 推進	へいせい 平成29 ねんど 年度 しゅうがく 就学 せつめいかい 説明会 かい :26回	○	くやくしよ ようちえん ほいく 区役所、幼稚園や保育 えん ふく しゅうち 園を含めた周知を おこな 行っていきます。	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねんど 平成29年度			へいせい ねんど 平成32年度 目標に向けた 30年度の取組	へいせい 平成32 年度 目標
		もくひょう 目標	じつせき 実績	ひょうか 評価		
しゅうがく きょういく 就学・教育 相談の体制 強化	ひとり 一人ひとりの教育ニーズを的確に 把握し、迅速で適正な就学・教育 相談を行うために関係機関が相互に 連携しながら、就学前から卒業後ま でを見通した相談体制の強化を図り ます。 <振り返り> 平成28年度は4,267件の就学・教 育相談を行いました。27年度に比べ 約300件増加したため、関係機関との 更なる連携が必要です。	すいしん 推進	へいせい 平成29 年度 就学・ 教育 相談： 4,536件	△	たい き きかん たんしゆく 待機期間の短縮と、 相談の適正化を図り ます。	すいしん 推進
ちようかくしょうがいじ 聴覚障害児 支援事業	よこはましりつしょう ちゅうがっこう ざいせき 横浜市立小・中学校に在籍する 聴覚障害のある児童生徒にノートテ イクによる情報の保障を実施しま す。 <振り返り> 平成28年度は15人の児童生徒に対し て、390回のボランティア派遣を行 いました。	すいしん 推進	へいせい 平成29 年度 ボランテ ィア 派遣： 334回	○	ひ つづ じぎょう じっし 引き続き事業を実施 します。	すいしん 推進
ほごしゃきょうしつ 保護者教室 開催事業	よこはましりつしょう ちゅうがっこう とくべつ しえんがっ 横浜市立小・中学校、特別支援学 校の保護者を対象とした障害に対 する正しい知識の啓発を進めます。 <振り返り> 毎年、難聴・言語障害にかかわるも のを3回、発達障害にかかわるもの を3回開催しています。	すいしん 推進	へいせい 平成29 年度 保護者 教室： 6回	○	とくべつしえんきょういく げんじょう 特別支援教育の現状 や保護者のニーズを 踏まえ、講師選定を工 夫しながら進めます。	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねんど 平成29年度			へいせい ねんど 平成32年度 目標に向けた 30年度の取組	へいせい 平成32 年度 目標
		もくひょう 目標	じつせき 実績	ひょうか 評価		
なつやす 夏休み しえんじぎょう 支援事業 きゅうがくれい (旧学齢 しょうがいじ 障害児 なつやす 夏休み しえんじぎょう 支援事業)	とくべつしえんがっこうようじどうせいと なつやす き 特別支援学校幼児児童生徒の夏休み期 かんちゅう よかかつどう じゅうじつ ほご 間中における余暇活動の充実、保護 しゃ かいご ふたん けいげんおよ ちいき れん 者の介護負担の軽減及び地域との連 けい すす 携を進めます。 ふ かえ <振り返り> とくべつしえんがっこう なつやす きかん かくこう 特別支援学校の夏休み期間に、各校の じつじょう あ ぶーるかいほう ぶかつ 実情に合わせて、プール開放や部活 どう れくりえーしょんかつどうとう よかかつ 動・レクリエーション活動等の余暇活 どう まいねんどじっし 動を毎年度実施しています。	すいしん 推進	へいせい 平成29 ねんど 年度 さんかしゃ 参加者： にん 4,139人	○	ひ つづ なつやす きかん 引き続き、夏休み期間 ちゅう よかかつどう じゅう 中の余暇活動の充 じつおよ ほごしゃふたん 実及び保護者負担の けいげん ちいき 軽減のために、地域の きょうりよく え すす 協力を得ながら進 めていきます。	すいしん 推進
しりつようちえんとう 私立幼稚園等 とくべつしえん 特別支援 きょういくほじょ 教育費補助 じぎょう 事業	しりつようちえんとう ざいえん しょうがいじ 私立幼稚園等に在園している障害児 たい きょういく しょうがい しゆるい ていど に対する教育が、障害の種類・程度 おつ てきせつ おこな などに応じて適切に行われるよう、そ けいひ いちぶ せつちしゃ ほじょ しょう の経費の一部を設置者に補助し、障 がいじ きょういく やくだ 害児の教育に役立てます。 ふ かえ <振り返り> へいせい ねんど とくべつしえんきょういくほじょ 平成28年度の特別支援教育費補助 たいしょうえんじすう にん ほじょそらがく の対象園児数は903人、補助総額は 180,600千円となりました。	すいしん 推進	へいせい 平成29 ねんど 年度 たいしょう 対象 えんじすう 園児数： にん 841人 ほじょ 補助 そらがく 総額： 168,198 せんえん 千円	○	へいせい ねんど とくべつし 平成30年度の特別支 えんきょういくほじょ たいしょう 援教育費補助の対象 えんじすう にん ほじょ 園児数は418人、補助 きんがく せんえん 金額は83,600千円を みこ 見込んでいます。 へいせい ねんど いこう ほ 平成31年度以降の補 じょきんがく しんせいど 助金額は、新制度への い こうじょうきょう 移行状況によりま すが、31年度73,400 せんえん ねんど 千円、32年度は 71,800千円と見込 んでいきます。	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねんど 平成29年度			へいせい ねんど 平成32年度 目標に向けた 30年度の取組	へいせい 平成32 年度 目標
		もくひょう 目標	じつせき 実績	ひょうか 評価		
とくべつしえんきょう 特別支援教 育コーディネ ーターの機能 強化とスキル アップ (旧発達障 害児等支援事 業)	とくべつしえんきょういこうこーでいねーたーようせい 特別支援教育コーディネーター養成 けんしゅうじゅこうかつどうとくべつし 研修を受講して活動している特別支 えんきょういこうこーでいねーたーたいしやう 援教育コーディネーターを対象に、 さらなるスキルアップを目指して、事例 けんきゅうちゅうしんけんしゅうすす 研究などを中心とした研修を進め ると共に、関係機関との連携を強化 し、専門的な資質を高めます。 <振り返り> へいせい ねんど ようせいけんしゅう にん たい 平成28年度、養成研修は326人を対 しょうかいすきるあつぷけんしゅうすす 象に15回、スキルアップ研修は70 にん たいしやう かいじつし 人を対象に10回実施しました。また、 かくく ほうめんきょうぎかい かくこう とり 各区、方面協議会において各校の取 組み きょうゆう じれいけんどう おこな 組の共有や事例検討を行いました。	すいしん 推進	へいせい 平成29 ねんど 年度 ようせい 養成 けんしゅう 研修： かい 12回、 すきるあ スキルア ップ けんしゅう 研修： かい 6回	○	とくべつしえんきょういこうこーでい 特別支援教育コーディネ ーター養成研修に加 え、年6回ある「小中 ちーふこーでいねーたー チーフコーディネーター かいぎ ちゅうがっこうこー 会議」や「中学校区コ ーディネーター協議会」に おいて、じょうほうきょうゆう けん 情報共有・研 しゅう じれいけんどう すす 修・事例検討を進めて いきます。	すいしん 推進
ゆにばーさるで ユニバーサ ルの視点 に基づく授 業の展開	いっばんがつきゅう きょうかがくしゅう とくべつ 一般学級の教科学習において、特別 しえんきょういこう う だ さまざま くふう 支援教育で生み出された様々な工夫を とりいすべこどもたちの授業に対 するいよくたか りかい ふか 意欲を高めたり、理解を深めたりする ことを目指します。 <振り返り> とくべつしえんきょういこうそうごうせんたーおよ せんた 特別支援教育総合センター及びセンタ ーけんしゅうせい きんむこう けんきゅう 一研修生の勤務校において研究を おこな まいとし がつ ほうこくかい かいさい 行い、毎年3月に報告会を開催して ます。じゅうてんけんきゅう おこな がっこう 重点研究を行っている学校に たい しどうじよげん じつし 対し、指導助言を実施しています。	すいしん 推進	じつし 実施	○	しんがくしゅうしどうようりょう ない 新学習指導要領の内 容やアクティブラー ニングの視点を踏ま え、わかりやすく活動 てき こどもたちのい 的で子どもたちの意 欲と理解を高めるよ うな授業展開を構築 していきます。	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねんど 平成29年度			へいせい ねんど 平成32年度 目標に向けた 30年度の取組	へいせい 平成32 年度 目標
		もくひょう 目標	じつせき 実績	ひょうか 評価		
とくべつしえん 特別支援 がっこう 学校における あいしーていーきき ICT機器 かつよう の活用	しゅたいながくしゅう のための効果的なタプレ ット端末の活用について、特別支援学 校全校で実践研究を行います。 <振り返り> へいせい ねんど ねんど ねん すべ 平成26年度～28年度の3か年で、全ての しりつとくべつしえんがっこう (こう じっせんけん 市立特別支援学校 (12校) で実践研 究を行いました。平成26年度末には けんきゅう ちゅうかんほうこく さっし 研究の中間報告を冊子にまとめ、29 ねんど さいしゅうほうこく おこな 年度に最終報告を行いました。	すいしん 推進	じつし 実施	○	じっせんけんきゅう せい か ふ 実践研究の成果を踏 まえ、引き続き、各特 別支援学校でICT 機器の活用を推進し ていきます。	すいしん 推進
とくべつしえんがっこう 特別支援学校 さいへんせいび の再編整備	にゅうがくしゃぞう とちな きょうあいか たいおう 入学者増に伴う狭隘化のため、対応 が必要な特別支援学校(肢体不自由)を さいへんせいび かんきょう かいぜん きょういくないよう 再編整備し、環境の改善と教育内容 の充実を図ります。 <振り返り> へいせい ねんど さこんやまとくべつしえんがっこう 平成31年度の左近山特別支援学校の かいこう む せつけいどう じつし 開校に向けた設計等を実施するととも に、上菅田特別支援学校の分校に移行 する北綱島特別支援学校では、保護者 せつめいかい こべつめんだんどう じつし 説明会や個別面談等を実施しました。	すいしん 推進	じつし 実施	△	へいせい ねんど さこんやま 平成31年度の左近山 特別支援学校の開校 に向けた準備や、既 存の肢体不自由校の 改修等の環境整備 を進めるとともに、肢 体不自由特別支援学 校全体の教育課程や 教育内容の検討を進 めていきます。	すいしん 推進
とくべつしえんがっこう 特別支援学校 すくーるばす うんこう 運行	じどうせいと とうげこう あんぜんかくほ せいしん 児童生徒の登下校の安全確保と精神 的・身体的負担の軽減による学校教 育の充実を図るため、スクールバスを運 行します。 <振り返り> へいせい ねんど したいふじゆうこう すくー 平成28年度には、肢体不自由校でスク ールバスを1台増車し、8校41コースの 運行を実施しました。また、平成29年 度から全てのバスに位置情報システム を導入し、適正な運行管理及び保護者 の利便性向上を図りました。	すいしん 推進	じつし 実施	○	へいせい ねんど さこんやま 平成31年度の左近山 特別支援学校開校及 びその後の状況を 踏まえ、ゆるやかにバ スコースを整理する ことで長時間乗車の 解消に向けて検討を 進めていきます。	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねんど 平成29年度			へいせい ねんど 平成32年度 目標に向けた 30年度の取組	へいせい 平成32 年度 目標
		もくひょう 目標	じつせき 実績	ひょうか 評価		
とくべつしえんがっこう 特別支援学校 いりょうてきけあ 医療的ケア たいせいせいび 体制整備事業 きゅうしたいふじゆう (旧肢体不自由 とくべつしえんがっこう 特別支援学校 いりょうてきけあ 医療的ケア たいせいせいび 体制整備 じぎょう 事業)	とくべつしえんがっこう したいふじゆう ごう かんごし 特別支援学校(肢体不自由)5校に看護師 を配置しています。児童生徒の主治医等の はいち じどうせいと しゅじいとう 指示に基づき、看護師と教員が連携し しじ もと かんごし きょういん れんけい て、医療的ケア実施体制の整備を行 いりょうてきけあ じじゅうたいせい せいび おこな います。 ふ かえ <振り返り> したいふ じゆうとくべつしえんがっこう ごう かんごし 肢体不自由特別支援学校5校に看護師 を配置し、教員と連携した医療的ケア実 しいたいせい ごうちく いりょうてきけあ 施体制を構築することで、医療的ケアを ともな じどうせいと あんしん あんぜん きょういく 伴う児童生徒が安心・安全に教育を う かんきょうせいび おこな 受られる環境整備を行っています。	すいしん 推進	じっし 実施	○	ひ つづ いりょうてきけ 引き続き、医療的ケ あ ひつよう じどうせいと アの必要な児童生徒 あんしん あんぜん きょういく の安心・安全な教育 かんきょうせいび かん 環境整備のために看 ごし はいち 護師を配置していく とともに、人材確保に つと じんざいかくほ 努めていきます。	すいしん 推進
こうないけんしゅう 校内研修の じっし 実施	いっばんがつきゅう とくべつ しえん よう 一般学級においても特別な支援を要 する児童生徒が増え、支援のニーズが多様 じどうせいと ぞうか しえん にーず たよう 化する状況を踏まえ、全ての教員 か じょうきょう ふ すべ きょういん が障害の状態や特性に応じた指導・ しょうがい じょうたい とくせい おう しどう 支援を行えるよう、ケーススタディを しえん おこな けーすすたでい 重視した研修を充実させ、専門性の じゅうし けんしゅう じゅうじつ せんもんせい 向上を目指します。 ふ かえ <振り返り> すべ しょう ちゅうがっこう しょうがいしゃ 全ての小・中学校において、「障害者 さべつかいしょうほうしこう とこな ごうりてきはりよ 差別解消法施行に伴う合理的配慮」 はったつしょうがい りかい ふか や「発達障害の理解を深めるため」な かくこう じつじょう おう てーま こうない ど各校の実情に応じたテーマで校内 けんしゅう じっし 研修を実施しています。	すいしん 推進	じっし 実施	○	ひ つづ さまざま かだい 引き続き、様々な課題 おう けんしゅうないよう に応じた研修内容を はっしん かくがっこう 発信しながら、各学校 そく けんしゅう じっせん に即した研修が実践 けんとう できるように検討を すす 進めていきます。	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねんど 平成29年度			へいせい ねんど 平成32年度	へいせい 平成32
		もくひょう 目標	じつせき 実績	ひょうか 評価	もくひょう 目標に向けた 30年度の取組	ねんど 年度 もくひょう 目標
とくべつしえんきょう 特別支援教 育支援員事 業 ぎょう 業 きゅうしょうがいじ (旧 障害児 がっこうせいかつし 学校生活支 援員事業)	しょう ちゅうがっこう しょうがい がくしゅうめん 小・中学校で障害により学習面、 せいかつめん あんぜんめん しえん ひつよう じ 生活面や安全面への支援が必要な児 どうせいと たい こうないしえんたいせい ととの 童生徒に対し、校内支援体制が整う までの間、特別支援教育支援員を はいち 配置します。 ふ かえ <振り返り> しょう ちゅうがっこう しょうがい がくしゅうめん 小・中学校で障害により学習面、 せいかつめん あんぜんめん しえん ひつよう じ 生活面や安全面への支援が必要な児 どうせいと たい とくべつしえんきょういくしえんいん 童生徒に対し、特別支援教育支援員 はいち を配置しました。	すいしん 推進	じつし 実施	○	しんせいてつづ しんさぎょう 申請手続きや審査業 むとう ふく せいど み 務等を含め、制度の見 なお む けんとう 直しに向けた検討を すす 進めていきます。	すいしん 推進
とくべつしえん 特別支援 教育の りーだー リーダーの いっせい 育成	だいがくとうせんもんきかん はけん おこな 大学等専門機関への派遣を行うこと により、とくべつしえんきょういく にな きょういん 特別支援教育を担う教員の りーだー ようせい おこな リーダーの養成を行います。 ふ かえ <振り返り> きょうじょくいん とくべつしえんきょういく かん 教職員の特別支援教育に関する しどりのよく こうじょうおよ こうない とく 指導力の向上及び校内における特 べつしえんきょういく りーだーいっせい 別支援教育のリーダー育成として、 よこはまこくりつだいがく とくべつしえんきょういくこー 横浜国立大学の特別支援教育コー でいねーたーようせいこーす はけんけんしゅう ディネーター養成コース派遣研修に しょうがっこうきょうゆ はけん 小学校教諭を派遣しました。また、 とくべつしえんきょういくこーでいねーたーむ 特別支援教育コーディネーター向け けんしゅう みなお じつせんてき ないよう の研修を見直し、より実践的な内容 と い すきるあつぷ はか を取り入れるなど、スキルアップを図つ ていきます。	すいしん 推進	じつし 実施	○	はけん けんしゅうないよう 派遣する研修内容の じゅうじつ ぼしゅうたいしょうしゃ 充実や募集対象者 わく かくだい 枠の拡大などについて けんとう おこな はばひろ り 検討を行い、幅広くリ ーだー しょういん ーダーとなる教員の ようせい じつし 養成を実施していきま す。	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねんど 平成29年度			へいせい ねんど 平成32年度 目標に向けた 30年度の取組	へいせい 平成32 年度 目標
		もくひょう 目標	じつせき 実績	ひょうか 評価		
とくべつしえん 特別支援 がっこうしゅうろう 学校就労 しえんじぎょう 支援事業	<p>きぎょうしゅうろう め ぎ せいと じっしゅうさきかい 企業就労を目指す生徒の実習先開</p> <p>たく しょくばていちゃくしえん おこな こうとう 拓や職場定着支援を行うため、高等</p> <p>とくべつしえんがっこう わか ぼだいとくべつしえんがっこう 特別支援学校（若葉台特別支援学校</p> <p>ちてきしょうがいきょういくぶもん ふく しゅうろう 知的障害教育部門を含む）に就労</p> <p>しえんしどういん はいち 支援指導員を配置します。</p> <p><ふ かえ 振り返り></p> <p>こうとうとくべつしえんがっこう ひ のちゅうおう ふた 高等特別支援学校（日野中央、二つ</p> <p>ぼし わか ぼ だいちてきしょうがいきょういくぶもん こう 橋、若葉台知的障害教育部門）の3校</p> <p>ひとり しゅうろうしえんしどういん しょくたく に1人ずつ就労支援指導員を嘱託</p> <p>いん はいち かくこう じっしゅう 員として配置し、各校における実習</p> <p>さきかいたく しょくばていちゃくしえん きよ 先開拓や職場定着支援に寄与して</p> <p>います。</p>	すいしん 推進	しゅうろう 就労 しえん 支援 しどういん 指導員を はいち 配置	○	<p>へいせい ねん がつ 平成33年4月までに</p> <p>おこな しょうがいしゃ こ 行われる障害者雇</p> <p>ようりつ ひ あ あと 用率の引き上げを後</p> <p>お 押しに、さらなる企</p> <p>ぎょうしゅうろう そくしん む 業就労の促進に向</p> <p>けて取り組んで行き</p> <p>ます。</p>	すいしん 推進
とくべつしえん 特別支援 がっこうしんろ 学校進路 たんどうしゃ 担当者 れんらくかい 連絡会の かいさい 開催	<p>しりつとくべつしえんがっこう しんろたんどうしゃ しょう 市立特別支援学校の進路担当者が障</p> <p>がいしゆべつ こ ていきてき じょうほうこうかん 害種別を超えて定期的に情報交換や</p> <p>じれいけんきゅう おこな はびろ しんろせんたく 事例研究を行い、幅広い進路選択に</p> <p>たいおう 対応できるようにします。</p> <p><ふ かえ 振り返り></p> <p>しりつとくべつしえんがっこう しんろたんどうしゃ じょう 市立特別支援学校の進路担当者の情</p> <p>ほうこうかん じれいけんきゅう ねんかん かいていど 報交換や事例研究を年間5回程度</p> <p>じっし はびろ しんろせんたく たいおう 実施し、幅広い進路選択に対応できる</p> <p>ようにしました。</p>	すいしん 推進	へいせい 平成29 年度 しんろ 進路 たんどうしゃ 担当者 れんらくかい 連絡会 : 5回	○	<p>ひ つづ かくとくべつしえん 引き続き、各特別支援</p> <p>がっこうかん かつぱつ じょう 学校間での活発な情</p> <p>ほうこうかん しょうがいしゃこう 報交換や障害者雇用</p> <p>とう かが けんこうふくし 等に関わる健康福祉</p> <p>きよく しゅうろうしえんせんた 局・就労支援センタ</p> <p>ーとう みつ れんけい とお 一等との密な連携を通</p> <p>ないよう じゅうじつ はか し、内容の充実を図っ</p> <p>ていきます。</p>	すいしん 推進

とりくみ 取組 4-3 じんざい かくほ いくせい 人材の確保・育成

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねん ど 平成29年度			へいせい ねん ど 平成32年度 目標に向けた 30年度の取組	へいせい ねん ど 平成32年度 目標
		もくひょう 目標	じつせき 実績	ひょうか 評価		
がくせいどう 学生等を たいしやう 対象とした じんざい 人材の かくほ じぎょう 確保事業 ㊤	せんもんがっこう 専門学校や市内大学等と連携し、学生 む せつめいかい せみ なー けんがくつ あーどう む せつめいかい せみ なー けんがくつ あーどう を 行い、障害福祉に 触れる機会を増やす おこな しょうがいふくし ぶ きかい ぶ を 行い、障害福祉に 触れる機会を増やす など、障害福祉への人材確保に向けた取 くみ おこな 組を行います。 ふ かえ <振り返り> へいせい ねん ぶくし ぶ え あ かんれん ・平成27年「福祉のしごとフェア」に関連 だんたい さんかく 団体と参画しました。 しょうがいふくし じんざい ぶ そく かいけつ む ・障害福祉人材不足の解決に向け、 みんかん じぎょうしや きやうどう ゆうこう こうほう 民間事業者と協働して、有効な広報 だかいさく けんどう や打聞策を検討しています。	すいしん 推進	じつし 実施	△	かく じぎょうしよ おこな しゅう 各事業所が行う就 しよくせつめいかいとう かつよう 職説明会等での活用 ちくてき へいせい ねん ど を目的に平成29年度 せいさく ぶ ろ もー に製作したプロモー ション動画が 12月の しょうがいしやしゅうかん 障害者週間に合わ しえいばす ぐりー せ、市営バスやグリー んラインのデジタル さいねーじ ほうえい サイネージで放映し ます。	すいしん 推進
しょうがいとくせい 障害特性に おう しえん 応じた支援の ための研修	こうどうしょうがい はったつしょうがいとう しょうがいとく 行動障害や発達障害等の障害特 せい おう けんしゅう しよくほうしょうがいでいしや 性に応じた研修や、触法障害者に かん けんしゅう けんとう じつし 関する研修などを検討・実施します。 ふ かえ <振り返り> しょうがいふくし きー び すじぎょうしやとう しよくいん ・障害福祉サービス事業所等の職員 たいしやう こうどうしょうがい かが しえんりよくこう を対象に、行動障害に係る支援力向 じょう はか けんしゅう しなはいほうじん 上を図るための研修を市内法人が きやうどう おー る よこはま じつし 共同して「オール横浜」として実施し ました。(再掲) はったつしょうがい かん いちじ そうだん しえん き ・発達障害に関する一次相談支援機 かん しえん す きる こうじやう けんしゅう じつ 関の支援スキル向上のため、研修を実 施しました。	すいしん 推進	じつし 実施	○	こうどうしょうがい はったつしょうがい 行動障害・発達障害 たい けんしゅう けいそく に対する研修を継続 して実施していきま す。	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねんど 平成29年度			へいせい ねんど 平成32年度	へいせい 平成32
		もくひょう 目標	じつせき 実績	ひょうか 評価	もくひょう 目標に向けた 30年度の取組	ねんど 年度 もくひょう 目標
いりょうじゅうじしゃ 医療従事者 けんしゅうじぎょう 研修事業 (あ) さいけい 再掲	しつべい しょうがい しょうにおよ じゅうしょう 疾病や障害のある小児及び重症 しんしんしょうがいじ しゃ しえん ひつよう ち 心身障害児・者の支援に必要な知 しき ぎじゆつ こうじょう はか しょうがいとくせい 識・技術の向上を図り、障害特性を りかい いりょうじゅうじしゃ いくせい 理解した医療従事者を育成するため けんしゅう じつし の研修を実施します。 ふ かえ <振り返り> いりょうきかん ふくししせつとう きんむ かんご 医療機関や福祉施設等に勤務する看護 し たいしょう しょうにほうもんかんご じゅうしょうしん 師を対象に「小児訪問看護・重症心 しんしょうがいじしゃけんしゅう じつし 身障害児者研修」を実施しました。	すいしん 推進	じつし 実施	○	けんしゅうにっすう ふく けん 研修日数を含め、研 しゅうしゆほうとう かんけいだんたい 修手法等を関係団体 けんとう けんしゅう じつ と検討し、研修を し 実施していきます。	すいしん 推進
しょうがいふくし 障害福祉 しせつとう はたら 施設等で働 かんごし <看護師の しえん 支援 (あ) さいけい 再掲	しょうがいふくし しせつとう はたら かんごし てい 障害福祉施設等で働く看護師の定 ちやく む しえん おこな かく 着に向けた支援を行うとともに、確 ほ ほうさく けんとう 保の方策について検討します。 ふ かえ <振り返り> しゃかいふくしほうじんがたちかつほ - むとう し かい 社会福祉法人型地活ホーム等に歯科医 し は けん しょくじぼめん 師を派遣し、食事場面において、 しょうがいふくし げんば そく じよげんしどう 障害福祉の現場に即した助言指導や けんしゅう じつし 研修を実施しています。また、 しゃかいふくしほうじんがたちかつほ - む たきのう 社会福祉法人型地活ホームや多機能 がたきよてん はたら かんごし たいしょう 型拠点で働く看護師を対象とした かいぎ かいさい かだい きょうゆう ネット 会議を開催し、課題の共有やネット わ - く おこな ワークづくりを行っています。	すいしん 推進	じつし 実施	○	しょうがいふくし しせつとう 障害福祉施設等で はたら かんごし ていちゃく 働く看護師の定着 けんとう しえん おこな に向けた支援を行 うとともに、確保の ほうさく けんとう 方策について検討し ます。	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねんど 平成29年度			へいせい ねんど 平成32年度 目標に向けた 30年度の取組	へいせい 平成32 年度 目標
		もくひょう 目標	じつせき 実績	ひょうか 評価		
しゅうろうしえん 就労支援 機関の 人材育成	しゅうろうしえんきかんしよくいん しえんすきる 就労支援機関職員の支援スキルを こうじょう じんざいいくせい しく 向上させるため、人材育成の仕組み づくりを検討します。 <ふかえ 振り返り> しゅうろうしえんせんたー かたけんとう なか 就労支援センターのあり方検討の中 で、次の内容に取り組みむことを決めま した。 きそちしき すきる せいり がくしゅう き ・基礎知識・スキルの整理と学習の機 かい けんとう 会の検討 しょうがいしゅべつけんしゅう たきかん れんけい ・障害種別研修や他機関と連携し けんしゅう じっし た研修の実施 ほんし かいさい そうだん しえんけんしゅう さんか ・本市開催の相談支援研修への参加	けんとう ふ 検討を踏 まえた けんしゅうとう 研修等 の じっし 実施	じっし 実施	○	しゅうろうしえんせんたー 就労支援センター のあり方検討で決定 した方向性に基づく とくみないよう 取組内容をふまえ、 じんざいいくせい しく づく 人材育成の仕組み作 りについてけんとう すめていきます。	すいしん 推進
しょうがいふくし 障害福祉 サービス 事業所等 職員向の 研修	じぎょうしょ しよくいん しょうがいしゃこよう おこな 事業所の職員が、障害者雇用を行 っている企業での「就業体験」など を通じて、しゅうろうしえんすきる こうじょう 就労に向けた意識付けを行います。 <ふかえ 振り返り> きぎょう だんたい きょうりよく しなひじぎょう 企業・団体の協力のもと、市内事業 所職員を対象に実施しました(毎年 ど がつ 度6~7月)。	さんかになんずう 参加人数 (累計) 90人	へいせい 平成29 ねんど 年度 さんかになんずう 参加人数 (累計) :171人 きょうりよく 協力 きぎょうすう 企業数 (累計) :70社	○	じぎょうしょ しよくいん しゅう 事業所の職員の就 ろうしえんすきる こうじょう 就労支援スキルの向上 を目的とした「就業 たいけん じっし 体験」を実施します。 また、より効果的な じっしほうほう けん 実施方法について検 とう 討します。	さんかになんずう 参加人数 (累計) 380人

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねんど 平成29年度			へいせい ねんど 平成32年度 目標に向けた 30年度の取組	へいせい 平成32 年度 目標
		もくひょう 目標	じつせき 実績	ひょうか 評価		
がいでへるばー ガイドヘルパー とうけんしゅう 等研修 じゅこうりょうじよせい 受講料助成 ㊤	がいでへるばーとう しかくしゆとく ガイドヘルパー等の資格取得のための けんしゅうじゅこうりょう いちぶ じよせい じんざい 研修受講料の一部を助成し、人材 かくほ ほか 確保を図ります。 <ふ かえ 振り返り> へいせい ねんど じよせいにんずう にん 平成28年度助成人数：210人 そうじよせいがく えん 総助成額：3,759,000円 うちわけ ちてきが いどへるばー けん ぜんしん 内訳：知的ガイドヘルパー39件、全身 せいがいどへるばー けん どうこうえんごいっばん 性ガイドヘルパー44件、同行援護一般 かてい けん こうどうえんご けん 課程100件、行動援護31件	へいせい 平成29 ねんど 年度 じよせい 助成 にんずう 人数： 277人、 そうじよ 総助 せいがく 成額： 4,868,000 えん 円	へいせい 平成29 ねんど 年度 さんか 参加人数 (累計) さーびす ・サービス ていきょうせき 提供責 にんしゃむ 任者向 けんしゅう 研修： 74人 じゅうぎょう ・従業 者向 けんしゅう 研修： 101人 じつし 実施	○	ようこうかいせい おこな へい 要綱改正を行い、平 せい ねんど じょうけん 成29年度から条件 つきで再申請を可能 とししました。その周 知を図ることで、助 成人数の増加とガイ ドヘルパー等の人材 確保を推進していき ます。	すいしん 推進
がいでへるばー ガイドヘルパー すきるあつぷ スキルアップ けんしゅう 研修 ㊤	しつ たか さーびす ていきょう より質の高いサービスが提供できる よう、移動支援事業の従業者を たいしょう けんしゅう じつし 対象に研修を実施します。 <ふ かえ 振り返り> へいせい ねんど さんか にんずう るいけい 平成28年度参加人数(累計) さーびす ていきょうせきにんしゃむ けんしゅう ・サービス提供責任者向け研修： 132人(全4回) じゅうぎょうしゃむ けんしゅう にん ぜん かい ・従業者向け研修：250人(全6回)	へいせい 平成29 ねんど 年度 さんか 参加人数 (累計) さーびす ・サービス ていきょうせき 提供責 にんしゃむ 任者向 けんしゅう 研修： 74人 じゅうぎょう ・従業 者向 けんしゅう 研修： 101人 じつし 実施	へいせい 平成29 ねんど 年度 さんか 参加人数 (累計) さーびす ・サービス ていきょうせき 提供責 にんしゃむ 任者向 けんしゅう 研修： 74人 じゅうぎょう ・従業 者向 けんしゅう 研修： 101人 じつし 実施	○	さーびす ていきょうせきにんしゃ サービス提供責任者 および従業者の質を さら たか 更に高めていくため、 じゅこうしゃ そうか めぎ 受講者の増加を目指 します。	すいしん 推進

事業名	事業内容	平成29年度			平成32年度 目標に向けた 30年度の取組	平成32 年度 目標
		目標	実績	評価		
社会参加推進 センターによる 団体活動支援 機能の充実	障害者本人の活動を支える人材の 育成を進めるとともに、同じ障害があ る人たちの交流やコミュニケーション の機会を拡充し、各団体活動を 促進する取組を推進します。 <振り返り> 障害者の自立や社会参加等を促進 するための当事者による事業を17事 業実施しました。	推進	実施	○	引き続き当事者によ る社会参加等を促進 する事業を実施して いきます。	推進
障害者本人 及び家族によ る普及・啓発 活動の推進 さいけい 再掲	社会参加推進センターが中心とな り、障害者本人、家族及び各団体と 連携・協働し、障害理解の促進に向 けた普及・啓発活動を推進します。 <振り返り> 社会参加推進センター等により、普 及啓発リーフレットの作成及び啓発 講座等を実施しました。	推進	実施	○	横浜市社会参加推進 センター等と協働し て普及啓発を実施し ていきます。	推進

とりくみ
取組5-1 就労

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねん 度 平成29年度			へいせい ねん 度 平成32年度 ちくひよう む 目標に向けた ねん 度 とりくみ 30年度の取組	へいせい 平成32 ねん 度 ちくひよう 目標
		ちくひよう 目標	じつせき 実績	ひようか 評価		
しゅうろうしえん 就労支援 せんたー センター (9か所)	はたら ことを きぼう する しょうがい がある方 働くことを希望する障害のある方 やすでに はたら している 方が あんしん やすでに働いている方が安心して はたら つづ けるための しえん 支援を、企業 や 働き続けるための支援を、企業や かんけいきかん れんけい おこな 関係機関と連携して行います。 <ふりかえり> かんけいきかん れんけい しょうがいしゃ 関係機関と連携しながら、障害者 の企業等へのしゅうろう 就労・ていちゃくしえん 定着支援を すいしん 推進するほか、へいせい 平成27年度からしゅう ろうしえん 就労支援センターのあり方について、 ほうこうせい 方向性を定めて具体的なしゅうろう 取組の けんとう 検討を行っています。また、へいせい 平成28 ねん 度からぜんせんたー 共通の支援員 む 向け研修を実施しています。 (へいせい 平成28年度の支援対象者数 (登 録者数) : 4,316人)	しえん 支援 たいしやうしゃ 対象者 すう 数 (9か所 けい 計) 3,400 にん 人	へいせい 平成29 ねん 度 しえん 支援 たいしやうしゃ 対象者 すう 数 (9か所 けい 計) 4,722 にん 人	○	しゅうろうしえん 就労支援センターの あり方検討に基づき けつてい 決定したほうこうせい 方向性(支援 ないよう 内容の標準化、地域 れんけい 連携、人材育成)につ いてぐたいてき 具体的なしゅうろう 取組を すいしん 推進していきます。	しえん 支援 たいしやうしゃ 対象者 すう 数 (9か所 けい 計) 4,400 にん 人
しゅうろうしえん 就労支援 きかん 機関の じんざいいくせい 人材育成 さいけい 再掲	しゅうろうしえん 就労支援機関職員の支援スキルを向 上させるため、じんざいいくせい 人材育成の仕組みづく りをけんとう 検討します。 <ふりかえり> しゅうろうしえん 就労支援センターのあり方検討の中 で、つぎ 次の内容に取り組むことを決めま した。 きそちしき 基礎知識・すきる 技能のせいり 整理としゅう 学習の機会 のけんとう 検討 しょうがいしゅべつけんしゅう 障害種別研修やたかかん 他機関とれんけい 連携し たけんしゅう 研修の実施 ほんし 本市開催のそうだん 相談支援けんしゅう 研修へのさんか 参加	けんとう 検討を ふ 踏まえた けんしゅう 研修等 のじつし 実施	じつし 実施	○	しゅうろうしえん 就労支援センターの あり方検討でけつてい 決定し たほうこうせい 方向性に基づくしゅうろう 取 組内容をふまえ、じんざい 人材 いっせい 育成の仕組み作り についてけんとう 検討をすすめ ていきます。	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねんど 平成29年度			へいせい ねんど 平成32年度 目標に向けた 30年度の取組	へいせい 平成32 年度 目標
		もくひょう 目標	じつせき 実績	ひょうか 評価		
はたら 働きたい！ わたしの シンポジウム	はたら しょうがいしゃ こよう すず きぎょう 働く障害者や、雇用を進める企業 などの「生の声」を聴くことで、 しょうがいしゃ こよう りかいそくしん けいはつ すず 障害者雇用の理解促進や啓発を進 めます。 (平成29年度に「働きたい！あな わたしのシンポジウム」から名称変更) <振り返り> 「働きたい！わたしのシンポジウ ム」を開催(年1回)し、当事者・御 家族等に対して就労啓発を行いま しました。	さんかしゃすう 参加者数 (累計) 600人	へいせい 平成29 年度 参加者数 (累計) 1,352 人	○	ひ つづ はたら 引き続き「働きたい！ わたしのシンポジウム」 を開催(年1回)し、 当事者等に対して就 労への理解促進や、働 きたいと思えるきっか げづくりを行います。	さんかしゃすう 参加者数 (累計) 3,000人
きぎょう ふくし 企業と福祉を つなぐセミナー	しょうがいしゃ こよう けんとう きぎょうとう 障害者雇用を検討する企業等を たいしょう ふくし しえんきかんと 対象に、福祉の支援機関等をつなげ ることや雇用に関する制度の情報提 供を行います。 <振り返り> かながわけん たとし ごうどう きぎょうむ 神奈川県や他都市と合同で企業向け セミナーを実施しました。	さんか 参加 企業数 (累計) 120社	へいせい 平成29 年度 参加 企業数 (累計) 227社	○	しえんきかん れんけい き 支援機関と連携した企 業向けセミナーを開 催するとともに、障害 者雇用促進法の改正 に伴う情報提供や 雇用事例の紹介を行 います。	さんか 参加 企業数 (累計) 240社
しょうがいしゃ こよう 障害者雇用 事例の紹介	しょうがいしゃ こよう すぐ とりぐみ おこな きぎょう 障害者雇用で優れた取組を行う企業 等をデータベースにして市のWEBページ 等で広く紹介します。 <振り返り> 企業や団体等へのヒアリングを行い 順次WEBページへの掲載を行いました。 また神奈川県や国の機関との情報 共有を行いました。	しょうかい 紹介 企業数 (累計) 90社	へいせい 平成29 年度 紹介 企業数 (累計) 89社	○	こうかてき しょうかい より効果的な紹介の 方法を検討するとと もに、引き続き、順次 WEBページへの掲載 を行います。	しょうかい 紹介 企業数 (累計) 150社

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねんど 平成29年度			へいせい ねんど 平成32年度 目標に向けた 30年度の取組	へいせい 平成32 年度 目標
		もくひょう 目標	じつせき 実績	ひょうか 評価		
ちゅうしょうきぎょう 中小企業 への しょうがいしゃこよう 障害者雇用 しえん 支援	しないきぎょう たいはん し ちゅうしょうきぎょう 市内企業の大半を占める中 小企業 たい こようけいはつ む けんとう に対する雇用啓発に向けて検討します。 ふ かえ <振り返り> けいざいだんたいとう たい でまえこうざ じっし 経済団体等に対し、出前講座を実施し ました。	けんとう 検討を ふ 踏まえた じぎょう 事業の じっし 実施	へいせい 平成29 ねんど 年度 るいけい (累計) :11団体 104社	○	きぎょう む こようじ 企業に向けて、雇用事 れい しょうかい 例の紹介とともに、 しえん きかん じよせいきん 支援機関や助成金な どの情報を引き続き てきせつ はっしん 適切に発信します。	すいしん 推進
ちいき 地域における しゅうろうしえん 就労支援 ねつとわーく ネットワークの こうちく 構築	かんけいきかんとどうし れんけい きょうりょくたいせい 関係機関同士の連携・協力体制を こうちく 構築することで、企業就労の促進、 しゅうろうご ていちゃくしえん およ せいかつしえん 就労後の定着支援及び生活支援の じゅうじつ はか 充実を図ります。 ふ かえ <振り返り> しゅうろうしえん せん たー ちゅうしん とうく 就労支援センターを中心として、特 べつしえんがっこう しゅうろういこうしえん じぎょうしよ 別支援学校や就労移行支援事業所 とう かくかんけいきかん れんけい すず 等、各関係機関と連携を進めました。	かんけいきかん 関係機 との連携 がいどら ガイドラ いん インの さくていとう 策定等	じっし 実施	○	とくべつしえんがっこう しゅうろう 特別支援学校や就労 いこうしえんじぎょうしよ 移行支援事業所等だ けでなく、医療機関や しゅうろうけいぞくしえん じぎょう 就労継続支援事業 しよ ろうどうかんけいきかんと 所、労働関係機関等と れんけい すず の連携を進めます。ま かくくじりつしえんきょう た、各区自立支援協 ぎかい れんけい おこ 議会との連携も行い ます。	すいしん 推進

へいせい ねんどじっせき ふくししせつ いっぱんしゅうろう いこうしゃすう 平成24年度実績の福祉施設から一般就労への移行者数	160人
へいせい ねんどみこみ ふくししせつ いっぱんしゅうろう いこうしゃすう 平成29年度見込の福祉施設から一般就労への移行者数	360人 【平成28年度】実績 457人
へいせい ねんどみこみ ふくししせつ いっぱんしゅうろう いこうしゃすう 平成32年度見込の福祉施設から一般就労への移行者数	781人 【平成29年度実績】 450人
へいせい ねんどまつじてん しゅうろういこうしえんじぎょう りようしゃすう 平成25年度末時点での就労移行支援事業の利用者数	556人
へいせい ねんどまつじてん しゅうろういこうしえんじぎょう りようしゃすう 平成29年度末時点での就労移行支援事業の利用者数	898人 【平成28年度】実績 950人
へいせい ねんどまつじてん しゅうろういこうしえんじぎょう りようしゃすう 平成32年度末時点での就労移行支援事業の利用者数	1,949人 【平成30年度上半期実績】 1,139人
へいせい ねんどじっせき しゅうろういこうしえんじぎょう りようしゃ しゅうろういこう 平成25年度実績の就労移行支援事業の利用者のうち就労移行 りつ わりいじょう じぎょうしよ わりあい 率が3割以上の事業所の割合	36%
へいせい ねんどみこみ しゅうろういこうしえんじぎょう りようしゃ しゅうろういこう 平成29年度見込の就労移行支援事業の利用者のうち就労移行 りつ わりいじょう じぎょうしよ わりあい 率が3割以上の事業所の割合	41% 【平成28年度】実績 26%
へいせい ねんどみこみ しゅうろういこうしえんじぎょう りようしゃ しゅうろういこう 平成32年度見込の就労移行支援事業の利用者のうち就労移行 りつ わりいじょう じぎょうしよ わりあい 率が3割以上の事業所の割合	41% 【平成29年度実績】 46.7%

福

	へいせい ねんど 平成27年度	へいせい ねんど 平成28年度	へいせい ねんど 平成29年度	へいせい ねんど 平成30年度	へいせい ねんど 平成31年度	へいせい ねんど 平成32年度
しゅうろうていちゃく 就 労 定 着 しえんりようしゃすう 支援利用者数 しんき 新規	—	—	—	625人 【かみはんまじつせき 上半期実績】 55人	1,203人	1,343人

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねん ど 平成29年度			へいせい ねん ど 平成32年度 もくひょう む 目標に向けた ねん ど とりくみ 30年度の取組	へいせい 平成32 ねん ど 年度 もくひょう 目標
		もくひょう 目標	じつせき 実績	ひょうか 評価		
しょうがいふくし 障害福祉 サービス 事業所等 職員向けの 研修 さいけい 再掲	じぎょうしょ しょくいん しょうがいしゃ こよう おこな 事業所の職員が、障害者雇用を行 っている企業での「就業体験」など を通じて、就労支援スキルの向上や、 就労に向けた意識付けを行います。 <振り返り> 企業・団体の協力のもと、市内事 業所職員を対象に実施しました (毎年6月～7月)。	さんか 参加 にんずう 人数 (累計) 90人	へいせい 平成29 ねん ど 年度 さんかにんずう 参加人数 るいけい (累計) :171人、 きょうりよく 協力 きぎょうすう 企業数 るいけい (累計) :70社	○	じぎょうしょ しょくいん しゅう 事業所の職員の就 ろうしえんすきる こうじょう 労支援スキルの向上 を目的とした「就業 体験」を実施します。 また、より効果的な実施 方法について検討しま す。	さんかにんずう 参加人数 (累計) 380人

とくみ 取組 5-2 福祉的就労

事業名	事業内容	平成29年度			平成32年度 目標に向けた 30年度の取組	平成32 年度 目標
		目標	実績	評価		
よこはま 障害者 共同受注 総合 センターの運 営	市内の障害者施設等の情報を集約するとともに、企業等からの作業受注における窓口及びコーディネーター等を行います。 ＜振り返り＞ 平成27年度にセンターを開設しました。センターでは、市内障害者施設等の登録を進め、作業内容などの情報を集約し、WEBページで周知しました。また、工賃向上のため、企業訪問やパンフレットの改訂、研修や技術的指導を行いました。なお、工賃総額は増加したものの、加盟施設及び利用者の増により平均工賃は目標を下回る見込みです。	加盟施設における「月額平均工賃」が10%以上上昇	加盟施設における「月額平均工賃」が平成27年度実績に比べ1.2%上昇	△	受注促進のための企業開拓や販路開拓を行い、加盟施設及び利用者の増にも対応していきます	加盟施設における「月額平均工賃」が10%以上上昇
優先調達推進のための庁内への啓発	庁内LANや庁内報などを活用し、優先調達における区局等の優れた発注事例について広く周知・啓発を行います。 ＜振り返り＞ 毎年度、優先調達方針を策定し、優れた発注事例を「ハートオーダー通信」として庁内LANに掲載するとともに、(平成27～29年度 累計14号発行)、庁内会議等で事例を説明し、発注を促進しました。	推進	実施	○	引き続き、庁内会議等の場を通じて、複数部署で発注可能な類似事例を紹介するなどの周知・啓発を行います。	推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねんど 平成29年度			へいせい ねんど 平成32年度 目標に向けた 30年度の取組	へいせい 平成32 年度 目標
		もくひょう 目標	じつせき 実績	ひょうか 評価		
たいしょうじぎょうしよ 対象事業所 の拡大に む けんとう 向けた検討	とくれい こがいしゃ じゅうどしやうがいしゃ たすうこようじ 特例子会社、重度障害者多数雇用事 ぎょうしよおよ ざいたくしゅうぎやうしやうがいしゃとう ほう 業所及び在宅就業障害者等、法 りつ たいしょうはんい きぎやうとう たい 律の対象範囲である企業等への対 しょうかくだい む けんとう おこな 象拡大に向けて検討を行います。 ふ かえ <振り返り> へいせい ねんど けんとう おこな ねんど 平成28年度から検討を行い、29年度 じゅうどしやうがいしゃたすうこようじぎょうしよおよ ざい に重度障害者多数雇用事業所及び在 たくしゅうぎやう しえんだんたい よこはまし 宅就業支援団体 横浜市ふれあいシ よつ ぶ たいしやう ふく よこはまししやうがい ョップを対象に含めた「横浜障害 しゃしえんしせつとう じゅん もの にんてい 者支援施設等に準ずる者の認定にか ようごう さくてい じぎょうしよ にんてい かる要綱」を策定し、10事業所を認定 しました。	かだい 課題の けんしやう 検証を ふ 踏まえた けんとう 検討	じっし 実施	○	ゆうせんちやうたつ すいしん む 優先調達の推進に向 けんとう ひ つづ けた検討を引き続き おこな 行います。	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねんど 平成29年度			へいせい ねんど 平成32年度 目標に向けた 30年度の取組	へいせい 平成32 年度 目標
		もくひょう 目標	じつせき 実績	ひょうか 評価		
しゃかいさんか 社会参加 する機会の かくほ 確保 (▷の項目)	きぎやう はたら しせつ にちちゅうかよ 企業で働くことや、施設に日中通う ごんなん ざいたく かた しゃかいさんか ことが困難な在宅の方でも、社会参加 する機会を確保できるようなしくみ けん を確保できるような仕組みを検 とう 討します。	—	—	—	じやうほうしゅうしゅう かだいせい 情報収集や課題整 り おこな 理を行います。	—

とりにくみ 取組5-3 にちゅうかつどう 日中活動

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねん ど 平成29年度			へいせい ねん ど 平成32年度 目標に向けた 30年度の取組	へいせい ねん ど 平成32 年度 目標
		もくひょう 目標	じつせき 実績	ひょうか 評価		
にちゅうかつどう 日中活動 場所の役割 の明確化及 び設置促進 (▷の項目)	げんざい にちゅうかつどう かか さまざま しゃ 現在の日中活動に関わる、様々な社 かいしげん やくわり いちづ めいかく 会資源の役割や位置付けを明確にし、 しょうがいしゃほんにん きぼう かつどうばしょ せん 障害者本人が希望する活動場所を選 たく ほうほう いりようてきけ あとうせんもんてき 択できる方法や医療的ケア等専門的 な支援が必要な方への支援方法につい て、検討します。 あわ とくべつしえんがっこう そつぎょうせいとう 併せて、特別支援学校の卒業生等の い きまき にちゅうかつどうばしょ せつち そく 行き先となる日中活動場所の設置を促 しん 進します。	—	—	—	ひ つづ にちゅう さー 引き続き、日中のサー びす かか かくしせつ ビスに関わる各施設の やくわり しさく 役割や施策などについ て、かんけいしゃ まじ 関係者などを交えた けんとう すす 検討を進めていきます。	—

福 【見込み】

	へいせい ねん ど 平成27年度	へいせい ねん ど 平成28年度	へいせい ねん ど 平成29年度	へいせい ねん ど 平成30年度	へいせい ねん ど 平成31年度	へいせい ねん ど 平成32年度
せいいかつかいご 生活介護	7,150 人分	7,759 人分	8,420 人分	7,783 人分	8,080 人分	8,417 人分
	実績 6,956 人分	実績 7,147 人分	実績 7,306 人分	上半期実績 7,702 人分		
	125,140 人日	135,795 人日	147,357 人日	127,637 人日	131,598 人日	136,283 人日
	実績 116,606 人日	実績 118,489 人日	実績 125,438 人日	上半期実績 120,305 人日		
じりつくんれん 自立訓練 (機能訓練)	26 人分	26 人分	26 人分	30 人分	30 人分	30 人分
	実績 29 人分	実績 35 人分	実績 35 人分	上半期実績 31 人分		
	422 人日	422 人日	422 人日	511 人日	511 人日	511 人日
	実績 497 人日	実績 603 人日	実績 596 人日	上半期実績 522 人日		

福【見込み】

	へいせい ねんど 平成27年度	へいせい ねんど 平成28年度	へいせい ねんど 平成29年度	へいせい ねんど 平成30年度	へいせい ねんど 平成31年度	へいせい ねんど 平成32年度
じりつくんれん 自立訓練 (生活訓練)	191人分	193人分	194人分	207人分	222人分	233人分
	実績 169人分	実績 192人分	実績 208人分	かめはんまじつせき 上半期実績 233人分		
	2,801人日	2,829人日	2,857人日	3,402人日	3,638人日	3,874人日
	実績 2,784人日	実績 3,015人日	実績 3,364人日	かめはんまじつせき 上半期実績 3,704人日		
しゅうろういごう 就労移行 支援事業	657人分	807人分	898人分	1,376人分	1,628人分	1,949人分
	実績 830人分	実績 950人分	実績 1,036人分	かめはんまじつせき 上半期実績 1,139人分		
	10,911人日	13,683人日	15,252人日	24,241人日	29,130人日	35,486人日
	実績 13,988人日	実績 16,116人日	実績 18,176人日	かめはんまじつせき 上半期実績 19,236人日		
しゅうろうけいぞく 就労継続 支援事業 (A型)	670人分	891人分	1,141人分	698人分	750人分	812人分
	実績 563人分	実績 593人分	実績 664人分	かめはんまじつせき 上半期実績 782人分		
	13,422人日	17,851人日	22,849人日	13,994人日	15,031人日	16,255人日
	実績 11,294人日	実績 11,886人日	実績 13,259人日	かめはんまじつせき 上半期実績 14,552人日		
しゅうろうけいぞく 就労継続 支援事業 (B型)	2,964人分	3,507人分	4,150人分	4,248人分	4,855人分	5,551人分
	実績 2,846人分	実績 3,250人分	実績 3,570人分	かめはんまじつせき 上半期実績 3,635人分		
	53,365人日	61,501人日	72,747人日	72,506人日	82,283人日	93,555人日
	実績 49,612人日	実績 55,979人日	実績 63,011人日	かめはんまじつせき 上半期実績 61,210人日		

福 【見込み】

	へいせい ねん ど 平成27年度		へいせい ねん ど 平成28年度		へいせい ねん ど 平成29年度		へいせい ねん ど 平成30年度		へいせい ねん ど 平成31年度		へいせい ねん ど 平成32年度	
ちいきかつどうし 地域活動支 援センター えんせんたー さぎょうしょがた 作業所型 (※)	189	か所	185	か所	181	か所	154	か所	154	か所	154	か所
	<small>じつせい 実績</small>	170	か所	<small>じつせい 実績</small>	158	か所	<small>かみはんきしつせい 上半期実績</small>	153				
	3,892	にん	3,800	にん	3,707	にん	3,411	にん	3,411	にん	3,411	にん
	<small>じつせい 実績</small>	3,755	にん	<small>じつせい 実績</small>	3,462	にん	<small>かみはんきしつせい 上半期実績</small>	2,479				
ちゅうとしょうがい 中途障害 しゃちいきかつどう 者地域活動 せんたー センター	18	か所	18	か所	18	か所	18	か所	18	か所	18	か所
	<small>じつせい 実績</small>	18	か所	<small>じつせい 実績</small>	18	か所	<small>かみはんきしつせい 上半期実績</small>	18				
	529	にん	529	にん	529	にん	529	にん	529	にん	529	にん
	<small>じつせい 実績</small>	527	にん	<small>じつせい 実績</small>	531	にん	<small>かみはんきしつせい 上半期実績</small>	492				

※ ちいきかつどうしえんせんたーさぎょうしょがた 地域活動支援センター作業所型については、ひつようすう 必要数を確保していきます。

※ この表における単位の考え方は次のとおりです。

・「人分」「回」…にんぶん かい 月間の利用人数・回数

・「人日」…「月間の利用人数」×「一人一か月あたりの平均利用日数」

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねんど 平成29年度			へいせい ねんど 平成32年度 もくひょう む 目標に向けた ねんど とりぐみ 30年度の取組	へいせい 平成32 年度 もくひょう 目標
		もくひょう 目標	じつせき 実績	ひょうか 評価		
<p>がいどへるばー ガイドヘルパー すきるあっぷ スキルアップ けんしゅう 研修 ㊤</p> <p>さいけい 再掲</p>	<p>より質の高いサービスが提供できる よう、移動支援事業の従業者を 対象に研修を実施します。 <振り返り> 平成28年度参加人数(累計) ・サービス提供責任者向け研修： 132人(全4回) ・従業者向け研修：250人(全6回)</p>	<p>すすん 推進</p>	<p>へいせい 平成29 ねんど 年度 さんかになんずう 参加人数 るいけい (累計) さーびす ・サービス ていきようせき 提供責 にんしやむ 任者向け けんしゅう 研修： 74人 じゅうぎよう ・従業 者向け研 しゅう 修： 101人</p>	○	<p>さーびす ていきようせきにんしや サービス提供責任者 および従業者の質を さらたか 更に高めていくため、 じゅうぎようしや ぞうか めざ 受講者の増加を目指 します。</p>	<p>すすん 推進</p>
<p>こうりつてき 効率的な しゃりようりよう 車両利用の しく けんどう 仕組みの検討 ㊤</p>	<p>つうしよどう しゃかいさんか いっそうすす 通所等の社会参加が一層進められる よう、乗合形式等による効率的な しゃりようりよう しく けんどう 車両利用の仕組みを検討します。 <振り返り> カーシェアリング(乗合送迎)の仕組み について、検討委員会を設置し、平成 25年度から 27年度にかけて検討を おこな ほうこくしよ さくせい 行い、報告書を作成しました。また、 えりあ げんてい もでるそうこうとう じっし エリアを限定したモデル走行等も実施 しました。</p>	<p>すすん 推進</p>	<p>じっし 実施</p>	○	<p>ほうこくしよ 報告書にまとめた検 とうけつ か ふ かく 討結果を踏まえ、「カ ーシェアリング」の手 ほう 法について関係部局 ちようせい すす と調整を進めます。</p>	<p>すすん 推進</p>

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねんど 平成29年度			へいせい ねんど 平成32年度 目標に向けた 30年度の取組	へいせい 平成32 年度 目標
		もくひょう 目標	じつせき 実績	ひょうか 評価		
なんびょうかんじゃ 難病患者 がいしゅつしえん 外出支援 さーびすじぎょう サービス事業	いっばん こうつうきかん りょう がいしゅつ 一般の交通機関を利用しての外出に こんなん とこな くるま りょうしゃとう ふくし 困難を伴う、車いす利用者等に福祉 しゃりょう さーびす ていきょう 車両によるサービスを提供します。 ふ かえ <振り返り> へいせい ねんど のべりようかいすう かい 平成27年度延利用回数:1,119回 へいせい ねんど のべりようかいすう かい 平成28年度延利用回数:946回	すいしん 推進	へいせい 平成 ねんど 29年度 のべりよう 延利用 かいすう 回数: 487回	○	こんご こうれいしゃ しょうがいしゃ 今後、高齢者・障害者 ふく いどう しえん き を含めた移動支援サ ーびすぜんたい かつ ービス全体のあり方 について、関係者と かんけいしゃ 協議をしていきま す。	すいしん 推進
ざいたくじゅうしやう 在宅重症 かんじゃがいしゅつ 患者外出 しえんじぎょう 支援事業	くるま いどう こんなん すとれつ 車いすによる移動が困難でストレッ ちゃーたいおうしゃ しょう え なん チャー対応車を使用せざるを得ない難 びょうかんじゃ つういんとう さい しょうてい かんじゃ 病患者が、通院等の際、所定の患者 とうはんそうようじどうしゃ りょう ばあい 等搬送用自動車を利用した場合に、そ いそうひ いちぶ じよせい の移送費の一部を助成します。 ふ かえ <振り返り> へいせい ねんど のべりようかいすう かい 平成27年度延利用回数 : 499回 へいせい ねんど のべりようかいすう かい 平成28年度延利用回数 : 540回	すいしん 推進	へいせい 平成29 ねんど 年度 のべりよう 延利用 かいすう 回数: 599回	○	りょうしゃ りべん 利用者にとって利便 せい たか じぎょう 性の高い事業となる よう、ひ つづ けんとう 引き続き検討し ていきます。	すいしん 推進
ふくしゆうしやう 福祉有償 うんそうじぎょう 運送事業	いどう かいじょ ひつよう しんたいしやうがいしやとう 移動に介助が必要な身体障害者等 たいしやう とうろく えぬびーおーほうじんとう を対象に、登録されたNPO法人等 じかようじどうしゃ しょう ゆうしやう により、自家用自動車を使用して有償 ゆそう さーびす そくしん で輸送するサービスを促進します。 ふ かえ <振り返り> ふく しゆうしやうんそう おこな えぬびーおーほうじん 福祉有償 運送を行うNPO法人 とう とうろくとう ふくしゆうしやうんそう てきせい 等の登録等や福祉有償 運送の適正 じっしとう きょうぎ ふくしゆう な実施等について協議する、福祉有 しょういどう さーびす うんえいきやうぎかい かいさい 償 移動サービス運営 協議会を開催 しました。	すいしん 推進	じっし 実施	○	あんぜん あんしん ふくしゆう 安全・安心な福祉有 しょううんそう じっし しえん 償 運送の実施を支援 します。	すいしん 推進

福【見込み】

	へいせい ねん ど 平成27年度		へいせい ねん ど 平成28年度		へいせい ねん ど 平成29年度		へいせい ねん ど 平成30年度		へいせい ねん ど 平成31年度		へいせい ねん ど 平成32年度	
いどうしえん 移動支援 じぎょう 事業 (いどうかいご 移動介護 つうがくつうしよ 通学通所 しえん 支援)	668,820	じかんぶん 時間分	688,978	じかんぶん 時間分	709,744	じかんぶん 時間分	724,125	じかんぶん 時間分	745,849	じかんぶん 時間分	768,224	じかんぶん 時間分
	<small>じつじょう 実績</small>	じかんぶん 時間分	<small>じつじょう 実績</small>	じかんぶん 時間分	<small>じつじょう 実績</small>	じかんぶん 時間分	<small>かみはんまじつせき 上半期実績</small>	じかんぶん 時間分				
	659,335	じかんぶん 時間分	682,557	じかんぶん 時間分	712,284	じかんぶん 時間分	374,759	じかんぶん 時間分	6,134	じんぶん 人分	6,379	じんぶん 人分
	4,546	じんぶん 人分	4,819	じんぶん 人分	5,109	じんぶん 人分	5,898	じんぶん 人分				
<small>じつじょう 実績</small>	5,105	じんぶん 人分	<small>じつじょう 実績</small>	5,401	じんぶん 人分	<small>じつじょう 実績</small>	5,705	じんぶん 人分	<small>かみはんまじつせき 上半期実績</small>	5,852	じんぶん 人分	

とくみ ぶんか すぽーつ れくりえーしょん
取組5-5 文化・スポーツ・レクリエーション

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねんど 平成29年度			へいせい ねんど 平成32年度 目標に向けた 30年度の取組	へいせい 平成32 年度 目標
		もくひょう 目標	じつせき 実績	ひょうか 評価		
さんかがたあーと イベントの 開催	<p>市内の様々な会場を活用して、参加型のアートイベントを検討・開催します。3年に一度開催するパラトリエナーレへの基盤づくりとして、障害者への芸術活動の環境づくりを検討します。</p> <p><振り返り> 障害のある方のアート活動を支援する人材を育成することを目的とし、文化事業ボランティア等の研修会及び各種ワークショップを実施しました。</p>	すいしん 推進	じつし 実施	○	<p>2020年のパラトリエナーレを見据え、イベントの周知をするとともに、障害者の活動を支援する人材育成の取組を引き続き行います。</p>	すいしん 推進
よこはま ばら とリエナーレ 開催	<p>障害者の芸術活動を促進することや、障害者と芸術家の協働による作品作りを行うことなどにより、障害者自身の一層の自立につなげていくため、現代アート国際展である「ヨコハマ・パラトリエナーレ」を開催します。</p> <p><振り返り> ヨコハマ・パラトリエナーレ2017を開催しました。国内外のアーティスト・市民11,650人が製作に参加し、12万人を超える方に御来場頂きました。</p>	かいさい 開催	かいさい 開催	○	<p>2017」の記録映画の上映会開催とディレクターによる啓発の講演会を開催し、164名（うち障害者30名以上）の方にご来場いただきました。また、障害者の文化芸術活動を支援する人材育成の取組として、障害者対応基礎知識の学習と実践を交えた「アクセシビリティ実践講座」を開催しました。今後も引き続きアウトリーチ活動と人材育成に取り組みます。</p>	かいさい 開催

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねんど 平成29年度			へいせい ねんど 平成32年度 目標に向けた 30年度の取組	へいせい 平成32 年度 目標
		もくひょう 目標	じつせき 実績	ひょうか 評価		
こうしゅ ずが 4校種 図画 こうさく びじゅつ 工作・美術・ しやうさく かくしんてん 書道作品展 とくべつしえん 特別支援 きやういく ぶもん 教育部門 ～つたえたい ばくのおもい わたしのきもち ～の開催 さいけい 再掲	こうしゅ しょう ちゅう こう とくべつしえん 4校種（小・中・高・特別支援） の幼児児童生徒の作品を一堂に集め、 ようじ じどうせいと さくひん いちどう あつ 市民公開の作品展を開催することで、 しょうがい こ ぶんか かつどう かん 障害のある子どもの文化活動に関する ふきゅう けいはつ はか 普及・啓発を図ります。 ふ かえ <振り返り> こうしゅ しょう ちゅう こう とくべつしえん 4校種（小・中・高・特別支援）の ようじ じどうせいと さくひん いちどう あつ 幼児児童生徒の作品を一堂に集め、 しみんこうかい さくひんてん かいさい まいとし 市民公開の作品展を開催し、毎年1 まんにん こ しみん らいじよう 万人を超える市民が来場していま す。また、平成28年度にはNPO法人 こうえん う てんじ ばねる あたら の後援を受け、展示するパネルを新し くすることができました。	すいしん 推進	じつし 実施	○	ひ つづ き こうしゅ しょう 引き続き、4校種（小・ ちゅう こう とくべつしえん 中・高・特別支援）の ようじ じどうせいと さくひん 幼児児童生徒の作品を いちどう あつ しみんこうかい 一堂に集め、市民公開 さくひんてん かいさい の作品展を開催するこ とで、しょうがい こ も文化活動に関する ふきゅう けいはつ はか 普及・啓発を図りま す。	すいしん 推進
しょうがいしゃ 障害者の げいじゅつ かつどう 芸術活動 しえん ネット 支援ネット わーく ワークの こうちく 構築	しょうがいしゃ びじゅつ かつどう さき じんざい だん 障害者の美術活動を支える人材、団 たいどう かんけいきかん ねっとわーくか 体等の関係機関によるネットワーク化 はか げいじゅつ かつどう じやうほうしゅうしゅう はつ を図り、芸術活動の情報収集、発 しん おこな きよてん せっち 信を行う拠点を設置します。 ふ かえ <振り返り> てんらんかい かいさい つう しえんだんたい じん 展示会開催を通じて。支援団体・人 ざい いくせい ねっとわーくか すず 材の育成とそのネットワーク化を進 めました。	こうちく 構築	こうちく 構築	○	ねっとわーくか すず ネットワーク化を進 め、ぱらとりえんなー ばら とりえんなー れの取組みを生かし れ とりくみ い て各団体が持つノウ かくだんたい も の う ハウの共有や障害 はう きやうゆう しょうがい 者の活動をサポート しゃ かつどう さぼーと する人材の育成に取 じんざい いくせい と り組みます。	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねんど 平成29年度			へいせい ねんど 平成32年度	へいせい 平成32
		もくひょう 目標	じつせき 実績	ひょうか 評価	もくひょう 目標に向けた 30年度の取組	ねんど 年度 もくひょう 目標
ばらとらいあす トラリアス ロン きのょうか ンの強化	よこはまらぼーる ばらとらいあす 横浜ラポールにおいて、バトリアスロ ン きのょうき ふきゅう きょうか む とりくみ ン 競技の普及・強化に向けた取組を すいしん 推進します。 <ふ かえ 振り返り> ぐりーんとらいあするん せかいとらいあす グリーントリアスロン、世界トリアス ロンシリーズ横浜大会、シーサイドトライ ロンシリーズ横浜大会、シーサイドトライ あするん きょうりよく いぐ アスロンに協力しています。また、イグ じつとほんどらー じつぎけんしゅう よこはま ジットハンドラーの実技研修を横浜ラ ぽーる ぶーる じつし ポールのプールで実施しました。	すいしん 推進	じつし 実施	○	よこはまらぼーる しせつ 横浜ラポールの施設を りょう とらいあす 利用した、トリアスロ ン すたっふ しょうがい ンスタッフへの障害 しゃたいおうけんしゅう よこはま 者対応研修や、横浜 らぼーる りょうしゃ たい ラポール利用者に対す とらいあするん る、トリアスロンへの さんか あんないどう おこな 参加の案内等を行い ます。	すいしん 推進
とくべつしえんがっこう 特別支援学校 における すぽーつせんしゅ スポーツ選手 いくせいきょうか 育成強化 じぎょう 事業	おりんぴっく ばらりんぴっく どうきょうたいかい オリンピック・パラリンピック東京大会 かいさい けいき とくべつしえんがっこう 開催を契機として、特別支援学校で おこな すぽーつ せかい めざ じどうせいと し 行うスポーツで世界を目指す児童生徒を支 えん 援することにより、障害のある子どもた ちのじりつ しゃかいさんか ちの自立と社会参加につなげます。 <ふ かえ 振り返り> とくべつしえんがっこう じどうせいと たつきゅう すい 特別支援学校の児童生徒が卓球、水 えい りくじょうきょうぎ せかいでき たいかい 泳、陸上競技で世界的な大会に しゅつじょう しょうれいきん こうふ 出場するにあたり、奨励金を交付し たため、しょうがいしゃ すぽーつ ふきゅうけいはつ ため、障害者スポーツの普及啓発の ため、ごーるぼーる ぼっちゃ びひん とく れい 特別支援学校に整備しました。	すいしん 推進	じつし 実施	○	ひ つづ とくべつしえんがっ 引き続き、特別支援学 校の児童生徒の世界大 かいしゅつじょう む しえん 会出場に向けた支援 とう とく 等に取り組むとともに じぎょうないよう けんしゅう 事業内容の検証を おこな 行っていきます。	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねんど 平成29年度			へいせい ねんど 平成32年度	へいせい 平成32
		もくひょう 目標	じつせき 実績	ひょうか 評価	むくひょう 目標に向けた 30年度の取組	ねんど 年度 もくひょう 目標
しょうがいしゃ 障害者 すぽーつ スポーツの けいはつ 啓発	<p>たとし とりくみ じょうほうしゅうしゅう 他都市における取組の情報収集 くたいてき けいはつほうほう けんとう おこな と、具体的な啓発方法の検討を行 います。 ふ かえ <振り返り> たとしとりくみ じょうほうしゅうしゅう すす 他都市取組の情報収集を進めると どうじ しょうがいしゃ すぽーつたいけんかい し 同時に、障害者スポーツ体験会を市 ないこうりつがっこう ちゅうしん かいさい 内公立学校を中心に開催しました。 よこはま たらんそん きふきん かつよう また、横浜マラソンの寄付金を活用し、 りおぼらりんびつ くしゅつじょうせんしゅ じょ リオパラリンピック出場選手への助 せいきん こうふ りおぼらりんびつ く 成金の交付や、リオパラリンピックの さつえい おこな しゃしんか しゃしんてん かい 撮影を行った写真家の写真展を開 さい とうきょうにげろにげろおりんびつ く ぱ 催し、東京2020オリンピック・パ らりんびつ くとうきょうたいかい む けいはつ ラリンピック東京大会に向けた啓発 かつどう とく 活動にも取り組みました。</p>	けいはつ 啓発 ほうほう 方法の けんとう 検討	じつし 実施	○	<p>じゅうど しょうがい かつ 重度の障害のある方 たいしやう きやうぎ を対象とした競技 ぼっ ちゃとう ふきゅう (ポッチャ等)の普及 きやうぎだんたいとう じょう や競技団体等の情 ほうていきやう とく 報提供に取り組み、 じゅうど しょうがい かつ 重度の障害のある方 すぽーつかつどう しえん のスポーツ活動を支援 していきます。</p>	すいしん 推進
みぢか ちいき 身近な地域 しょうがいしゃ 障害者 すぽーつ スポーツの すいしん 推進	<p>みぢか ちいき すぽーつせんたーとう 身近な地域にあるスポーツセンター等 かつよう しょうがいしゃすぽーつ を活用して、障害者スポーツにいつでも とりくむことができるよう、ちいきじんざい 取り組むことができるよう、地域人材の いくせい すす しょうがいしゃすぽーつかつどう 育成を進め、障害者スポーツ活動の すいしん はか 推進を図ります。 ふ かえ <振り返り> ちゅうとしょうがいしゃちいきかつどうせんたー たいいくきやう 中途障害者地域活動センター、体育協 かいとう れんけい ねっとわーく こうちく 会等と連携しネットワークを構築して きた ちいき かつどう ひ つづ しえん きた地域の活動を、引き続き支援して います。さらに、磯子区と港南区で新た な ネットワークの構築に取り組んでい ます。また、障害者スポーツの周知活 どう すぽーつぼらんてい あようせいこうぎ 動、スポーツボランティア養成講座や しょきゅうしょうがいしゃすぽーつしどういんけんしゅう 初級障害者スポーツ指導員研修 かいとう じつし とお しえんしゃ しどうしゃ 会等の実施を通して、支援者・指導者 じんざいいくせい すす の人材育成を進めています。</p>	すいしん 推進	じつし 実施	○	<p>ひ つづ きやうぎだんたい 引き続き競技団体や すぽーつすいしんいいんとう スポーツ推進委員会等を たいしやう しょうがいとく 対象とした障害特 せい りかい けん 性を理解するための研 しゅう じつし ちいき かん 修を実施し、地域の環 きやうせいび とく 境整備に取り組んでい きます。</p>	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねんど 平成29年度			へいせい ねんど 平成32年度	へいせい 平成32
		もくひょう 目標	じつせき 実績	ひょうか 評価	もくひょう 目標に向けた 30年度の取組	ねんど 年度 もくひょう 目標
しょうがいしゃすぽーつ 障害者スポーツ ぶんかせんたー 文化センター のせいび の整備 およ うえい 及び運営 しんぎ 新規	すぽーつ ぶんかかつどう ば きかい じゅうじつ スポーツ・文化活動の場や機会を充実 させるため「ラポール上大岡」を整備し ます。新横浜の横浜ラポールと連携し て一人ひとりの多様なニーズに応じた しえん おこな 支援を行います。	—	—	—	ひき つづ きょうぎだんたい 引き続き競技団体や すぽーつすいしんいんどう スポーツ推進委員等を たいしょう しょうがいとく 対象とした障害特 性を理解するための研 修を実施し、地域の環 境整備に取り組んでい きます。	らぼーる 「ラポール 上大岡」 のうんえい 運営